



育つまち
鎌ヶ谷

令和5年度事務事業評価 簡易評価表（組織順）



目 次

No.	担当課名	頁
1	総務課	1
2	企画財政課	4
3	秘書広報課	8
4	契約管財課	8
5	課税課	10
6	収税課	12
7	市民課	12
8	保険年金課	13
9	クリーン推進課	22
10	環境課	25
11	農業振興課	29
12	商工振興課	32
13	市民活動推進課	35
14	安全対策課	37
15	社会福祉課	39
16	障がい福祉課	43
17	こども支援課	46
18	幼児保育課	52
19	高齢者支援課	54
20	健康増進課	69

No.	担当課名	頁
21	都市計画課	72
22	道路河川整備課	76
23	道路河川管理課	80
24	建築住宅課	83
25	公園緑地課	85
26	下水道課	86
27	会計課	87
27	教育総務課	87
28	学校教育課	89
29	生涯学習推進課 (青少年センター) (図書館)	94
30	文化・スポーツ課 (郷土資料館)	96
31	選挙管理委員会事務局	99
32	監査委員事務局	100
31	農業委員会事務局	100
31	議会事務局	101
32	消防総務課	101
33	予防課	102
34	警防課	103

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
1	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：人事管理に要する経費	総務課	○		所属に対する人事ヒアリング、自己申告制度、競争試験を実施し、最適な人材配置、優秀な人材確保を行う。また、人事評価制度や組織等運営委員会等の実施により、業務改善、職員のやる気向上や組織の適正化を図る。	採用試験による人材確保、人事異動によるキャリア形成、人事評価による職員の処遇及び育成、多様な人材が活躍できる職場環境の形成により、職場の活性化や活躍を推進するとともに、誰もが働きやすくなるよう、ワークライフバランスの向上が必要となる。	13,678	18,035	24,523	1拡大・拡充	職員の持つ能力やスキルを十分に発揮できるよう人事管理を行うとともに、テレワーク環境のほか、育児休業、子育て休暇や介護休暇等を取得しやすい環境を整備し、働きやすい職場環境を整備するため。	・採用試験のポスターを受験生と同年代の大学生と協力し作成する。 ・優秀な人材確保のため、採用試験実施について、SPIの導入を検討する。 ・働きやすい職場環境のための組織改善を検討する。
2	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：職員研修に要する経費	総務課	○		研修計画に基づき、階層別に組織が必要としている能力を習得する階層別研修、主体的に自己を高める職員を支援する実務研修および自主研修、高度で専門的な知識を体系的、集中的に習得する派遣研修を実施する。	職員のさらなる能力開発のため、効果の高い研修や、専門職の能力開発に資する研修が求められている。また、より効果的な研修を実施するためにも、研修実施から一定期間後に効果検証を行う必要がある。	1,077	2,648	4,766	1拡大・拡充	効果の高い研修や、専門職の能力開発に資するため、外部講師の活用や他の機関との連携を積極的に取り入れていく。	・専門職の能力開発に向け、大学等と連携し、新たな研修科目を取り入れる。 ・外部講師も活用し、効果の高い研修を実施する。 ・研修実施から一定期間後に効果検証を行う。
3	会計名：一般 款項目：2-1-4 事業名：文書管理に要する経費	総務課			適正文書管理を行う。また、複写機の適正な使用につき指導し、事務の効率化や経費削減を行う。	複写機の使用状況等を把握し、適切な機器の使用等を行うことに努める。	74,984	79,019	82,566	1拡大・拡充	物価の高騰に伴い紙等のコストも増加する中で、デジタル化を見据えた庁内のペーパーレス化の検討や押印廃止の見直しを行っている。引き続き、国や他自治体の動向を踏まえ、適正文書管理のあり方につき精査していく。	コロナ禍の影響で増減する印刷・郵便に係る事務に対して、より効率的な手段を検討する。また、デジタル化推進の動きを勘案し、電子決裁やペーパーレス化につき検討を継続する。
4	会計名：一般 款項目：2-1-10 事業名：情報推進に要する経費	総務課	○		LGWAN接続系及びインターネット接続系の各種情報システムの導入・更新・運用及び保守を行うもの。	クラウドサービスの利用など、庁外ネットワークを利用したシステムの需要が高まっており、通信回線の増強と高い情報セキュリティを確保する必要がある。	96,231	96,878	116,890	1拡大・拡充	業務の効率化を図るため導入している業務用チャットツールや汎用電子申請サービスの拡充を図る必要があるため。	新たな働き方に対応できるネットワークインフラの整備やツールの導入等を行うことにより、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
5	会計名：一般 款項目：2-1-10 事業名：オンライン業務に要する経費	総務課	○		住民記録や税情報などの個人番号利用事務系の各種情報システムの導入・更新・運用及び保守を行うもの。	国が進めるシステムの標準化・共通化や行政手続きのオンライン化に対応する必要があるとともに、高い情報セキュリティを確保する必要がある。	21,804	27,441	21,055	1拡大・拡充	システムの標準化・共通化及び行政手続きのオンライン化に対応するため、業務担当課及びシステムベンダー等と調整を行い、高い情報セキュリティを確保したうえで、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る。	
6	会計名：一般 款項目：2-5-2 事業名：諸統計調査事務に要する経費	総務課			国の基幹統計調査等を実施する。	統計調査員の高齢化により、調査員が減少するなど調査環境が年々厳しくなっている。	2,519	1,579	5,891	1拡大・拡充	登録調査員数が減少しており、引き続き調査員確保が必要であるため。一方で調査員の質の確保も重要であるため。	調査員確保の手段を研究し、継続的に統計調査業務ができる新たな調査員を確保する。調査員への説明会の方法についてより確実に理解してもらえよう工夫を要する。
7	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防災対策に要する経費	総務課			災害から市民の生命、身体、財産を守るため、災害発生時に時間外勤務に従事し、避難所の開設や道路封鎖、土のうの運搬等を行う。	市の通常業務を行いながら災害への対応が必要となることから、参集体制や参集時刻、職員の交代等、人員の効果的な運用が必要である。	4,608	2,008	0	2精査・検証	発生時期、頻度を事前に想定することが困難な災害への対応が必要であるため。	災害対策の担当課で、災害対応に従事した職員の見解等を踏まえて、より効果的な災害時における体制の構築を行う。
8	会計名：一般 款項目：2-1-1 事業名：総務事務に要する経費	総務課			市の保有する情報の開示請求など情報公開・個人情報保護に関する事務、行政不服審査法に基づく事務等を行うとともに、各種分担金の支出などを行う。	情報公開制度及び個人情報保護制度の趣旨、制度の内容等を職員に周知していく必要がある。	15,767	15,140	18,410	2精査・検証	情報公開制度及び個人情報保護制度についての職員の意識を高めていく必要があるため。各所属で公文書開示請求や保有個人情報の開示請求を受けた際に、法に則った適正な対応を行うため。	情報公開と個人情報保護制度の考え方について、引き続き研修等を実施し、周知・サポートを徹底していく。令和5年度から新たな個人情報保護制度が開始したため、国や他自治体等の動向をみながら、制度を円滑に運用する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
9	会計名：一般 款項目：2-1-1 事業名：訴訟関係事務に要する経費	総務課			法律相談について、顧問弁護士に法的な観点からの助言を受け、適正な市政運営を行うとともに、訴訟が提起された場合は、市の主張を法廷で行う。	出来る限り訴訟への移行とならないよう、より正確かつ丁寧な事務を執り行えるよう助言等のサポート体制が求められる。	1,620	880	890	2精査・検証	相談内容のポイントを整理し、適切な時期に法律相談ができるように検証する必要があるため。法律相談の効果的な活用を検証するため。	訴訟事務への理解を深め、問題の解決に向けた迅速な対応を行う。法律相談は、意思決定の判断材料であること意識付けを行う。
10	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：福利厚生に要する経費	総務課			職員の福祉の増進および公務の能率的運営を目的として地方公務員法第42条に基づき、職員の保健、元気回復その他厚生に関する各種事業を実施し、心身の健康の維持増進を図る。	職員の健康相談・ストレスチェック・定期健診・人間ドックの受診促進、地下休憩コーナーの運営継続・屋上喫茶室の在り方検討等により、引き続き福利厚生を図る必要がある。	10,031	10,002	11,836	2精査・検証	健康管理に関する事項は継続性をもって事業を進める必要がある	引き続き職員の健康相談・ストレスチェック・定期健診・人間ドックの受診をより促進することで心身の健康保持増進を図るとともに、展望喫茶室の在り方を検討する。
11	会計名：一般 款項目：2-1-2 事業名：給与管理に要する経費	総務課			職員の給与・手当・共済費の計算・支出・管理・調査・適正化に関する事務を行う。	人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状況・近隣市の状況を勘案した給与の適正化を図る必要がある。	2,579	2,882	2,383	2精査・検証	システム利用で給与等の事務処理は迅速に行えており、今後も事務効率の向上及び人件費の適正化を図る必要があるため。	人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状況・近隣市の状況を勘案した給与の適正化を行う。
12	会計名：一般 款項目：2-5-1 事業名：統計事務に要する経費	総務課			関係機関から必要なデータを収集し、統計かまがやを市のホームページ等で公表する。	市の現状やこれからの動きがより把握しやすい統計情報の提供が求められる。	1,219	1,222	1,227	2精査・検証	必要性の高い統計情報をより利用しやすい形で提供するため。精度の高い情報の提供及び関係課からの情報収集を効率化するため。	市の統計情報について、市民や関係機関が利用しやすい提供手法等を引き続き検討していく。関係課からの情報提供の効率化、簡略化を検証する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
13	会計名：一般 款項目：13-2-5 事業名：特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金積立に要する経費	総務課			国から交付される特定防衛施設周辺整備調整交付金を基金として管理する。	基金の運用の仕方など、国（防衛省）等の方針の変更等がないか、適宜確認する必要がある。	72,748	66,426	66,426	2 精査・検証	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金について、引き続き適正に管理していく必要があるため。有効な活用法について検討を要するため。	北関東防衛局の担当職員と密に連絡をとり、情勢の変化に速やかに対応できるようにする。基金の適正な運用について精査する。
14	会計名：一般 款項目：2-1-10 事業名：情報セキュリティ強化対策事業	総務課	○	○	平成28年度の情報セキュリティ強化対策事業において整備した情報システムを更新し、安定稼働を維持するとともに、セキュリティ強化及び業務の利便性向上を図るもの。	社会情勢の変化により、Web会議やテレワーク環境の整備が必要となるため、安定した稼働を維持する必要がある。	4,034	48,404	0	4 終了・廃止・休止	インターネット接続用仮想環境基盤の維持・管理に要する経費については、情報推進に要する経費に移行したため	情報推進に要する経費に移行したため、令和5年度に取組む改革・改善内容はありません。
15	会計名：一般 款項目：2-1-5 事業名：財務管理に要する経費	企画財政課	○		財務管理を効果的・効率的に行うため、予算編成、執行管理など財務会計システムを運用するとともに、国・県等との調整やふるさと納税返礼品事業、地方公会計制度の推進を行うもの。	予算編成などに対する職員の理解を深める必要がある。 ふるさと納税返礼品事業は国全体で利用者が増加傾向となっており、本市もさらなる取組みを行う必要がある。 地方公会計制度については、活用が課題となっている。	21,739	35,592	51,964	1 拡大・拡充	行革プランにおいて、財務会計システムは各所属の意見を踏まえて改善を行うこととしていること、ふるさと納税返礼品事業は令和8年度に寄附額1億円を目標としていること、地方公会計は令和5年度に活用方針を定めることとしているため。	財務会計システムは、庁内意見を踏まえ、反映可能なものから改善を行う。 ふるさと納税返礼品事業は新たな決済手段の追加や広告展開を行う。 地方公会計制度は、活用方針を策定する。
16	会計名：一般 款項目：13-2-1 事業名：財政調整基金積立に要する経費	企画財政課			予期しない収入減少や支出増加等に備え、長期的視野に立った財政運営を行うため、財政調整基金に積立てを行うもの。	令和4年度残高見込みは約26億円で、「19億円以上」という財政健全化計画の数値目標の達成が見込まれる。	849,236	1,422,044	21	1 拡大・拡充	新型コロナウイルス感染症や物価高騰、少子高齢化等による不透明な財政状況も考慮のうえ、基金残高を増やしておく必要があるため。	財政健全化計画の数値目標である19億円以上の残高を確保できるように取り組んでいく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
17	会計名：一般 款項目：13-2-3 事業名：公共施設整備基金積立に要する経費	企画財政課			公共施設の計画的かつ効率的な整備及び維持管理を行うため、公共施設整備基金に積立てを行うもの。	公共施設の老朽化に対応するため、積極的な積立てが必要である。	150,148	300,010	10	1拡大・拡充	公共施設の老朽化に対応するため、一定程度の基金残高を確保しておく必要があるため。	令和4年度実質収支を活用して、積立てを行う。
18	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：結婚新生活支援事業	企画財政課	○	○	新婚世帯の新生活に係る住宅費及び引越費用の一部に対し、予算の範囲内において鎌ヶ谷市結婚新生活支援事業補助金を交付するもの。	平成25年度の婚姻数520人、人口1,000人当たりの婚姻率4.8人、出生数878人、合計特殊出生率1.33であったのに対し、令和元年度は婚姻数549人、人口1,000人当たりの婚姻率5.1人、出生数688人、合計特殊出生率は1.22となっており、婚姻数及び婚姻率は増加傾向にあるが、出生数及び合計特殊出生率は減少傾向にある。	2,375	7,958	18,600	2精査・検証	申請予定件数が30件としているところ令和5年6月時点で、事前相談件数が10件、申請件数は0件となっているため。	・鎌ヶ谷市への転入者を対象とした事業であるため、申請者がよりプラスな気持ちで鎌ヶ谷市に転入できるよう、懇切丁寧な対応を心がける。 ・申請者とのやり取りが多いため、可能な範囲で電話番号以外の連絡方法（email）を取得する。
19	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：企画事務に要する経費	企画財政課	○		効率的かつ持続可能な行財政運営を推進するため、行政評価制度に基づき財源を重点的に配分するとともに、人材や資産を適正に配置する。また、様々な機会を通じて積極的に情報発信することにより、市の知名度の向上を図る。	・将来のまちづくりに必要となる財源を確保するため、従来以上の歳入確保・歳出削減の取組が必要である。 ・少子高齢化など人口動向や市民ニーズを踏まえ公共施設の適正な保有量の把握が必要である。 ・市外への情報発信として、名刺による市のPRやInstagramの投稿を継続的に実施する必要がある。	4,748	5,334	7,548	2精査・検証	事務効率向上のため、議事録作成支援システムやAI-OCRの活用を継続的に推進するとともに、市の魅力の市外への情報発信を強化するなど市の認知度向上を図るため。	従来以上の歳入確保・歳出削減の実現及びデジタル化を図るため、第3次行財政改革推進プランの各取組みを推進する。また、Instagramや名刺を活用した市の認知度向上策を継続して実施する。
20	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：国際交流に要する経費	企画財政課			姉妹都市交流を行うとともに、国際交流活動を推進する。 また、ウクライナ避難民への支援を行う。	複数年にわたり、直接の姉妹都市交流が難しかった状況にあったため、再開時期や課題等を協議していく必要がある。また、ウクライナ避難民への支援について、国際情勢や国による支援の動向等を注視しつつ、市の支援体制を検討する必要がある。	0	1,321	0	2精査・検証	令和4年10月にウクライナ避難民を受入れてから、継続的な支援を実施しているが、今後も必要な支援を実施する必要があるため。 また、後援した国際イベントの周知などを、引き続き実施する必要があるため。	継続的にウクライナ避難民への支援を実施するとともに、姉妹都市交流方法について、相手方と協議していく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
21	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：多文化共生に要する経費	企画財政課	○		外国人住民にも住みやすい環境づくりや市民の多文化共生に関する意識醸成を図るため、行政資料の多言語化を実施するとともに、日本語教室や多文化共生に係る事業を実施する団体へ補助を行う。	市内在住の外国人人口の推移は、コロナ禍で一時的に減少したが総人口における割合は高くなっている。国籍や使用言語が多様化し、行政手続きにおける対応が求められるため、行政資料の多言語化による窓口支援や、外国人支援を行う団体等と連携する必要がある。	1,366	1,738	0	2精査・検証	外国人住民の増加が見込まれるため、令和4年度から開始した多文化共生事業等の補助制度を継続して活用されるよう周知し、充実していく必要があるため。	・外国人支援や多文化共生・国際交流に係る事業の公募を継続して実施する。 ・外国人住民による行政手続きが円滑に行われるとともに、各制度を理解してもらえよう、資料の多言語化を引き続き推進する。
22	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	企画財政課	○		多文化共生推進センター（愛称：かまがやワールドプラザ）を拠点として、外国人に関する相談業務の実施、行政情報の発信、個人及び団体相互間の交流場所として提供などを行うもの。	成果指標は順調に推移しているが、外国人住民の満足度が減少しているため、新たな対策を検証する必要がある。アンケート結果では、多文化共生推進センターの認知度が低い状況で、市に求めるものとして、交流イベントの実施、相談場所の設置要望が高い。	2,985	3,726	6,727	2精査・検証	オンラインによる交流等が進んだことにより、利用者は減少傾向にあるが、引き続き、市民が多文化共生を理解し、外国人住民との交流、地域連携を推進するための機会を提供していく必要があるため。	・通訳ボランティアの育成及び周知を図り、登録者を増加するとともに、市内公共施設等への派遣件数の増加を図る。 ・外国人住民から要望の高いイベントの実施や相談体制の充実を図る。
23	会計名：一般 款項目：11-1-1 事業名：土木施設災害復旧に要する経費	企画財政課			予期しない災害等により被災した市が管理する土木施設の復旧作業に伴う予算の確保等を行うもの。	今後30年以内に70%の発生確率とされている首都直下型地震など、常に災害に対する準備は必要となっている。	0	0	3	2精査・検証	予期せぬ災害に対応するため確実に対応する必要があるため。	対応が必要となった場合に、適切な対応を図る。 発災時の国の財政支援制度や予算上の対応などについて、情報収集を行い、有事に備える。
24	会計名：一般 款項目：12-1-1 事業名：借入金元金償還金に要する経費	企画財政課			市債の借入に伴う元金償還を行うもの。	大規模事業で活用した市債の償還が令和5年度にかけてピークを迎えるため、公債費の財源確保が必要である。	3,483,682	3,598,113	3,606,103	2精査・検証	公債費のピークは令和5年度を見込むものの、その後も36億円程度の水準が見込まれるため。	「地方債に関する総合的な管理方針」に基づき、公債費の増に対応するため、計画的に減債基金を確保する。 また、第1次実施計画（補正版）の策定に合わせ、同方針の改定を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
25	会計名：一般 款項目：12-1-2 事業名：借入金利子償還金に要する経費	企画財政課			市債の借入に伴う利子償還を行うもの。	大規模事業で活用した市債の償還が令和5年度にかけてピークを迎えるため、公債費の財源確保が必要である。 また、ウクライナ情勢などの影響により、利率が上昇傾向となっているため、注視する必要がある。	149,969	137,551	154,402	2精査・検証	公債費のピークは令和5年度を見込むものの、その後も36億円程度の水準が見込まれるため。	「地方債に関する総合的な管理方針」に基づき、公債費の増に対応するため、計画的に減債基金を確保する。 また、第1次実施計画（補正版）の策定に合わせ、同方針の改定を行う。
26	会計名：一般 款項目：13-2-2 事業名：減債基金積立に要する経費	企画財政課			市債の償還に必要な財源を確保するため、減債基金に積立てを行うもの。	令和5年度にかけて公債費の増が見込まれているため、計画的かつ確実な積立が必要である。	784,702	300,557	50,031	2精査・検証	公債費の償還に対応するため、基金残高を確保しておく必要があるため。	「地方債に関する総合的な管理方針」に基づき、減債基金への積立てを確実にを行う。
27	会計名：一般 款項目：13-2-4 事業名：ふるさと基金積立に要する経費	企画財政課			地域活性化事業等への財源を計画的に確保するため、基金に積立を行うもの。	ふるさと基金を活用し、新たな地域活性化事業を展開する必要がある。	3,001	55,001	2	2精査・検証	寄付額を増加させ、魅力発信や特産品等のPRに活用していくため。	本市が契約している事業者だけでなく、他の成果報酬型企業との契約についても検討を行う。
28	会計名：一般 款項目：2-1-8 事業名：マイナポイント事業に要する経費	企画財政課			マイナンバーカードを取得し、所定の手続きを行った者に対してポイントを付与するマイナポイント事業について、パソコンが不慣れな利用者のために、事業終了までの間、設定支援ブースを設置し、パソコンや支援員を配置してマイナポイントの設定支援を行うもの。	令和4年度途中でマイナポイント取得のためのマイナンバーカード申請期限が令和5年2月末へ延長するとともに、マイナポイント付与期間も令和5年9月末へ延長した。設定支援の他、継続的に付与確認のための問合せ対応が必要である。	16,313	26,810	0	4終了・廃止・休止	マイナポイント設定支援ブースは、国のマイナポイント事業開始から設置しているが、令和5年9月末をもってマイナポイント事業が終了するため。	令和5年9月末のマイナポイント事業終了まで支援ブースを継続的に運営する他、事業終了後の保険証の設定などマイナポータルに関する支援を実施する(企画事務に要する経費)。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
29	会計名：一般 款項目：2-1-1 事業名：秘書事務に要する経費	秘書広報課			市長、副市長の公務にあたっての秘書業務及び栄典・表彰に関する事務等を行う。	市長、副市長が快適に効率よく公務が遂行できるよう、日程調整や急な公務の変更などに臨機応変な対応が求められている。また、市政功労表彰の表彰対象者について、庁内に周知を図る必要がある。	4,169	2,281	3,309	2精査・検証	市長、副市長の公務のサポート役として、秘書事務の正確性をより向上させることが重要である。また、市政に功労のあった方への感謝の意を伝えるため、表彰事務を的確に執り行う必要がある。	・行事管理にあたっては複数でのチェック体制を徹底し、情報は係内で共有する。 ・市政功労表彰など表彰対象者の要件を確認し、的確に推薦事務を執り行う。
30	会計名：一般 款項目：2-1-3 事業名：広報に要する経費	秘書広報課	○		市民生活に必要な情報を提供し、市政への理解と協力を得るために広報紙を発行し、併せて市ホームページ等で行政情報を更新する。	広報紙については、より多くの市民が閲覧できる環境（配布方法、配置場所等）の整備を要する。市ホームページ等については、ウェブアクセシビリティの向上、情報発信の充実を図る必要がある。	28,250	26,157	28,825	2精査・検証	広報紙の毎月1日及び15日の発行を安定的に継続するとともに、広報紙の配布方法、配置場所については引き続き検証が必要なため。また、市ホームページについて、現行の事業者との長期継続で契約更新することが決まっているため。	広報紙の配置場所について、新たに市内の店舗（美容室等）への働きかけを行い拡充を図る。市ホームページについては、次回の契約更新時に向けて、見直すべきと思われる事項の洗い出しを行う。
31	会計名：一般 款項目：2-1-3 事業名：市公式LINE情報発信事業	秘書広報課	○		新型コロナワクチン接種の予約に使用していた市公式LINEアカウントを活用し、効果的なプッシュ型の情報発信を行うもの。	・行政情報の発信ツールとして、より便利なものに発展させていく必要がある。 ・ワクチン接種予約で蓄積されていた友だち登録者数をさらに増やしていくため、PRを図っていく必要がある。	0	2,226	3,921	2精査・検証	市民にとって重要な行政情報の発信を行い、重要な情報発信ツールとして定着させるため。また、より便利な情報発信ツールとするべくメニュー画面やチャットボットの見直しを行っていく必要があるため。	市民にとって有益な情報がコンスタントに発信できるよう、各所属と調整を図る。また、各所属へ働き掛けを行い、チャットボットやメニューボタンの見直しを図る。
32	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：庁舎管理に要する経費	契約管財課			市庁舎における公務の円滑適正な管理執行を目的として、市庁舎における秩序の維持及び使用の規制並びに災害の防止その他市庁舎の保全に関し必要な事務を行う。	市庁舎の施設、設備等の老朽化が進行しており、市民の利用や執務の実施に支障が生じないよう、適切な管理を行い、計画的に修繕を実施していく必要がある。	113,868	128,316	153,344	1拡大・拡充	施設の老朽化に対応した修繕等（非常放送設備、給排水管、受水槽等）、地球温暖化対策の推進に向けた照明のLED化を実施していく必要があるため。	・老朽化が進む施設について、給排水設備や電気設備、電話回線等を適正に維持管理するために日々の修繕や、庁舎改修事業等を行い長寿命化を図っている。また、敷地内においては駐輪場が手狭であるため、長期間放置されている自転車と、既存の自転車の振り分けを行い、放置と思われる自転車の廃棄等の対応を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
33	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：庁用車管理に要する経費	契約管財課			本市の各種業務で使用する庁用車を安全に使用できるよう、老朽化した車両の更新や適切に維持管理を行う。	本市では、100台を超える庁用車を保有している中で、引き続き、老朽化した車両の更新や適切な維持管理に努めるとともに、更新にあたっては地球温暖化対策に資する車両の選定、道路交通法施行規則の改正に基づく、飲酒運転防止対策を行う必要がある。	48,576	45,427	57,105	1拡大・拡充	庁用車の適正な維持管理を行うため、車検や定期点検、不具合箇所の修繕や保険加入等、庁用車の適正な維持管理を行うため、車検や定期点検、不具合箇所の修繕や保険加入等、庁用車の日常的なメンテナンスを行うとともに、道路交通法施行規則の改正を踏まえて、アルコール検知器の購入を行う必要があるため。	・車検や定期点検、不具合箇所の修繕や保険加入等、庁用車の日常的なメンテナンスを行い、更に道路交通法施行規則の改正に基づくアルコール検知器の購入及び各課への配布。（運行日誌は改正済） ・安全運転管理者講習会の内容等を踏まえて、各課通知だけでなく、職員の安全運転意識の向上のための有効な取組みを検討する。
34	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：市庁舎改修等事業	契約管財課	○	○	市庁舎の施設、設備等を適切に維持管理するため、使用開始から一定の年数を経過したもの、修繕の回数が増えているもの等に関し、計画的に改修を行い、施設の長寿命化を図る。	施設や設備の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化を図るためには、緊急度等を勘案し、計画的に改修等を実施していく必要があるとともに、改修等の実施にあたっては、休館等ができないため業務に支障が生じないよう、一定の配慮を行う必要がある。	212,466	1,524	73,312	1拡大・拡充	市庁舎の建設から45年以上が経過しており、長寿命化を図るためには、今後も給排水設備や受水槽、外壁・屋上防水等の改修を行っていく必要があるため。	・非常放送設備について、令和4年度の実施設計に基づき、改修工事を実施する。 ・市庁舎の照明のLED化に係る実施設計を行う。
35	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：庁用車更新事業	契約管財課	○	○	庁用車の適正な維持管理を行い、運転する職員の安全性を確保する。 また、庁用車の更新については、地球温暖化対策として、排気ガスの抑制の車両とする。	令和3年10月に国が「温室効果ガスの排出の削減等のため実施すべき措置について定める計画」を決定したことを受けて、公用車更新基準を見直し、エネルギー使用及び排出ガスの抑制された車両を購入する。	0	3,859	6,238	1拡大・拡充	本市の公用車更新基準に基づく車両の更新にあたっては、低燃費かつ低排出ガス認定車や、ハイブリット車を選定していく。	車両の老朽化及び新たな更新基準の内容に基づき、庁用車の選定及び更新を行う。
36	会計名：一般 款項目：2-1-5 事業名：契約事務に要する経費	契約管財課			契約事務の透明性、中立性及び公正性を確保するため、各種法令のほか、本市の要綱、規程等に基づき事務を執行することにより、適切に契約の相手方となる者を選定するとともに、その選定の過程に係る市民への説明責任を果たす。	成果指標は順調に推移している中で、引き続き、国の制度改革等を踏まえた本市の制度の見直しを行うとともに、事業者や職員の更なる事務負担の軽減等を目的として、入札・契約事務のデジタル化の推進を図っていく必要がある。	5,180	5,125	5,325	2精査・検証	更なる事業者の負担軽減等を目的として、電子契約や契約管理システム導入など、入札・契約事務のデジタル化を推進していく必要があるため	・契約主管課が行う契約事務を法令や本市の要綱等に基づき適正に実施する。 ・国の制度改革等の情報収集及びその情報を踏まえた本市の制度改革の検討 ・令和5年度は、県内12市で組織する契約事務連絡協議会の幹事市となることから、同協議会事務を進めるとともに、同協議会での意見交換を活用するなど、契約事務のデジタル化や電子契約導入に向けた情報収集を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
37	会計名：一般 款項目：2-1-5 事業名：工事検査に要する経費	契約管財課			本市が発注した工事の品質確保を目的として、鎌ヶ谷市工事検査要領に基づき、工事検査業務を適正に実施する。	発注した工事の品質の確保には、引き続き、本市の要領に基づき、適切に工事検査を実施する中で、効果的かつ効率的な工事検査の実施に向けて、国や県などの新たな取組等の情報を収集する必要がある。	455	456	568	2精査・検証	引き続き、品質の確保に向けて、適切に検査事務を実施していく必要がある中で、国や県の取組等の情報収集に努める。	・品質の確保に向けて、引き続き、工事検査要領に基づき、検査事務を実施する。 ・国で進めているICTの活用、県で進めている検査書類のスリム化など、発注者及び受注者の双方にとってメリットが高いと思われる取組の検討を行う。
38	会計名：一般 款項目：2-1-7 事業名：財産の取得等に要する経費	契約管財課			本市が保有する普通財産に関して、除草など適正な管理を行うとともに、遊休土地にあっては売払いなど有効活用を図っていく。	引き続き、防草シートの設置など適正な管理に努めていく必要があるとともに、小規模など売却に適さない用地に関しては、広告付き看板の設置など、売却以外の有効活用を検討する必要がある。	4,708	8,470	5,034	2精査・検証	引き続き、除草等の維持管理や売却に向けた看板設置を行っていくが、売却以外の有効活用策として、広告付き看板の設置を検討していく中で、屋外広告物の規制等を把握した上で、実施の可否を検討する必要があるため。	・引き続き、鎌ヶ谷二丁目の用地売却に努める。 ・小規模な用地の有効活用として、広告付き看板を設置するため、県の有料広告の取扱いの調査、他の自治体の事例の把握等を行う。
39	会計名：一般 款項目：13-1-1 事業名：用地借上に要する経費	契約管財課			県立鎌ヶ谷高等学校用地及び通学路用地について、学校の使用等に支障が生じないよう、地権者からの用地の借上げを行う。	県立鎌ヶ谷高等学校用地については、借地部分があるため、安定的に使用できるよう、引き続き、地権者と協議し、用地購入に努めていく必要がある。	1,676	1,676	1,677	2精査・検証	県立鎌ヶ谷高等学校の用地が安定的に使用できるよう、引き続き、用地の購入に向けて地権者と協議を継続していくため。	・県立鎌ヶ谷高等学校用地については、定期的に地権者と協議を行い、地権者側の状況が整った段階で、購入の手続きを行う。 ・通学路については、引き続き、借地での契約の手続きを行う。
40	会計名：一般 款項目：2-2-1 事業名：市税の賦課等に要する経費	課税課			確定申告時期における課税資料の分類、整理及び入力を行い個人市民税の当初課税を適正に行う。また、複雑化する税制度に対応できるよう税務の研究や他市との情報交換や課題研修を行う。	税務行政について調査研究を行い複雑化する税制度に対して対処する必要がある。また、申告受付から納税通知書発送時までの間に事務が集中するため、会計年度任用職員等を活用し事務の効率化を図る必要がある。	11,189	11,587	11,679	1拡大・拡充	行政手続きの電子化がすすめられている中で、実態形式が大きく変化していることから、さらなる工夫や改善が必要である。併せて、所得税・個人市民税の申告について電子化の対応が難しい市民への対応を再検討する必要があると思われる。	税制について情報収集・意見交換を行うため、各種研究会等に積極的に参加し、職員の税務知識の向上を図る。 税務行政について調査研究を行い複雑化する税制度に対して対応していく。 申告受付から納税通知書発送時までの間に事務が集中するため会計年度任用職員等を活用し事務の効率化を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
41	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：市民税課税事務に要する経費	課税課	○		地方税法及び市税条例に基づき納税義務者にとって公平公正な税負担とするため適正な課税を実施する。	正確かつ効率的・効果的な実施のために今後も課税客体の捕捉を推進していく必要がある。	52,957	56,451	55,803	2精査・検証	税制改正など、社会情勢の変化に留意し、常に見直しを行う。 併せて公平性を保っていく必要があるため、今後も課税客体の捕捉を確実にやっていく必要がある。	システムの共通化・デジタル化に向け情報収集を行うとともに、必要な対応を確実に行う。 課税客体を適正に把握し、公平・公正な課税に努めていく。
42	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：諸税課税事務に要する経費	課税課			軽自動車税や法人市民税等を課税するため、軽自動車税は車両登録や廃車等の処理を行い課税する。また、法人市民税は、法人の登録や調査等を行い、申告や実態調査に基づき課税する。	軽自動車税は、転出や再転入等の異動が多いため、納税義務者を適正に把握する必要がある。法人市民税は、未申告である法人に対して実態調査を行い、申告指導のうえ、適正な課税を行う必要がある。	9,559	11,569	9,453	2精査・検証	関係機関等との連携を密にして、円滑な税務運営により、課税客体を適正に把握する。また、公平・公正な課税となるよう税制改正等に対応し、常に見直しをしていく必要がある。	・引き続き、関係機関等との連携を密にして、円滑な税務運営により、車両登録や廃車等を行い、軽自動車税を賦課する。 ・法人の実態把握や申告指導を進め、法人市民税を賦課する。 ・システム標準化に向けた、必要なシステム改修を行い、利便性の向上や事務の効率化を図る。 ・令和5年10月から開始される、たばこ税の電子申告手続きに向けて、必要な作業を進める。
43	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：固定資産税課税事務に要する経費	課税課			土地、家屋、償却資産の所有者に適正な固定資産税を課税するため、登記情報、各課からの情報提供、システム等を活用し、客体の把握、調査、評価を行う。	家屋の新築、増築、滅失に伴う住宅用地特例の認定・解除処理を適正に行う。 また、課税誤り防止のため、家屋調査書のほか、資産税システムを活用したチェックリストを作成し、土地係・家屋係双方による確認を徹底する必要がある。	31,214	53,507	33,154	2精査・検証	評価の精度向上のための情報の交換、共有化。 電算システムの習熟や改善を図る必要がある。 また、家屋評価事務の効率化及び適正化のため、家屋評価システムを導入するため契約を締結し、令和6年度向け課税分から、システムの本格稼働とする。	・税通オンライン化の本格稼働にあたり、課税情報取得のためのシステム操作に関し、職員個々の習熟度を高める。 ・電子化、オンライン化により、今後も紙媒体に関するコスト削減を図る。 ・家屋評価システムの契約締結後、決裁方法や税システムとの連携方法等、運用上の体制を構築するとともに、システムを適切かつ迅速に操作できるよう、研修の機会や職員間の情報共有を通じて、係員全員のシステムに関する技術的な習熟度を深める。 ・税制改正の内容を把握し、適正な課税を行う。
44	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：税務地図情報システムに要する経費	課税課	○		固定資産の異動の把握のため、航空写真、地図、課税台帳等と関連する各種データを加工・管理し表示するシステムにより、視覚的に確認し、課税客体を正確に把握することで適正な固定資産の評価につなげる。	固定資産の異動によるシステムの更新を引き続き行い、正確性を維持し、適正な課税に努めていく。	23,058	26,498	24,624	2精査・検証	地図情報システムは、航空写真、地番図・家屋図、課税データ等を整備する必要があり、必要に応じて改善することで、課税客体を正確に把握し、評価の精度向上のため、引き続き地図情報システムの習熟や改善を図る。	・システムや確認方法の改善を検討し、課税客体の補足の精度を向上させる。 ・AI滅失機能の導入を検討する ・評価の精度向上のため、引き続き地図情報システムの習熟や改善を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
45	会計名：一般 款項目：2-2-1 事業名：市税の徴収等に要する経費	収税課	○		法令に基づき公正かつ公平な市民負担の確保と債権の適正な管理のため、市税の徴収に必要な滞納整理（督促、催告、納付相談、猶予及び滞納処分）を行い、徴収率の向上及び収入未済額を縮減させるもの。	一時に納付が困難な滞納者に対して適正な猶予の適用及び納付管理。分納不履行者に対しての速やかな差押等の実施。	9,337	9,128	13,242	2精査・検証	引き続き、効果的な財産調査や差押の手法の研究、事務の迅速化や効率化を行うことで、徴収率向上及び収入未済額を縮減していく必要があるため。	1 pipitLINQを活用して預金調査及び差押執行を迅速化する。 2 公売可能な不動産、動産について、インターネットによる公売又は千葉県による合同公売を実施する。
46	会計名：一般 款項目：2-2-2 事業名：徴収事務に要する経費	収税課			期限内納付推進のため、納付方法等、納税書の利便性を高めていくとともに市税の徴収に必要な収納管理を行う。	令和5年度から各種納付書に地方税統一QRコードが印字され、窓口納付の対応可能な金融機関が増えるとともに、スマホ決済アプリやクレジットカードでの納税が可能となり、納付機会の拡充が図れる。	92,888	87,997	97,831	2精査・検証	地方税統一QRコードの印字に伴い、今後の収納状況を精査し、従前の収納サービスで重複する部分について見直しを検討する必要があるため。	We b口座振替受付サービスを令和5年度中に導入し、更なる利便性の向上、期限内納付率の向上及び業務効率化に努める。
47	会計名：一般 款項目：2-3-1 事業名：戸籍住民基本台帳事務に要する経費	市民課	○		マイナンバーカードを利用したコンビニ交付やマイナポータルからオンラインで転出（来庁不要）・転入（事前に住民の情報が分かることで手続きに係る時間が短縮）手続きを行うことでワンストップ化を図り、ICT（情報通信技術）利活用やキャッシュレスを推進する。	マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストア等のキオスク端末（マルチコピー機）で各種証明書の発行及び窓口でのキャッシュレス端末導入により、適正なキャッシュレスサービスの運営を実施する。コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要なため、マイナンバーカードの普及が課題となる。国は令和4年度末までにほぼ全国民に行き渡ることを目指していたが、当市における交付率は令和5年3月末時点で64.2%となっている。	137,250	99,544	105,434	2精査・検証	キャッシュレスサービスの適正な運営により、感染症拡大防止に係る非接触環境の提供と市民の利便性の向上及び事務の効率化を図る。	キャッシュレス決済サービス等システムを正常に稼働させ、コンビニ及び窓口におけるキャッシュレスを推進し市民の利便性の向上を図る。
48	会計名：一般 款項目：2-3-1 事業名：住居表示事務に要する経費	市民課			建物等新築届及び住居番号の変更等の届出に基づき、住居表示を付番し、住居表示台帳図を作成、閲覧に供する。	正確な事務処理を行い、利用者の利便を図る。なお、建物等新築届等の受付件数は近年横ばいで推移しており、今後もその傾向が続くものと見込まれる。	65	97	100	2精査・検証	法律に基づき行う事務であることから、より正確な事務を精査・検証する必要がある。	これまでの事務水準は維持しつつ、事務処理の正確性と迅速性を向上させる。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
49	会計名：一般 款項目：2-3-1 事業名：旅券事務に要する経費	市民課			鎌ヶ谷市民だけではなく、県内在住者も含め、旅券の申請受理、交付を行う。	旅券申請の事務処理の正確性を保ち、不正取得がないように研究を行い、申請者の利便性向上を図る。新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことから、日本人の海外渡航も増加し、旅券業務も今後増えたと見込まれる。	10,448	20,583	32,662	2精査・検証	申請者が旅券を申請しやすい環境を検証するとともに、多くの申請があった場合も事務処理の正確性を保ち、不正取得がないよう事例研究を行い、職員の受付・交付スキルを更に向上させる。	令和6年度の電子申請の導入に向けて十分な検証が必要となる。
50	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：後期高齢者医療費負担金に要する経費	保険年金課			市は自己負担分を除く医療費のうち、法定負担分12分の1を、後期高齢者医療制度の運営を行う広域連合へ支払う。	被保険者の増加や被保険者一人当たりの医療給付費の増加により市負担金も増加している。	1,011,824	1,056,265	1,088,980	1拡大・拡充	法定の負担金であるが、医療給付費が増加しており、医療費の適正化に向けて随時、検証していく必要がある。	被保険者が安心して医療を受けられるよう、市の法定負担分12分の1を後期高齢者医療の運営を行う広域連合へ支払う。
51	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：後期高齢者医療事務費負担金に要する経費	保険年金課			千葉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、制度の運営費として市町村負担金を納付する。	被保険者の増加に伴い、市負担金が増加しており、団塊の世代が後期高齢者となる令和4年から令和7年にかけては更なる被保険者の増加が見込まれる。	37,333	36,839	53,694	1拡大・拡充	規約に基づく負担金であるが、被保険者が増加しており、運営費について随時、検証していく必要がある。	制度の安定的運営のため、広域連合規約に基づき、均等割・市の人口割・市の後期高齢者人口割分の負担金を支払う。
52	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：後期高齢者保健事業に要する経費	保険年金課			被保険者を対象に、保険者である広域連合との委託契約に基づき、市が受託事業として後期高齢者健康診査等を行う。	被保険者の健康保持増進と健康寿命の延伸のため、受診率の向上の取り組みが必要になる。	58,237	64,456	75,326	1拡大・拡充	健康診査は広域連合からの受託事業であるが、事業手法等は随時、検証していく必要がある。	健康診査等の周知を積極的に行うことで受診率の向上を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
53	会計名：国保 款項目：2-4-1 事業名：出産育児一時金に要する経費	保険年金課			被保険者が出産した場合に支給され、産科医療保障制度加入機関での出産は、掛金分が上乗せされる。	少子化対策の一環として、増額される傾向がある。	26,934	24,251	40,017	1拡大・拡充	被保険者の出産に係る費用の軽減が図られているが、随時、その審査方法等、検証していく必要がある。	今後も安心して出産できるよう、出産育児一時金等の制度について周知に取り組む。
54	会計名：後期 款項目：1-1-1 事業名：後期高齢者の資格・給付に要する経費	保険年金課			後期高齢者医療の被保険者証の交付・高額療養費・療養費・葬祭費等の申請を受付、広域連合へ送付する。	被保険者の増加に伴い、給付申請も増加しているため、迅速に事務処理を進める必要がある。	4,269	5,308	6,876	1拡大・拡充	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき実施しているが、被保険者が増加しており、業務手法等は随時、検証していく必要がある。	被保険者が必要な給付を受けられるよう、各種申請、届出の受付及び認定証等の交付事務を確実に行う。
55	会計名：後期 款項目：1-2-1 事業名：後期高齢者医療保険料の徴収に要する経費	保険年金課			後期高齢者医療広域連合が決定した保険料を、被保険者に通知し、徴収を行う。	特別徴収は、開始まで約半年かかり、非該当の場合、納付書払いとなり納め忘れが発生する場合がある。	15,732	16,222	17,191	1拡大・拡充	広域連合条例に基づき実施しているが、収納率向上に向け、随時、検証していく必要がある。	保険料の納付方法に関して、特別徴収を原則とし、口座振替併用を推進し、納め忘れ防止に努める。
56	会計名：後期 款項目：3-1-1 事業名：後期高齢者医療保険料還付に要する経費	保険年金課			後期高齢者医療保険料の重複納付・更正減額等による過誤納金の還付事務を行う。	所得変更や資格の喪失に伴い発生するため、適正な資格管理と所得把握が課題である。	2,220	3,083	2,970	1拡大・拡充	保険料更正後に迅速に事務処理を実施しているが、業務手法等は随時、検証していく必要がある。	所得変更や資格の喪失など、迅速かつ的確な事務処理を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
57	会計名：一般 款項目：3-1-7 事業名：国民年金事務に要する経費	保険年金課			国民年金被保険者の資格異動処理事務、老齢基礎年金・障害基礎年金等の裁定請求事務、保険料免除申請事務及び相談事務等の法定受託事務を行う。	申請者から提出された被保険者関係届書や免除申請書等をいかに正確かつ効率的に処理するかが課題である。同時に、書類管理の負担軽減及び窓口の混雑緩和対策のため、ねんきんネットの利用を周知することも必要であると考えている。	7,295	10,217	10,381	2精査・検証	法定受託事務のため、業務手法等について精査・検証の上、継続することが必要なため。	国民年金の各種手続きに関して、迅速かつ正確に対応すると同時にマイナポータルを利用した電子申請の周知に努める等日本年金機構と連携し、年金業務の充実を図る。
58	会計名：国保 款項目：1-1-1 事業名：資格・給付等に要する経費	保険年金課	○		国民健康保険の資格を管理し、被保険者証の交付、更新を行うと共に被保険者への給付業務を行う。	オンライン資格確認が導入されたことにより、資格重複者に対する資格の適正化が図られてきている。	47,142	50,539	54,333	2精査・検証	国民健康保険法に基づき実施しているが、業務手法等については、随時、検証していく必要がある。	資格の適正化や、医療費の適正化に向け、周知に努める。
59	会計名：国保 款項目：1-1-2 事業名：国保連合会等に要する経費	保険年金課			診療報酬審査支払機関の国民健康保険団体連合会に、事務費負担割、均等割、人数割に応じた負担金を支払う。	被保険者の減少に伴い、負担金は減少している。	2,875	2,843	2,810	2精査・検証	負担金については、県内市町村長が理事となる総会で決められているが、随時、検証していく必要がある。	各保険者が共有する事務処理を委託して行うことにより、効率化を図る。
60	会計名：国保 款項目：1-2-1 事業名：国保料（税）の賦課徴収に要する経費	保険年金課	○		国民健康保険条例に基づき、保険料を賦課し、収納管理及び滞納整理を行う。	国民健康保険事業や事業費納付金の財源の安定確保のため、収納率の向上が必要である。	27,870	29,705	28,524	2精査・検証	収納率は向上してきているが、随時、収納方法を増やすなど、検証していく必要がある。	滞納整理を進めると共に、納め忘れを防止するため、口座振替加入率の向上を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
61	会計名：国保 款項目：1-3-1 事業名：運営に関する協議会に要する経費	保険年金課			国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議し、国民健康保険事業の適正化を図る。	運営に関する協議会委員のそれぞれの立場からいただいた意見を集約し、運営に反映している。	75	48	273	2精査・検証	運営に関する協議会は、市町村の必置の機関であるが、その審議内容等は、随時、検証していく必要がある。	被用者保険代表や被保険者代表等、幅広い立場の委員から、意見をいただく。
62	会計名：国保 款項目：2-1-1 事業名：一般被保険者療養給付費に要する経費	保険年金課			被保険者が疾病や負傷等により、受診した場合、医療費の保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に支払う。	高齢化等により、1人あたり療養給付費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	6,349,054	6,074,530	6,400,000	2精査・検証	1人あたり療養給付費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要がある。	疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。
63	会計名：国保 款項目：2-1-2 事業名：退職被保険者療養給付費に要する経費	保険年金課			被保険者が疾病や負傷等により、受診した場合、医療費の保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に支払う。	平成27年4月より新規加入者への適用ができなくなったため、退職者医療制度の該当者はいない。	0	0	1	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に制度が終了した。	退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。
64	会計名：国保 款項目：2-1-3 事業名：一般被保険者療養費に要する経費	保険年金課			被保険者が柔道整復師の施術、鍼灸等の施術をした場合、その保険者負担分を施術所等へ支払う。	高齢化等により、1人あたり療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	71,043	64,280	74,000	2精査・検証	1人あたり療養費は増加しており、療養費適正化に取り組む必要がある。	療養費のアンケートを実施し、療養費適正化の周知に取り組む。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多額 の経費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
65	会計名：国保 款項目：2-1-4 事業名：退職被保険者等療養費に要する経費	保険年金課			退職被保険者が柔道整復師の施術、鍼灸等の施術をした場合、その保険者負担分を施術所等へ支払う。	平成27年4月より新規加入者への適用ができなくなったため、退職者医療制度の該当者はいない。	0	0	1	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に制度が終了した。	退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。
66	会計名：国保 款項目：2-1-5 事業名：審査支払手数料に要する経費	保険年金課			国保連合会は医療機関からの診療報酬明細書を審査支払し、その審査手数料を各保険者が支払う。	被保険者数の減少により、審査件数の減少が予想される。	13,071	12,722	13,379	2精査・検証	手数料については、県内市町村長が理事となる総会で決められているが、随時、検証していく必要がある。	診療報酬明細書の審査を強化し、医療費の適正化に取り組む。
67	会計名：国保 款項目：2-2-1 事業名：一般被保険者高額療養費に要する経費	保険年金課			被保険者が同月内の医療費の自己負担額が高額になった場合に、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。	高齢化等により、1人あたり高額療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	985,955	932,518	1,160,000	2精査・検証	1人あたり高額療養費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要がある。	疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。
68	会計名：国保 款項目：2-2-2 事業名：退職被保険者等高額療養費に要する経費	保険年金課			退職被保険者が、同月内の医療費の自己負担額が高額になった場合に、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。	平成27年4月より新規加入者への適用ができなくなったため、退職者医療制度の該当者はいない。	0	0	1	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に制度が終了した。	退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
69	会計名：国保 款項目：2-2-3 事業名：一般被保険者高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			被保険者の年間の医療と介護の自己負担額が高額になった場合に、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。	高齢化等により、1人あたり高額療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	589	1,101	1,300	2精査・検証	1人あたり高額療養費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要がある。	疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。
70	会計名：国保 款項目：2-2-4 事業名：退職被保険者等高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			退職被保険者の年間の医療と介護の自己負担額が高額になった時、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。	平成27年4月より新規加入者への適用ができなくなったため、退職者医療制度の該当者はいない。	0	0	1	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に制度が終了した。	退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。
71	会計名：国保 款項目：2-3-1 事業名：一般被保険者移送費に要する経費	保険年金課			被保険者が負傷、疾病等の治療のため、医師の指示で緊急的な必要で移送された場合等に、移送費を支給する。	緊急性が審査されるため、該当となるケースは少ない。	34	0	100	2精査・検証	移送費は該当ケースが少ないため、随時、検証して行く必要がある。	疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。
72	会計名：国保 款項目：2-3-2 事業名：退職被保険者等移送費に要する経費	保険年金課			退職被保険者が負傷、疾病等の治療のため、医師の指示で緊急的な必要で移送された場合等に、移送費を支給する。	平成27年4月より新規加入者への適用ができなくなったため、退職者医療制度の該当者はいない。	0	0	1	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に制度が終了した。	退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
73	会計名：国保 款項目：2-5-1 事業名：葬祭費に要する経費	保険年金課			被保険者が死亡した場合に葬祭費用として、喪主に5万円を支給する。	葬祭費の財源は保険料となっており、金額等を精査検証する必要がある。	8,350	9,250	10,000	2精査・検証	被保険者の葬祭費用の軽減が図られているが、随時、その内容等を検証していく必要がある。	葬祭費の制度について、周知に取り組む。
74	会計名：国保 款項目：3-1-1 事業名：一般被保険者医療給付費分納付金に要する経費	保険年金課			国保財政の運営主体である県が医療費水準及び所得水準に応じて算出した一般被保険者医療給付費納付金を収める。	一人当たり医療費の増加により増額傾向にあるため、納付に必要な収入を確保する必要がある。	1,846,535	1,859,844	1,938,086	2精査・検証	納付金に必要な保険料率について、検証していく必要がある。	保険料収納率の向上や医療費の適正化により、歳入確保に努める。
75	会計名：国保 款項目：3-2-1 事業名：一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金に要する経費	保険年金課			国保財政の運営主体である県が医療費水準と所得水準で算出した一般被保険者後期高齢者支援金等納付金を収める。	納付金は増額傾向にあるため、納付に必要な収入を確保する必要がある。	719,118	687,257	772,723	2精査・検証	納付金に必要な保険料率について、検証していく必要がある。	保険料収納率の向上や医療費の適正化により、歳入確保に努める。
76	会計名：国保 款項目：3-3-1 事業名：介護納付金分納付金に要する経費	保険年金課			国保財政の運営主体である県が医療費水準及び所得水準で算出した一般被保険者介護納付金分納付金を収める。	納付金は増額傾向にあるため、納付に必要な収入を確保する必要がある。	305,628	283,730	271,301	2精査・検証	納付金に必要な保険料率について、検証していく必要がある。	保険料収納率の向上や医療費の適正化により、歳入確保に努める。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容	
77	会計名：国保 款項目：4-1-1 事業名：退職者医療事務費拠出金に要する経費	保険年金課			退職者医療制度該当者を抽出するため、拠出金を納付し、該当者リストの提供を受ける。	平成27年4月より新規加入者への適用ができなくなったため、退職者医療制度の該当者はいない。	0	0	2	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用がなくなった。	退職者医療制度終了に向け、退職者医療制度該当者の抽出・振替を終了する。	
78	会計名：国保 款項目：5-1-1 事業名：特定健康診査等に要する経費	保険年金課	○		年1回特定健康診査を実施。結果により、生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨を行う。	令和3年度法定報告では、コロナ禍において、特定健診受診率36.7%と県平均を0.1%上回った。生活習慣病に起因する医療費は、医科医療費の約4割を占めており、発症予防と重症化予防が求められている。	74,000	71,505	84,151	2	2精査・検証	被保険者数は減少傾向であるが、高齢化が進行し、1人当たり医療費は増加している。生活習慣病重症化予防のため、受診率向上を目指し、効果的な事業の精査が必要。	未受診者に、AI勧奨はがきの送付を行うとともに、治療者には、かかりつけ医から健診勧奨を与えるようチラシを作成し受診率向上を図る。
79	会計名：国保 款項目：5-2-1 事業名：疾病予防に要する経費	保険年金課			人間ドック等助成事業や糖尿病性腎症重症化予防事業等により、生活習慣病の重症化予防等を実施する。	重症化予防事業について、より疾病リスクが高い健康無関心層の人等が利用につながるよう支援が必要である。	11,509	11,409	14,642	2	2精査・検証	1人あたり保険給付費は増加しており、生活習慣病重症化予防のため、随時、事業を検証していく必要がある。	糖尿病性腎症重症化予防のため、保健指導の実施の他、最新の医療情報を学べる場機会としてセミナーを開催する。また適正服薬方法普及の推進のためセミナーを開催し、被保険者のセルフケアを支援する。
80	会計名：国保 款項目：6-1-1 事業名：国民健康保険財政調整基金積立金に要する経費	保険年金課			保険財政の毎年の変動に対応するため、国民健康保険財政調整基金への積み立てを行う。	基金の活用により、納付金や繰越金の変動に対応しており、一般会計からの法定外繰入金解消につながる。	227,049	257,733	1	2	2精査・検証	財政基盤の安定が図られたが、随時、積立額について精査・検証していく必要がある。	国民健康保険の財政基盤を安定させるため、収支状況に応じて適切に積み立てを行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
81	会計名：国保 款項目：7-1-1 事業名：一般被保険者保険料（税）還付金等に要する経費	保険年金課			一般被保険者にかかる国民健康保険料の重複納付・更正減額等による過誤納金の還付事務を行う。	遡り喪失等を理由とする更正減額による還付が多数を占めるため、適正な資格管理が課題である。	7,943	8,069	15,000	2精査・検証	保険料の適正賦課のため必要不可欠であるが、適正な資格管理について、検証していく必要がある。	喪失手続きの周知・勧奨や、二重納付防止の対策を講じ、過誤納金の抑制を図る。
82	会計名：国保 款項目：7-1-2 事業名：退職被保険者等保険料（税）還付金等に要する経費	保険年金課			退職被保険者にかかる国民健康保険料の重複納付・更正減額等による過誤納金の還付事務を行う。	遡り喪失等を理由とする更正減額による還付が多数を占めるため、適正な資格管理が課題である。	0	0	100	2精査・検証	平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に制度終了した。	退職者医療制度終了により、退職者医療制度該当者への還付金は減少する。
83	会計名：国保 款項目：7-1-3 事業名：国民健康保険交付金・負担金償還金に要する経費	保険年金課			国や県から支払われる負担金及び交付金について、過大に交付があった場合に、翌年度に償還する。	実績報告により、償還額が確定するため、毎年度、補正予算となる。	2,512	1,201	1	2精査・検証	前年度の実績報告に伴う返還金であるが、申請金額について、検証していく必要がある。	療養給付費等国庫負担金等は、30年度より県が申請している。
84	会計名：後期 款項目：2-1-1 事業名：広域連合納付金に要する経費	保険年金課			市が徴収した保険料や、保険基盤安定制度に係る県と市の負担分等を広域連合へ納付する。	保険基盤安定制度については、被保険者の増加により予測が困難となっている。	1,492,527	1,593,382	1,667,624	2精査・検証	保険基盤安定制度は、広域連合の試算に基づき予算を組んでいるが、被保険者数が増加しており、随時、検証していく必要がある。	定期的な保険料徴収状況の確認を行うことで適切な保険料納付額を算定する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
85	会計名：国保 款項目：2-6-1 事業名：傷病手当金に要する経費	保険年金課			発熱等の症状があり新型コロナウイルス感染症の感染が疑われ、労務に服することができなかった期間について傷病手当金を支給する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い支給件数が増加していたが、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられることに伴い、令和5年度で制度は終了となる。	1,083	3,315	1,000	3縮小・統合	令和5年度で制度が終了となるため。	制度の終了に伴い、国からの事務連絡等に基づき周知を行う。
86	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：ごみ減量業務に要する経費	クリーン推進課	○		有価物回収運動奨励金や生ごみ処理容器等購入費補助金等の支払いを行う。	循環型社会の構築には、ごみの減量化に繋がる資源化の促進を図る必要があるが、有価物の回収量は減少傾向で資源化率も向上できずにいる、さらにPTAの負担になりつつあるなどが課題である。また、生ごみ処理容器購入費の補助は増加傾向にあるので生ごみ減量促進につなげたい。	9,301	8,229	10,265	1拡大・拡充	市民に直接働きかけることでごみの減量化につながる施策であるため、PR活動等を継続する必要がある。	ごみアプリ等を活用するなど啓発の向上を図るとともに、さらに効果的効果的にPRを行う。
87	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：旧クリーンセンター管理に要する経費	クリーン推進課			休止中である旧クリーンセンターの維持管理を適正に行い、周辺環境や安全を確保するもの。	・旧クリーンセンターは建設後35年が経過し老朽化が顕著であり施設の保全と安全の確保のため適切な管理を要する。 ・特に施設の基礎的な部分に不具合が生じてきており、適切な対応が必要である。	2,298	628	174	1拡大・拡充	効率的・効果的な管理について検証を行いながら、継続して管理を行っていくため。	・施設の保全と安全の確保を目的として、効率的な管理を行う。 ・必要な修繕について、必要最小限の対応がとれるよう、計画的な点検及び修繕対応を図る。
88	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：ふれあい収集事業	クリーン推進課	○	○	自らごみを出すことが困難な高齢者や障がい者等に対して、ごみの戸別収集となるふれあい収集事業を実施することに伴い、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に係る経費等を負担する。	適正な運用を図るため、利用者の要望等を検討するとともに、引き続き当事業の周知啓発を行う。また少子高齢化の更なる進行により利用者の増加が見込まれるため、環境衛生組合と連携し事業経費の検証等が必要となる。さらに3年ごとの利用者の現況調査を実施する。	9,769	9,769	9,937	1拡大・拡充	ごみ出しが困難な方に対して、戸別収集を行うことは、負担や不安の軽減につながるものである。	適正な運用を図るため、利用者の要望等を検討するとともに、引き続き必要とされる方に事業案内が伝わるような効率的・効果的な啓発を実施する。また、事業開始から3年経過するため、現況調査を実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
89	会計名：一般 款項目：4-2-3 事業名：し尿処理事務に要する経費	クリーン 推進課	○		し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行うもの及び合併浄化槽の設置の補助を行い水質汚濁の改善を図るもの。	・物価上昇等により、汲取り・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換件数が伸び悩んでいる。 ・本市の汚水処理事業を経済的かつ効率的に推進できるよう公共下水道整備計画による進捗を注視する必要がある。 ・し尿処理手数料徴収事務委託先においてインボイス対応によりシステム改修が必要となる。 ・し尿処理手数料収入は、公共下水道等の普及進捗により減少してきている。	89,007	86,879	94,415	1拡大・拡充	・し尿処理事業を適切に運営するため、堅実な事業管理の継続と、更なる効率的・効果的な運営に努める。 ・合併処理浄化槽転換補助事業をより効果的な補助制度とするため、制度の周知等について検証を行いながら、継続して事業を展開し、また、水系保全・改善の観点から合併処理浄化槽の普及を図る。	・合併処理浄化槽への転換件数の増加を図るため、対象者に対してより効果的な周知を行い、当該制度の利用促進を図る。 ・手数料徴収委託先業者と、手数料徴収事務のインボイスへの適切な対応を図る。
90	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：道路の安全衛生管理に要する経費	クリーン 推進課			道路上の小動物の死体処理、市民による側溝清掃で発生した汚泥処理等を実施するもの。	市内のほぼ全域の路上等で、経常的に小動物の死体が発生している。また、市民による側溝清掃も各場所です定期的に実施されているため、いずれも速やかな回収を実施して路上等の安全及び衛生管理の確保をするが24時間体制の回収体制の確保が課題となっている。	5,519	5,068	6,049	2精査・検証	環境衛生の確保のため、道路上の小動物や残土を速やかに回収するため事業について精査・検証のうえ継続する。	小動物の死体や側溝清掃の残土の回収依頼に、速やかに対応できるよう、委託業者との連携を図る。
91	会計名：一般 款項目：4-2-1 事業名：清掃事務に要する経費	クリーン 推進課			廃棄物の出し方、分別などについて、電話や窓口における相談やその他廃棄物処理に関する事務、苦情処理等を行う。	日常的に窓口や電話対応による相談や苦情の相談件数が非常に多いため、正職員だけでは対応が困難であるため、対応体制を確保するとともに、苦情や相談が減るようごみ出しに係る仕組みを整えることも必要である。	6,160	106,003	6,555	2精査・検証	電話や窓口対応が日常的に多いため、業務に精通した会計年度任用職員による対応を継続する必要がある。	市民への指導内容等について統一を図るため、正規職員・会計年度任用職員間で常に情報共有を図る。
92	会計名：一般 款項目：4-2-1 事業名：柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費（周辺整備等）	クリーン 推進課			廃棄物処理施設周辺住民に対する環境整備を目的とした還元施設の維持管理や周辺環境の改善に必要な経費を負担するもの。	・廃棄物処理施設周辺整備については、施設が立地する地域の環境整備等に係る協定の履行が必要であるが、構成市等の理解と協力を要するため関係各所との調整を図りながら着実に進めていく必要がある。 ・柏市と共同処理に関する協議を行っており、協議による影響が見込まれる。	155,074	136,541	156,113	2精査・検証	還元施設の運営について常に検証を行いながら、必要経費について継続して負担していくため。	廃棄物処理施設の周辺整備に係る協定の履行について進捗状況を把握し、環境衛生組合及び構成市等と協議を進める。また、柏市と共同処理について協議を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務 事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
93	会計名：一般 款項目：4-2-1 事業名：廃棄物処理施設周辺整備事業	クリーン 推進課	○	○	廃棄物処理施設周辺の環境整備を目的として、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が定める廃棄物処理施設周辺整備基本計画に基づき実施される事業に係る必要な経費を負担するもの。	・廃棄物処理施設が立地する地区と締結した協定に基づく周辺整備基本計画の履行には、本市実施計画に基づく着実な進捗及び事業費の確保が必要である。 ・継続的に同地区の生活環境が向上するよう、周辺整備基本計画の実現に向け事業を実施する必要がある。 ・柏市と共同処理に関する協議を行っており、協議による影響が見込まれる。	7,459	5,440	2,391	2精査・検証	補助制度の活用など、常に効率的な実施を検討しながら、必要経費について継続して負担していくため。	廃棄物処理施設周辺整備基本計画に基づき、引き続き構成市として事業の進捗を図る。また、柏市と共同処理について協議を行う。
94	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：廃棄物処理事務に要する経費	クリーン 推進課	○		ごみゼロ運動などの事業を主催する環境美化対策推進協議会への補助金の支出や、ごみの出し方パンフレットの印刷やごみ分別アプリの提供や、ごみ集積所の登録などを行う。	ごみ集積所は年々増加しているため、集積所に必要なプレートや防鳥ネットなどの消耗品が不足しないよう調達する必要がある。ごみの分別・減量化が進むよう、ごみ分別アプリについてもすべての年齢層の方が利用しやすいよう今後も改良し提供する必要がある。	4,864	4,715	4,889	2精査・検証	増えていくごみ集積所について、適正な利用者の運営環境を整えるため、精査・検証のうえ継続する必要がある。	利用者による適正なごみの分別及びごみ集積所の運営環境を確保するため、ごみの出し方についてアプリケーション、印刷物による啓発、出前講座の実施を通して、さらに利用者の利便性の向上を図る。
95	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費（ごみ処理等）	クリーン 推進課			柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合構成団体の地区内（柏市沼南地区・鎌ヶ谷市全域）で排出されたごみを適正処理するために建設された施設の建設施設償還金及び移設運転管理等の経費を負担するもの。	・柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合において、本市と柏市（旧沼南地区）のごみの共同処理を実施しているが、20年以上経過した老朽化した施設の継続した安定稼働を確保するため、維持管理費の増加が見込まれる。 ・柏市と共同処理に関する協議を行っており、協議による影響が見込まれる。	1,248,590	1,298,743	1,373,658	2精査・検証	継続して老朽化した施設の安定稼働を図るための適切な維持管理及び運営を行うとともに、柏市と共同処理について協議を行っていくため。	環境衛生組合及び構成市と共にクリーンセンターしらせの運営が円滑に進むよう継続して協議・調整を進める。また、柏市と共同処理について協議を行う。
96	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：最終処分場に要する経費	クリーン 推進課			埋立てが終了した鎌ヶ谷市一般廃棄物最終処分場を適正に管理し、周辺環境及び地下水の水質を保全するもの。	・埋立終了から20年が経過していることから、廃止に向けて調査研究を進めていくことが求められている。 ・当該地は、環境衛生組合が行う周辺整備実施事業計画区域にあたるため、事業の進捗を見極めながら廃止の手続きを検討する必要がある。	4,304	4,015	10,126	2精査・検証	埋立て終了から20年が経過しており、廃止に向けて各種データ収集等を行いながら、継続して維持管理を行っていくため。	安全を確保した適正な維持管理を継続しながら、廃止に向けた各種データの収集及び調査研究を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
97	会計名：一般 款項目：4-2-3 事業名：柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費（し尿処理等）	クリーン推進課			柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合構成団体の地区内（柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市）で排出されたし尿及び浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の維持管理等の経費を負担するもの。	・アクアセンターあじさい稼働後20年以上が経過し、施設設備の老朽化の進行による維持管理費の増加が見込まれる。 ・国が定めるインフラ長寿命化基本計画に基づき環境衛生組合が作成した当該施設の個別施設計画を検証する必要がある。	187,624	204,808	247,703	2精査・検証	当該施設の老朽化が進行していることから必要な修繕計画を環境衛生組合と検討及び検証し、継続して適切な維持管理等に必要な経費を負担していくため。	当該施設の適切な機能保全のため、計画的な修繕等について、環境衛生組合及び構成市と継続して協議・調整を行う。
98	会計名：一般 款項目：4-2-2 事業名：クリーンセンターしらさぎ長寿命化対策事業	クリーン推進課	○	○	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が実施する「施設長寿命化総合計画」に基づくクリーンセンターしらさぎの長寿命化対策事業に係る経費を負担するもの。	令和4年度をもって長寿命化工事が完了。	40,011	43,087	0	4終了・廃止・休止	令和4年度で事業が完了したため。	令和4年度で事業完了。
99	会計名：一般 款項目：4-1-1 事業名：狂犬病予防等に要する経費	環境課	○		狂犬病による被害を防止するため、犬の登録及び予防注射（集合注射）を実施する。 登録や予防注射済みの所有者に鑑札及び注射済証を交付する。集合注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札及び注射済証の交付を行う。 また、動物愛護の観点から「人」と「動物」との共生社会を目指し、「飼い主のいない猫」による生活環境への影響を最小限に抑えるため、不妊去勢手術を行い、「飼い主のいない猫」の増加抑制を図る。	狂犬病予防注射の接種率は全国平均70.9%（令和3年度）である。本市の令和4年度実績は77.1%となり、目標76.5%を達成した。狂犬病による被害を防止するため、引き続き、予防接種率の向上に努める必要がある。 また、飼い主のいない猫の不妊去勢手術件数は、60件となり、現状値を上回ったが目標値は達成していない。引き続き、件数の向上に努める必要がある。	4,415	3,908	8,668	1拡大・拡充	狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、予防注射を未接種の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。 飼い主のいない猫による糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数の増加を抑制するため、今後も継続していく必要がある。	狂犬病予防集合注射の接種率は増加したが、未接種の犬を減らすため、飼い主に対し接種を促すとともに接種率向上の対策を講じる。 「飼い主のいない猫不妊・去勢助成事業」については、引き続き、飼い主のいない猫の個体数の抑制を図るとともに保健所巡回指導の強化を図る。
100	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：生活排水対策に要する経費	環境課	○		水質を保全するため、水質汚濁防止法により公共用水域の水質の測定を行い、県に報告する。また、市民への河川等への浄化意識の啓発を促す。	千葉県北部・北西部に位置する手賀沼・印旛沼は昭和30年代以降の都市化の影響により水質が悪化し環境基準を達成していない状況が続いている。手賀沼・印旛沼に流れ込む鎌ヶ谷市の水域にも更なる水質改善を図っていく必要がある。	3,944	2,609	3,111	1拡大・拡充	手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。	水質改善を図るため、鎌ヶ谷市内の公共用水域10カ所で水質調査を行い汚染状況の把握をする。市民の意識向上の為、水質浄化の啓発活動回数を増やす。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
101	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：害虫駆除に要する経費	環境課			民有地にできたスズメバチの巣について、人的被害が及ばないよう、委託業者に駆除の依頼を行う。	気候変動や生活環境の変化などにより、今後、スズメバチの巣の駆除について、市民からの相談や駆除要請が増加する可能性がある。	744	861	992	1拡大・拡充	地球温暖化により、外来生物（害虫）が生存しやすい生態系になりつつあり、またその外来生物が原因で市民の安全を脅かす生活環境になりつつあるので、市民の安全・安心の観点からも、引き続き人の生命の危険を及ぼすスズメバチについては駆除を行う必要がある。	近年デング熱を媒介するヒシジマカや、ヒアリ、セアカゴケグモ等新たな外来害虫の生存が次々に確認され、今後も増加傾向が予想されるため、行政が駆除すべき害虫の選別や実施方法等の精査検証を行う必要がある。
102	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：手賀沼・印旛沼等水質保全に要する経費	環境課			手賀沼水環境保全協議会と印旛沼水質保全協議会で行う水質改善事業に係る運営費を負担し、湖沼の水質改善に取り組む。	協議会の運営並び事業の一部に参画しているため、業務運営並びに運営費の効果的な活用に努める必要がある。	1,013	1,064	1,169	1拡大・拡充	水質改善の啓発活動や協議会の構成市として当会の効果的な運営を注視していく必要がある。	手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。
103	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：大気汚染・騒音・振動防止対策の推進に要する経費	環境課	○		基地を抱える鎌ヶ谷市として市民生活への影響を把握するため下総航空基地周辺騒音調査を行う（県4箇所、市1箇所）。また、県が自動車騒音対策を計画的総合的に行うため、騒音規制法第18条により市が自動車騒音の状況を常時監視することになっており、主要幹線道路の自動車騒音監視業務を行う。	本市が測定した下総航空基地周辺騒音調査では環境基準値を下回っていた。自動車騒音監視業務では環境基準達成率は87.7%であった。	2,303	2,468	2,843	1拡大・拡充	法令等により、市に義務付けられた業務であるため、下総航空基地や主要幹線道路による公害状況を今後も長期にわたって測定し、結果を注視していく必要がある。	下総航空基地への要望活動や県の自動車騒音対策の基データとして必要なため継続して実施する。
104	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：地下水汚染防止対策の推進に要する経費	環境課			揮発性有機化合物（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・1・1、トリクロロエタン、四塩化炭素）による地下水汚染の実態を把握するため、定期調査し地下水汚染状況のモニタリングを実施する。	汚染解消には長期間を要し、またその地下水汚染状況調査結果には、環境基準を達成していない箇所が未だにある。	71	127	268	1拡大・拡充	汚染状況に係る調査結果を長期にわたって注視していく必要がある。	長期間にわたり地下水汚染状況を把握する必要があるため、今後もモニタリングを継続する。令和2年度に実施した栗野地区の地下水汚染調査で環境基準を超過した。令和4年度から県補助金を活用し周辺調査及び飲料指導の実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
105	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：水道の衛生対策に要する経費	環境課	○		地方分権改革の推進のため平成25年度より保健所から権限移譲された事務（専用水道、簡易専用水道、小規模専用水道、小規模簡易専用水道）を実施する。	届出のある水道施設（16施設）の立入検査を実施している。また、専門知識を有する職員の確保・育成が必要である。	2,729	2,226	2,986	1拡大・拡充	法令等により、市に義務付けられた業務であるため、今後もより効率的な体制で事業を継続していく。	水道施設の立入検査を実施し、適正な飲用水の確保をするとともに、引き続き、事務（専用水道及び簡易専用水道）の習熟を図る。
106	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：四市複合事務組合に要する経費	環境課			斎場事業の運営にかかる分賦金として、管理運営費と施設整備費を支出している。	本市の利用率が高い馬込斎場については、令和5年2月に大規模改修工事が終了し、継続的に安定的な運営が見込まれる。 また、令和5年4月から火葬料金や式場料金の改定が行われたが、市によって各斎場の利用率に差が見られることから、今後も利用料の見直し等について検討の余地がある。	99,963	97,008	119,625	2精査・検証	斎場利用状況の将来予測等により、斎場事業の総合的な検討を行っていくため。	本経費は四市複合事務組合へ支払う負担金額である。令和元年10月に第2斎場が開業し、令和5年2月に馬込斎場の大規模改修工事も終了したことから、適正な管理運営が行われているか確認を行う必要がある。
107	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：環境保全の啓発に要する経費	環境課	○		令和5年3月に策定した鎌ヶ谷市第3次環境基本計画に基づき、市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化防止対策や生物多様性等の環境保全を啓発・推進するための環境講座や啓発イベント、補助事業等を実施する。	市が率先して温室効果ガスの排出削減を推進していくため、職員の意識を高める取組みや、国の補助金を活用し、公共施設へ再生可能エネルギー設備等を導入していく必要がある。また、市民・事業者の環境に関する問題意識の向上を図るため、SNSをはじめとした各種情報ツールによる情報発信、企業や大学との協働事業等を実施し、さらなる啓発活動を行っていく。	10,079	11,234	14,903	2精査・検証	効果的に市民に対する環境保全の意識の醸成を図る必要があるため、さらに多くの主体と協働で事業を進めていく。	鎌ヶ谷市第3次環境基本計画に基づき、国が掲げる2050年カーボンニュートラルを目指し、エコアクションプランの改定、ゼロカーボンシティ宣言、PPA方式による太陽光発電設備等の導入を進める。また、環境保全団体や学校、庁内他課など、より多くの主体と連携して事業を実施し、各種講座やイベント開催等のPRを図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
108	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：放射線対策に要する経費	環境課			市民の不安を解消するため、食品等の放射性物質の簡易測定検査及び、空間放射線量の測定を行う。	放射性物質の半減期は、30年と科学的にも立証されているため、長期にわたるモニタリングや、偶発的に放射線量が局所的に高くなるホットスポットの解消も必要になる。	1,722	1,769	35	3縮小・統合	モニタリング結果は10年以上、基準値を下回っているため取りやめ、除去土壌の取扱いなどを注視していくため。	除去土壌を保管しているがその処分基準が示されていない。処分基準の策定状況など国の動向を注視していく。
109	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：公衆浴場衛生対策に要する経費	環境課			入浴施設の衛生措置基準の遵守と公衆衛生の向上や利用促進のため衛生対策を助成する。 ○薬剤等の購入費に対し奨励金として補助を行う。 ○設備改善事業に対し要した費用の1/2の補助を行う。 ○「ふれあいお風呂の日」（毎月第2・4土曜日）に、市内在住の小学生が無料で入浴できる市内の公衆浴場に対し補助を行う。	家庭風呂の普及により、公衆浴場の利用者が減少している。	50	0	0	4終了・廃止・休止	公衆浴場の確保のための特別措置法により、自治体は公衆浴場の利用の機会の確保に努めなければならないと義務付けられており、現在の浴場施設の老朽化している現状を鑑み、その改善と公衆衛生を確保するため、今後も公衆浴場を支援する必要があるが対象施設から要望がなかった。	なし。
110	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：環境基本計画策定事業	環境課	○	○	鎌ヶ谷市第2次環境基本計画の計画期間が令和4年度をもって満了を迎えることと併せ、昨今の環境問題を取り巻く国内外の情勢の変化に的確に対応した計画の見直しを図るため、令和5年度を始期とする鎌ヶ谷市第3次環境基本計画を策定するものである。	計画の理念を市民に伝え、環境配慮意識を高め、最終的には市民の行動変容に繋げるため、策定後の普及啓発活動を継続的に行う必要がある。	2,215	3,676	0	4終了・廃止・休止	計画の策定が完了したため。	
111	会計名：一般 款項目：4-1-3 事業名：馬込斎場大規模改修事業	環境課	○	○	四市複合事務組合（船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市）が改修する馬込斎場に必要経費の負担を行う。	馬込斎場は、供用開始から40年経過しており、経年に伴う老朽化が進行している。このことから、今後も継続的に使用するための施設の長寿命化、さらに利用者の利便性の向上のため大規模改修工事を実施する必要がある。	7,844	20,836	0	4終了・廃止・休止	改修工事が終了し、供用開始されたため。	

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
112	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：果樹剪定枝リサイクル事業	農業振興課	○	○	果樹剪定枝等の回収を行い、剪定枝を原料とした糞尿吸着材等を生産する。	従来、果樹剪定枝の処分は、農業者が畑で焼却処分することが通常であった。しかしながら、本市で推進する都市農業では、畑の周辺に住宅が立ち並び、焼却処分が難しくなったため、行政が事業として介入する意味がある。また、世界的に温暖化が進み環境問題としても捉えられていることから、単純に焼却するのではなく、リサイクルに重点を置く必要がある。	9,753	9,753	9,753	1拡大・拡充	当該事業における果樹剪定枝の回収実績が年々増加しており、現在保管している回収場の容量不足が想定される。また、令和4年度より委託業者が従前利用していたリサイクル事業施設の利用ができなくなり、別施設での作業が必要となったこと及び燃料費高騰等の影響から、果樹剪定枝のリサイクル処理費用は増加が見込まれている。	果樹剪定枝の運搬及び処理について、別事者で対応ができるかどうか引き続き調査を行う。また、現在処理を実施している委託業者とは処理単価の減額について、調整を図ることとする。その他、現行の処理方法以外で、処理する方法を調査研究する。
113	会計名：一般 款項目：6-1-2 事業名：農業総務事務に要する経費	農業振興課			主に消耗品費、賃金（会計年度任用職員）及び放射性物質検査等に係る費用である。	震災から10年以上経過しており、ここ数年は放射線量も基準を超過することなく安定している。千葉県や近隣市の状況を踏まえ、検査の廃止も含めて検討する。	1,985	4,807	2,046	2精査・検証	市が行う農産物の放射性物質スクリーニング検査は、千葉県と連携体制が図られており、市が出荷自粛申請を行うことから、その結果を常に注視する必要があるため。	安心・安全な農産物の提供にあたり、引き続き検査対象の品目数を30品目として事業を実施する。
114	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業振興資金融資等に要する経費	農業振興課			農協と覚書を取り交わし預託する。その預託金を原資として農業者に資金貸付けを行い、利子の一部を市が負担する。	新規就農者の伸び悩みは後継者不足だけでなく、機械・設備購入の負担が大きいと考えられる。機械・設備購入の際の利子補給を充実させ、農業経営の安定化及び振興を図る必要がある。	25,606	25,607	25,892	2精査・検証	農業経営の安定化等をはかるため、融資制度の効果的な運用を精査・検証する必要があるため。	農業者の更なる利用促進に向け、利子補給率及び融資範囲について、定期的に精査・検証する。
115	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：市民農園に要する経費	農業振興課	○		市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。	本市が進める都市農業において、市街化区域内の農地を農業者以外に貸し出す本制度を継続し、農業への理解を深める必要がある。近隣の市町村では、民間企業が運営する貸し農園が増えており、その需要は高いと推測される。	1,631	1,631	1,632	2精査・検証	環境整備を行い利用者の利便性を高めていく必要があるため。	引き続き環境整備等に取り組み、利用者の利便性の向上を図り、市民農園の拡充について調査研究する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
116	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：鎌ヶ谷農産物ブランド育成に 要する経費	農業振興 課	○		市内農産物の販路拡大及び安定供給、PRを図 る。	引き続きブランド化に意欲的な農業者に対して、 鎌ヶ谷ブランド農産物認定農家・生産者団体の推 進を図るとともに、鎌ヶ谷市の農産物の特色や活 用について改めて見直す必要がある。	5,761	6,053	6,186	2精査・検証	市のマスコットキャラクターかまたんや農産物ブ ランドロゴマーク等を活用した更なる農産物のP Rを検討する必要があるため。	かまたんや農産物ブランドロゴマーク等を活用し た農産物のPRに努めるとともに、農産物ブラン ド認定農家の加入を促進、付加価値付与の方法を 調査する。
117	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：援農ボランティア推進に要す る経費	農業振興 課	○		援農ボランティア養成講座を実施して、ボラン ティアを育成・派遣する。	当該事業の目的は、農業者の高齢化による担い手 不足の解消であるが、近年は受講修了者の減少か ら支援を希望する農家の意向がかなえられていな い状況である。	250	250	250	2精査・検証	人員不足の傾向にある農業において、改革・改善 対策を検討する必要があるため。	受入れ希望の農業者とのマッチングを円滑に行う ため、受講内容、募集の工夫、受講期間のあり方 を検証し、受入れ希望農家への講座参加を促す。
118	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業振興対策事業に要する経 費	農業振興 課	○		農業経営の安定化を図るべく、補助金等の支援を 行う。	農林業センサスにおいて、基本三指標（経営体 数・耕地面積・従事者数）が5年毎の調査の度に 悪化の度合いが強まっている。引き続き、各農業団 体へ補助金を交付し、本市の農業経営の安定的な 発展が必要である。	14,373	13,847	5,068	2精査・検証	営農環境が変化していく中で、補助金の交付基準 等は定期的に検証をする必要があるため。	引き続き農業関係団体の安定的な発展のため、補 助金を交付する。
119	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業関係者等との連携に要す る経費	農業振興 課			農業行政全般に係る各種事業の実施案内等の周知 徹底と、基本方針の決定を図るための委員報酬。	農家実行組合は、本市からの情報伝達や意見集約 など本市農業の推進において重要な役割を果たし ている。農家が減少している現状において、引き 続き協働で取り組む必要がある。	157	155	166	2精査・検証	農業者に有益な情報を提供する必要があるため。	農業経営体の発展の観点から、相互連携体制の拡 充、農業者にとって有益な情報の周知を積極的 に行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務 事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
120	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：農業関係団体との協力事業に要する経費	農業振興課			農業経営体の育成、健全な運営のために、各農業団体へ負担金を支払う。	農林業センサスにおいて、基本三指標（経営体数・耕地面積・従事者数）が5年毎の調査の度に悪化の度合いが強まっている。引き続き、各農業団体へ補助金を交付し、本市の農業経営の安定的な発展が必要である。	1,548	1,225	1,236	2精査・検証	負担金額の拡充を含め精査・検証を行う必要があるため。	農業者関係団体の円滑な事業推進を図る。
121	会計名：一般 款項目：6-1-4 事業名：畜産振興に要する経費	農業振興課			鎌ヶ谷市家畜防疫協会等に対して、補助金等の支援を行う。	畜産農家が全国的に減少している中、引き続き、協会と連携し各種伝染病の発生の防止と家畜防疫体制の強化が必要である。	326	323	312	2精査・検証	各種伝染病の発生の防止と家畜防疫体制の確立のため。	継続して家畜の健康管理や防疫体制を整えるため負担金を支払う。
122	会計名：一般 款項目：6-1-5 事業名：農地事務に要する経費	農業振興課			県営手賀沼土地改良施設の維持管理及び印旛沼流域の土地改良施設の維持管理費等に係る負担金を支払う。	排水機場の施設維持管理は、農地の湛水被害軽減のために継続していく必要がある。	1,133	1,194	1,508	2精査・検証	土地改良施設の維持管理事業の効果的な方策を検討する必要があるため。	引き続き業務内容を精査し、本市の負担割合に応じた事業費を支払う。
123	会計名：一般 款項目：13-2-6 事業名：森林環境譲与税基金積立に要する経費	農業振興課			国内における森林の維持や管理、森林資源の活用を促進する。	世界的に環境問題が取り上げられ、木材製品等の利用が増えている。引き続き庁内へ森林環境譲与税の活用を促し有効活用していく必要がある。	8,931	11,662	12,001	2精査・検証	引き続き精査・検証を行い、事業を推進していく必要があるため。	引き続き木材製品等への活用について推進するため、財政担当課と協力して庁内周知等に取り組む。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
124	会計名：一般 款項目：6-1-3 事業名：インターネット梨販売事業	農業振興課	○	○	本市の特産品である梨の販路拡大のため、インターネットを活用して梨を販売する農家団体に対し、補助金を交付する。併せてインターネット梨販売のプロモーション等を継続して行う。	本市は、県内有数の梨の産地であるが、産地間競争が激しさを増す中で、鎌ヶ谷の梨の知名度を向上させる必要がある。当該事業により販路拡大、販売促進、ブランド化の確立を目指す。他県からの評価として、「鎌ヶ谷の梨は甘くて美味しい」と好評であるため、引き続き当該事業を通してブランド化を図る必要がある。	1,200	1,894	1,678	3縮小・統合	将来的に農家団体が自走できるよう、体制整備を進めると併せて、令和3年度より補助金を減額しているため。	農家団体の自走に向けて、補助金を段階的に減額していくことから、引き続き安定した販売方法について精査・検証する必要がある。
125	会計名：一般 款項目：5-1-1 事業名：雇用安定事務に要する経費	商工振興課	○	○	中小企業退職金共済掛金補助金の交付や無料職業紹介の充実及び就職支援セミナー等の開催により雇用の安定化を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、原油価格や物価高騰により、経済情勢は依然厳しい状況であるが、ウィズコロナの下で各種施策の効果もあり、持ち直しの動きがあり、雇用情勢についても緩やかに持ち直している。	4,216	3,973	4,523	2精査・検証	経済、雇用情勢は依然厳しい状況であり、今まで以上に市内の中小企業で働く従業員の福祉の向上及び就労希望者の要望に応えられるよう、求人求職の相談・紹介をし、雇用の安定化を引き続き図っていく必要があるため。	無料職業紹介所を多くの方に活用してもらえるよう積極的に周知を行う。併せて、各種就職支援セミナーを近隣自治体と連携して実施し、積極的な就職支援を行う。また、市広報誌・ホームページにより中小企業退職金共済掛金補助金の周知を図る。
126	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：商工業振興に要する経費	商工振興課	○	○	市内に存在する企業の大半を占める中小企業や経済活動を行う団体に対して、補助金の交付やイベントの共同事業などで支援を行う。	ここ数年は、大型店やネット通販の台頭による売上の減少及び事業主の高齢化により、店舗の廃業などが相次いでおり、既存の商店会は厳しい立場に置かれている。このような中、市域には駅が多くあり、結果として市民の行動の選択肢も多く、非常時にも歩いていける場所に商店があることが商店会のメリットと言える。商店会は地域で守るということを改めてPRすることが必要である。	19,490	23,507	25,413	2精査・検証	「場所的支援」「人的支援」以外の支援について、補助金交付事務の中で検討し、より商工業振興団体の現状に則した支援を可能にする必要があるため。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなど、人が集まるイベント等の実施のハードルが下がったことから、消費者や地域とのつながりを深める取り組みの再開の後押しをしていく必要がある。
127	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：中小企業資金融資等に要する経費	商工振興課	○	○	中小企業に対する資金融資や融資の利子に対する利子補給など、中小企業支援を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、原油価格や物価高騰により、経済情勢は依然厳しい状況であるが、ウィズコロナの下で各種施策の効果もあり、持ち直しの動きがある。	166,679	190,877	98,055	2精査・検証	経済状況は持ち直しに動きはみられるが、中小企業の経営環境は先行きが不透明であり、引き続き中小企業支援を行う必要があるため。	中小企業が資金調達をしやすくするため、市制度融資や利子補給金を必要に応じて着実に実行する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
128	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：企業誘致基本計画推進事業	商工振興課	○	○	企業誘致基本計画、企業誘致促進条例及び施行規則に基づき、プロジェクトマネージャーを活用した企業・地権者訪問などを実施するとともに、企業立地奨励金等を活用し、企業誘致の促進を図る。	今後も地域経済の活性化、雇用機会の創出、税収の増加等に繋がる新たな企業の立地が求められる。北千葉道路整備状況等、本市を取り巻く環境の変化によって、企業進出の機運が高まることが期待される。	3,501	3,953	5,084	2精査・検証	企業誘致は地域経済の活性化及び市の財政基盤の強化に繋がることから、引き続きプロジェクトマネージャーを積極的に活用し、本事業を継続していく必要があるため。	担当者情報共有会議による庁内連携強化に加え、金融機関との更なる連携強化を行っていく。また、マッチングシステムを強化するため、新たに産業用不動産物件情報の共有に関する協定を締結する。
129	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：空き店舗活用事業	商工振興課	○	○	賑わいの創出を図るため、商店会の空き店舗を活用し、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1（上限100万円）を補助する。	市内商店会については、売上減少や後継者問題等により店舗の閉店が増加し、シャッター街化している商店会が少なくない。出店にあたっての相談があった場合、適切に相談に乗れるよう地域課題を把握する必要がある。	1,498	3,000	3,000	2精査・検証	商店会の空き店舗を活用し、集客に役立つ施設及び店舗の開店など、賑わいの創出を図っていく必要があるため。	より多くの方に活用してもらえるよう積極的に周知を行う。また、本事業活用者に対し事業継続に繋がるようフォローアップを行う。
130	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：創業支援事業	商工振興課	○	○	民間事業者に業務委託し、創業支援セミナーを開催する。	本市では、創業支援を推進すべく、平成27年度に「創業支援事業計画」を国に提出し、認定されたところである。平成28年度から創業支援セミナーを開催しているが、受講者は創業までにある程度の期間を要するため、継続的な支援が必要である。また、国としても、若年層を対象とした起業家教育の推奨など、創業機運醸成事業に注力している。	3,000	2,690	3,000	2精査・検証	創業機運の醸成事業は、創業者の裾野を広げるものであり、将来的には地域活性化に繋がるため。	前年度の実施状況も踏まえ、開催時期や開催期間等、開催方法について検討し、参加者によりよいセミナーとなるよう努め、増加及び出席率の向上を図る。
131	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	商工振興課	○	○	コミュニティビジネス事業やベンチャービジネス事業を行う対象者に補助金を交付し、新たに起業する人や市内の事業者のチャレンジを応援する。	平成27年度からは、事業を開始していない個人だけでなく、既存の事業所も対象として、条件緩和による制度の拡充を図っている。補助金のPRをするにあたり、ターゲットをしっかりと把握し、PRする必要がある。	2,912	4,507	4,507	2精査・検証	効果的に事業の周知を図る必要があることから、実績報告会の実施等、事業者同士の横の繋がりが持てる機会を提供する。	実績報告会では補助金を活用した事業者間で連携して新しい事業を行いたいといった声が出るなど、事業実施による成果が見られる。現行の取り組みを続けるとともに、事業者間の更なる連携に寄与するよう事業者へ積極的な実績報告会への参加を促す。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
132	会計名：一般 款項目：7-1-3 事業名：消費者対策に要する経費	商工振興課	○		消費者被害に対する相談業務や、啓発のための講座の開催及びチラシの配布等を行う。	商品や購入方法の多様化に加え、生活スタイルに大きな違いが出てきたことで、問題が複雑・巧妙化してきている。特に新型コロナウイルス感染症に関連した詐欺等に注意するよう市民に向けた注意喚起を行う必要がある。また、民法改正により、成年年齢が引き下げとなったため、対象者に対して啓発する必要がある。	6,066	6,441	6,720	2精査・検証	商品や購入方法の多様化、消費者問題の複雑化に対応するため、現在の状況を精査し、事業内容を検討していく必要があるため。	「消費生活」という言葉の認知度向上のため、引き続き講座・啓発チラシの作成を行い、消費者トラブルが身近であることや相談場所があることを広くPRする。
133	会計名：一般 款項目：7-1-4 事業名：観光振興に要する経費	商工振興課	○		観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取組を行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助する。	新型コロナウイルス感染症の影響は、少しずつ改善している状況にあるものの、コロナ禍以前と比較し観光客のニーズや環境の変化が考えられることから、今求められている観光施策を考えていく必要がある。	858	920	2,387	2精査・検証	観光は総合産業であり、地域を豊かにするために、引き続き観光施策を推進していく必要があるため。	観光は総合産業という視点のもと、引き続き観光ビジョンに基づき事業を実施する。また、現観光ビジョンは今年度末までであるため、新たな観光ビジョンを策定する。
134	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：プレミアム商品券発行事業	商工振興課	○	○	10,000円で12,500円分の買い物ができるプレミアム商品券を販売し、市内の消費の底上げを行うことで地域の活性化を図る。	短期的な消費の底上げを目的とし、国から交付された地方創生臨時交付金により実施している。令和5年度の実施についても、国や県・他自治体の動向等を注視し実施の可否について検討する必要がある。	29,708	39,197	0	4終了・廃止・休止	国から交付された地方創生臨時交付金を活用し実施したため単年度で終了。	なし
135	会計名：一般 款項目：7-1-2 事業名：キャッシュレス決済ポイント還元事業	商工振興課		○	市内の対象店舗における支払いの際にキャッシュレス決済サービス（PayPay）を利用した場合、決済1回につき1,000円相当、期間中合計5,000円相当を上限とし、当該消費者に対し20%のポイントを付与する。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、原油価格や物価の高騰により、市内で活動する中小企業等は売上の減少などの苦境に立たされ地域経済は落ち込んでおり、事業実施による消費の下支えが必要である。	0	120,570	0	4終了・廃止・休止	国から交付された地方創生臨時交付金を活用し実施したため単年度で終了。	なし

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
136	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：男女共同参画推進センターの 管理運営に要する経費	市民活動 推進課			男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画 の推進を図るための講座や啓発事業および、女性 が抱える様々な問題について自らが解決できるよ う相談事業を実施する。	効果的に男女共同参画の推進を図るため、ター ゲットを明確にし、イベントや講座の実施方法を 再検討する必要がある。また、相談を端緒として DV被害者等の安全確保や自立のための支援を行 うため、庁内及び関係機関との連携を強化する必 要がある。	4,215	5,114	6,220	1拡大・拡充	男女共同参画に馴染みのない方にも意識してもら えるよう、男女共同参画推進の啓発方法を検討し ていく必要がある。また、DV被害者等の支援に 向けて体制の見直しをする必要がある。	現状のニーズを把握しながら引き続き各種講座を 実施する。また、DV被害者等の支援のため、迅 速な連絡手段の確保や、より多くの方が相談でき るよう女性のための相談枠の増加を図る。
137	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：協働の推進に要する経費	市民活動 推進課	○		協働によるまちづくりの推進を図るため、「鎌ヶ 谷市 協働のためのアクションプラン22」に掲げ た各施策を展開する。	従来からの少子高齢化や地方分権の進展に加え、 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域社 会を取り巻く環境の変化は著しく、地域課題も新 たなものが浮き彫りになるなどさらに多様化して おり、まちづくりにおける協働の重要性はますます 高くなっている。	912	1,297	4,256	2精査・検証	新型コロナウイルス感染症の影響で市民公益活動 団体の活動が停滞気味であるため、「市民活動応 援補助金」による活動支援や、地域づくりコー ディネーターの活用により多様な主体を繋ぐこと で、市の市民公益活動を活性化させる必要がある。	市民公益活動団体の活動や多様な主体の協働の推 進のため、「市民活動応援補助金」や地域づくり コーディネーターの活用促進を図るとともに、包 括協定を締結した大学との協働事業を実施する。
138	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：地域振興に要する経費	市民活動 推進課			地域振興を図るため、自治会連合協議会等や市民 まつり実行委員会への支援を行うもの。	社会意識の変化等による自治会加入率の低下に加 え、コロナ禍における社会活動の自粛が徐々に緩 和されていることも併い、地域コミュニティ推進 に対する期待はむしろ高まっており、市民まつり や自治会活動を通じた地域振興を図る必要が生じ ている。	19,541	17,875	21,092	2精査・検証	地域活性化やまちづくりに必要となる協働事業で あるため。	鎌ヶ谷市民まつりや鎌ヶ谷市自治会連合協議会へ 支援を行い、市民まつりや自治会活動を通じて地 域振興を図る。
139	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：市民活動推進センターの管理 運営に要する経費	市民活動 推進課	○		市民活動推進センターを拠点とし、講座やイベン トの実施、情報発信等を通じて市民活動の推進を 図る。	市民公益活動団体が、従来からの会員の高齢化な どによる担い手不足に加え、新型コロナウイルス 感染症の影響により活動そのものが停滞気味で あるため、市民公益活動団体の強化や、多様な主 体を繋ぐコーディネーターの育成などが必要であ る。	3,429	2,927	4,894	2精査・検証	新型コロナウイルス感染症の影響で市民公益活動 団体の活動が停滞気味であるため、市の協働アド バイザーや地域づくりコーディネーターの一層の 周知を図り、積極的に活用してもらい、市の市民 公益活動を活性化させる必要がある。	市民公益活動団体の活動や多様な主体の協働の推 進のため、市の協働アドバイザーや地域づくり コーディネーターの一層の周知を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
140	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：男女共同参画推進に要する経費	市民活動 推進課	○		男女共同参画の推進を図るため、男女共同参画計画に基づく各施策を実施し、その進行管理を行う。	男女共同参画社会の実現に向け、第3次男女共同参画計画について進行管理を適正に進めるとともに、関連部署が男女共同参画の視点を意識して取り組むよう働きかける必要が生じている。また、基本理念である、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現のため、具体策を検討する必要が生じている。	83	90	107	2精査・検証	第3次男女共同参画計画について、関連部署が男女共同参画の視点を意識して取り組むよう、引き続き周知等を行う必要がある。	進行管理表の実施事業について、男女共同参画推進懇話会で意見を語り、一覧及び概要について公表を行う。加えて、進行管理表の実績を基に、関連部署が男女共同参画の視点を意識した事業実施を行うよう働きかけを行う。 また、鎌ヶ谷市パートナーシップ制度の導入にあたり、策定委員や庁内関係部署からの意見を反映させながら、制度の骨子案について検討する。
141	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：人権施策に要する経費	市民活動 推進課	○		基本的な人権を擁護するため、人権擁護委員と連携して相談業務及び啓発活動を実施する。	日常生活の中で生じる様々な人権問題や、社会情勢の変化に応じて発生する差別や偏見の解消に向けた啓発を行う必要がある。 人権擁護委員の成り手の減少が懸念されている。	358	497	744	2精査・検証	従前から人権擁護委員を担ってきた方々が定年を迎え、人事の入れ替わりが多くなっており、事業のありかたや進め方について見直しをする必要がある。	人権教室や人権講演会について、新任の人権擁護委員が担当することになったため、連携を図っていく。また、12月に予定されているヒューマンフェスタかまがや2023について、より参加者が得られるよう周知を行う。
142	会計名：一般 款項目：2-1-9 事業名：自治会集会所整備助成事業	市民活動 推進課	○	○	防犯・防災活動や環境美化活動など、地域のコミュニティ活動の拠点となる自治会集会所の新築等に際し補助金を助成するもの。	集会所の建替を希望する自治会への相談対応や、集会所を所有していない自治会へ借家事業の案内など、地域の実情に合った事業を行えるよう支援する必要が生じている。	15,907	435	540	2精査・検証	老朽化している自治会が数か所あり、今後も計画的な整備が必要となるため。	富岡自治会集会所借家事業および道野辺おおば自治会集会所借家事業への補助を引き続き実施する。
143	会計名：一般 款項目：2-1-12 事業名：各種相談に要する経費	市民活動 推進課			市民が社会生活を営む中で発生する様々な問題の解決の援助をするため、各種相談を実施する。	少子高齢化社会や高度情報化社会などによる急速な生活環境や地域社会との関わり方の変化などにより、相談内容も多様化・複雑化している。	1,716	1,716	1,742	2精査・検証	各種相談に対する市民ニーズが高いため、引き続き市民が必要としている相談を精査し、より効率的な体制を検討する必要がある。	新型コロナウイルス感染症対策として相談受付可能枠を制限していたが、令和5年5月より相談受付可能枠の数を新型コロナ流行前に戻して対応している。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
144	会計名：一般 款項目：2-1-13 事業名：コミュニティセンターの管理 運営に要する経費	市民活動 推進課	○		コミュニティセンター及び軽井沢地区集会所につ いて、市民の自主的活動の場を提供するため、施 設の維持管理を行うもの。	指定管理者制度が導入されている3館について は、モニタリング等で利用者のニーズを把握した 上で、指定管理者に対して適正な指導を行い、継 続的に市民サービスの向上を図っていく必要が生 じている。	36,564	52,427	57,700	2精査・検証	コミュニティセンターは地域住民の活動及び交流 の拠点となっており、高齢化が進む中、地域住民 にとっての価値が高まっているため。	引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇 談会等で利用者からの意見聴取を実施し、より良 い施設の管理運営を行っていく。
145	会計名：一般 款項目：2-1-13 事業名：コミュニティセンター等改修 事業	市民活動 推進課	○	○	公共施設の長寿命化計画に基づき、経年劣化した 施設の外壁、屋上防水等の改修を行うもの。	各施設の老朽化が進む中、不具合や故障が発生す る前に予防的な改修を行うことにより経費を抑制 することが課題となっている。	53,389	15,247	80,000	2精査・検証	公共施設の長寿命化計画に基づき、今後も計画的 な整備が必要となるため。	栗野コミュニティセンター外壁等改修工事を行 う。
146	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防災対策に要する経費	安全対策 課	○		鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、ソフト・ハード 両面において防災体制の強化のため計画的な整備 を進めていく。	避難所環境の向上や、感染症対策、災害時要配慮 者への対応などのため新たな備蓄品の配備、保管 場所の確保、備蓄品の計画的な管理と更新につ いて検討する必要がある。また、災害時の飲料確保 のための井戸付耐震性貯水槽も老朽化しており更 新や修繕を検討する必要がある。	53,444	18,378	25,746	1拡大・拡充	防災備蓄品の保管場所の確保及び効率的な更新、 管理方法を検討していく必要がある。災害時の飲 料確保のための井戸付耐震性貯水槽も老朽化して おり更新や修繕を検討する必要がある。	衛生用品などの物品についても更新計画を作成し 計画的に更新できる体制を整え、防災備蓄品の効 率的な保管場所や管理方法について検討する。ま た、災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水 槽も更新や修繕を検討するとともに、飲料確保の ための新たな手段を検討する。
147	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防犯対策に要する経費	安全対策 課	○		防犯カメラの適切な運用、自主防犯団体や鎌ヶ谷 市防犯協会との連携等により、犯罪のない安全で 安心なまちづくりを推進する。	令和4年の市内刑法犯認知件数は前年から減少 し、事業の効果は向上しているが、電話de詐欺被 害認知件数は、高水準となっている。今後も自治 会、関係行政機関等の協力を得て防犯対策の強化 を図る必要がある。	6,935	7,771	51,929	1拡大・拡充	自主防犯団体への防犯カメラ設置費補助金の交付 や防犯協会との連携により、活動支援の強化を 図っていく必要があるため。	自主防犯団体への防犯カメラ設置費補助金の交付 や防犯協会との連携による活動支援を強化するこ とにより、自主的な防犯活動による防犯体制を整 備する。また、電話de詐欺対策機器の配付を行 う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
148	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：自主防災組織資器材整備に要する経費	安全対策課	○		自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付する。	大規模災害時には、自主防災組織などの共助の機能が重要になるが、東日本大震災から10年以上が経過し防災に対する意識の高揚と自主防災活動の充実強化が課題となっている。	595	77	538	1拡大・拡充	引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付し、市全体の防災力を拡充していく必要があるため。	引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付し、市全体の防災力を拡充していく。また、自主防災組織を継続して支援していくための交付制度を検討していく。
149	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防災行政無線管理運営に要する経費	安全対策課			災害発生時の市民及び防災関係機関との重要な情報伝達手段である防災行政無線を運用するため、適切な維持管理を行う。	市民の生活様式の多様化や住宅の高層化・高气密化等により、放送がうるさい、聞き取りづらい等の様々な意見が市民から寄せられているが、今後も災害に備えて必要な整備を行う必要がある。	8,670	19,460	17,545	2精査・検証	災害発生時の市民及び防災関係機関との重要な情報伝達手段であり、事業手法等の精査・検証が必要なため。	災害に備えて、保守点検等の必要な維持管理を行い、引き続き情報伝達手段の調査研究を行う。
150	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：危機管理に要する経費	安全対策課	○		鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備を進める。	国際状況の変化などにより、これまで以上に危機管理体制の構築の推進が求められている。危機事案に柔軟に対応するためマニュアル等の見直しを適宜行っていく必要がある。	0	0	120	2精査・検証	業務継続計画（BCP）及び危機管理マニュアルの見直しを適宜行っていく必要があるため。	地域防災計画に定める業務継続計画（BCP）及び緊急事態対応計画に定める危機管理マニュアルの精査・検証を行い、適宜見直しをする。
151	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：夜間防犯パトロール事業	安全対策課	○	○	犯罪が多く発生する時間帯である夜間に、青色回転灯付パトロール車に警備員2人1組で乗車し、計2台4人の体制で、市内全域のパトロールを実施する。	令和4年の市内刑法犯認知件数は前年から減少し、事業の効果は向上している。今後も犯罪が起きやすい夜間のパトロールを継続して実施する必要がある。	17,369	17,588	19,545	2精査・検証	犯罪発生状況等の情報収集を行い、より効果的な防犯活動を行うため、事業手法等の精査・検証が必要なため。	犯罪を未然に防ぐため、市内全域のパトロールを実施し、市民や庁内からの情報提供・依頼等により、積極的にパトロール重点活動地域を指定する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
152	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：防犯灯管理・LED化推進事業	安全対策課	○	○	令和2年度に交換工事を実施したLED防犯灯等について、賃貸借により適切な維持管理及び新設等を行う。	市内の防犯灯は、市街地及び通学路を中心に整備され、概ね充足しているが、自治会等の要望に応じて新設等を行う必要がある。	55,224	37,443	0	4終了・廃止・休止	令和5年度から「防犯対策に要する経費」に移行したため。	—
153	会計名：一般 款項目：2-1-11 事業名：避難場所案内標識設置等事業	安全対策課		○	避難場所等を示す標識について、劣化が進んでいることから、更新工事を実施する。	経年劣化が進んでいることから、既存の案内標識の撤去及び新規設置を行う。また、新たに設置する標識は、多言語化を進めるとともに、案内標識全体を蓄光式とし、より安全性や視認性を高めたものとする必要がある。	0	4,046	5,984	4終了・廃止・休止	5箇所の既存標識の撤去を行うとともに、5箇所の新規設置を行った。	引き続き計画的に更新工事を行っていく。
154	会計名：一般 款項目：3-1-2 事業名：総合福祉保健センターの管理に要する経費	社会福祉課			総合福祉保健センターの安全な利用を確保するため、施設の維持管理、補修等を実施する。	総合福祉保健センターは高齢者、障がい者、子育て家庭などが利用することから、施設の状態を把握し、安全管理に務める必要がある。	41,743	47,381	47,518	1拡大・拡充	施設の状態を把握するため、点検等を行い、その結果に基づき適正に改修などを行う必要がある。	利用者の安全性や利便性の向上を図るため、施設点検を行うとともに、必要な改修を実施していく。
155	会計名：一般 款項目：3-3-1 事業名：生活保護事務に要する経費	社会福祉課		○	生活保護制度の適正な運用を行うため、システムの運用、保護費支給の経理などの事務を行うとともに、生活に困窮する被保護者世帯に対し、生活保護制度により最低限度の生活を保障するとともに、経済的・精神的・社会的自立を図る。	業務内容の複雑化、多様化しており、また国の制度改正に合わせて対応する必要があり、時間を要する事務がある。 また、被保護世帯は増加傾向にある一方で、就労収入増加による廃止は、年々減少傾向にある。	99,144	56,364	23,391	1拡大・拡充	法定受託事務として実施。生活保護に係る事務の効率化・迅速化、給付の適正化を図る必要がある。 また、被保護世帯に対し、最低限度の生活保障、自立支援をするとともに、適切で効果的な支援について検証を行う必要がある。	生活保護事務の効率化及びケースワーカーの負担軽減を図るため、一部の事務について電算化の検討を行う。 また、被保護世帯の適せな把握に努め、関係機関との連携を図り、最低限度の生活を保障するとともに、必要に応じて経済的及び社会的な自立を図っていく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
156	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：社会福祉事務に要する経費	社会福祉課	○		社会福祉の向上を図るため、社会福祉協議会への助成、福祉健康フェア、社会福祉法人等の監査などを実施している。	高齢化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化とともに、福祉ニーズが複雑化している状況にあり、ボランティアの育成や市民に対する意識啓発などを図っていく必要がある。	158,382	201,806	63,197	2精査・検証	福祉ニーズが複雑化している状況のなか、ボランティアの育成方法の検討や市民に対する意識啓発を図っていく必要がある。	社会福祉協議会への活動に対して助成を行うとともに、連携を図り、福祉ニーズの対応やボランティアの育成を図っていく。 また、市民に対する意識啓発を図るため、福祉健康フェアの実施方法の検討やホームページなどを活用し、情報を発信していく。
157	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：民生委員・児童委員に要する経費	社会福祉課	○		地域において、地域住民の立場にたって相談に応じている民生委員・児童委員及び主任児童委員の相談活動等を支援する。	地域の担い手である民生委員について定数に達していない状況にある。また、民生委員の活動しやすい環境を整備するとともに、地域の福祉ニーズに対応するため、質の向上を図っていく必要がある。	7,532	7,569	7,753	2精査・検証	民生委員・児童委員の欠員が生じているエリアが発生しており、引き続き欠員解消に向けた取組と質の向上を図る必要がある。	昨年度の一斉改選により、新たに委嘱された民生委員・児童委員に対しての行政研修を行い、福祉行政の知識の習得を推進する、 また、欠員がある地区については、欠員補充に努め、推薦会を実施のうえ、県に推薦するほか、ホームページなどの内容を変更するなど積極的な周知を図っていく。
158	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：地域福祉に要する経費	社会福祉課	○		地域福祉の推進を図るため、地域福祉計画策定・推進委員会において、地域福祉計画の進捗状況や施策等を審議するほか、避難行動要支援者の名簿作成など、地域福祉に関する各種事業を行う。	高齢化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化とともに、福祉ニーズが複雑化している状況にあり、地域で支え合う取り組みを推進する必要がある。	3,248	3,898	3,884	2精査・検証	高齢化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化とともに、福祉ニーズが複雑化している状況にあり、関係機関と連携を図り、各施策を総合的に推進していく必要がある。	地域福祉計画に掲げる施策を推進していくため、各課と連携を図る仕組みを構築するとともに、施策の総合的な推進を図っていく。
159	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：戦没者遺族等の援護に要する経費	社会福祉課			先の大戦で犠牲になられた方々に哀悼の誠をささげ、恒久平和を願い、毎年1回戦没者追悼式を実施する。	コロナ禍で実施するにあたって、感染予防対策や、また参列者の高齢化なども鑑み、来賓者の数等規模を縮小するなど対応しており、今後も実施方法について検討していく必要がある。	599	613	613	2精査・検証	参列する遺族の高齢化等に鑑み、今後の実施のあり方を検証する余地がある。	実施規模など検証しながら追悼式を実施する方向で検討する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
160	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：中国残留邦人等の支援に要する経費	社会福祉課			中国残留邦人等の生活の安定を図るため、世帯の状況に応じて給付を行う。	支援給付対象者の高齢化するなど、状況に変化があるため、変化に対応した細やかな支援が求められている。	6,355	6,025	12,712	2精査・検証	法定受託事務として実施。対象者の高齢化及び新型コロナウイルスの影響に伴い日本語教室の開催についても検討していく必要がある。	引き続き支援相談員やケースワーカー、その他の関係者と十分に連携しながら適切な支援を行うとともに、日本語教室の実施方法などについても検討していく。
161	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：生活困窮者自立支援事業に要する経費	社会福祉課	○		生活困窮者の自立支援を図るため、自立相談事業、住宅確保給付金の支給、就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施する。	相談窓口の利用促進や、関係機関と連携を図り、横断的な支援体制を図っていく必要がある。	22,646	19,958	19,963	2精査・検証	生活困窮者に対して、制度の利用促進を図るため、周知を図るとともに、関係機関と連携を図り、横断的な支援をしていく必要がある。	制度の更なる周知と相談員の質の向上を図るとともに、横断的な支援体制を強化するため、関係機関と連携していく。
162	会計名：一般 款項目：3-1-2 事業名：総合福祉保健センター改修事業	社会福祉課	○	○	総合福祉保健センターの安全な利用を確保するため、非常放送設備及びエレベーターの改修を実施する。	鎌ヶ谷市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の長寿命化を図るため、計画的な改修を行う必要がある。	10,329	1,866	66,450	2精査・検証	令和4年度に実施した設計委託に基づき、エレベーター改修工事、非常放送設備改修工事を実施する必要がある。	令和4年度に実施した設計委託に基づき、エレベーター改修工事、非常放送設備改修工事を実施する。
163	会計名：一般 款項目：3-3-2 事業名：生活保護に要する経費	社会福祉課			生活に困窮する被保護者世帯に対し、最低限度の生活を保障するため、生活扶助、医療扶助などを支給する。	長引くコロナの影響及び昨今の公共料金及び物価高騰の影響により、令和4年度は生活保護の相談及び開始の件数は増加傾向にある。	2,573,414	2,583,468	2,640,111	2精査・検証	被保護者世帯に対し、最低限度の生活保障するため、適切な扶助費の支給を行う必要がある。	被保護者世帯に対し、最低限度の生活保障するため、適切な扶助費の支給を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
164	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：生活困窮者自立支援金に要する経費	社会福祉課			新型コロナウイルス感染症の影響により困窮する世帯に対して、就労による自立を図り、就労による自立が困難な場合の円滑な生活保護の受給につなげるため、県の社会福祉協議会が実施する緊急小口資金などの貸付を受けた世帯等を対象に、給付金を支給する。	新型コロナウイルスや物価高騰等の影響や国の交付金の状況を踏まえ、給付金の支給などを検討していく。	18,139	14,384	0	4終了・廃止・休止	事業終了のため	事業終了
165	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金に要する経費	社会福祉課			新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円の給付金を支給する。	新型コロナウイルスや物価高騰津の影響や国の交付金の状況を踏まえ、給付金の支給などを検討していく。	916,165	238,747	0	4終了・廃止・休止	事業終了のため	事業終了
166	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：住民税均等割課税世帯に対する給付金に要する経費	社会福祉課			「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の対象となっていない、住民税均等割のみ課税されている生活困窮世帯の生活を支援するため、1世帯あたり3万円の給付金を支給する。	新型コロナウイルスや物価高騰等の影響や国の交付金の状況を踏まえ、給付金の支給などを検討していく。	0	47,001	0	4終了・廃止・休止	事業終了のため	事業終了
167	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金に要する経費	社会福祉課			電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、1世帯あたり10万円の給付金を支給する。	新型コロナウイルスや物価高騰等の影響や国の交付金の状況を踏まえ、給付金の支給などを検討していく。	0	524,929	0	4終了・廃止・休止	事業終了のため	事業終了

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
168	会計名：一般 款項目：3-1-1 事業名：障がい者支援事務に要する経費	障がい福祉課	○		障がい者（児）への支援等を適切に実施するため、生活状況や障害者手帳、障害福祉サービス、自立支援医療等の関連する情報をシステムで管理し、併せて事務の効率化を図る。 また、障がい者施策に関する計画（障がい者計画並びに障がい福祉計画及び障害児福祉計画）を策定する。	令和7年度末までに現行のシステムを標準準拠システムに移行する必要があるが、現行システムのベンダーが令和7年7月末に撤退するため、データ移行やサーバの準備、システムの構築等が必要になる。	13,654	15,106	19,107	1拡大・拡充	データの移行、新たなサーバーの準備、システム構築等に係る費用が必要となるため。	標準準拠システムへの移行に係る契約、データ移行、システムの構築を行う。 障害福祉サービス等の種類ごとに必要なサービス量の見込みを示す「障がい福祉計画・障がい児福祉計画」を策定する。
169	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者の支援に要する経費	障がい福祉課			医療費や交通費の助成、グループホームの家賃補助等、負担の軽減や日常生活の便宜を図ることにより、障がい者（児）の地域生活を支援する。	介護を担う家族の高齢化や親亡き後の生活を考慮して、グループホームの利用が増加している。	213,904	214,618	247,744	1拡大・拡充	高齢化に伴い、グループホームで生活をする障がい者が年々増加しており、それに伴い家賃補助や運営費補助も増加するため。	各種補助金及び助成金を適正に支給する。
170	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：自立支援給付事業に要する経費	障がい福祉課	○		障害者（児）が安心して自立した地域生活を営むことができるように、障がいの程度や生活状況等を踏まえ、障害福祉サービスや自立支援医療等の決定や給付を行う。	障害福祉サービスの利用が増加しており、これに伴い扶助費も増加している。障がいの状況によって、必要なサービスや利用量が異なるため、予算の算定が難しい。	2,171,226	2,484,315	2,587,356	1拡大・拡充	障害福祉サービスは、障がい者（児）が地域で、できるだけ自立した生活を送るためには欠かせないものであるとともに、利用者が増加しているため。	相談支援専門員やサービス事業所等の関係機関と情報共有など連携を強化し、障がい者の状況に応じた適切な支援を行う。
171	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：五市共同知的障害者更生施設に要する経費	障がい福祉課			五市（市川市、松戸市、習志野市、浦安市、鎌ヶ谷市）が共同で設立した障害者支援施設等の運営に係る負担金を支出する。	障害者支援施設やグループホーム等、五市共同施設の安定的運営を行う必要がある。	32,182	32,182	32,183	1拡大・拡充	当該法人は、市内で唯一の入所施設を運営しており、施設の運営が継続できるよう、運営費や今後必要となる大規模修繕等の経費の負担について協議を進める必要があるため。	新型コロナウイルス感染症や物価高騰などが経営に影響を与えていることから、安定した運営が継続できるよう、五市負担金（法人運営経費）のあり方について、五市課長会議等で協議を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
172	会計名：一般 款項目：3-1-3 事業名：福祉作業所の管理運営に要する経費	障がい福祉課			鎌ヶ谷市社会福祉協議会に指定管理により運営を委託し、利用者に障害福祉サービス（生活介護・就労継続支援B型）を提供する。	利用者及び介護を担っている家族の高齢化。	633	260	687	2精査・検証	障がい者の社会的自立を支援するため、継続して障害福祉サービスを提供する必要があるため。	利用者が安全に安心して利用できるよう、指定管理者である社会福祉協議会と情報共有及び連携の強化を図る。
173	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者介護給付費等審査会に要する経費	障がい福祉課			障害福祉サービスを利用するために必要となる「障害支援区分」を、月1～2回行う審査会で審査する。	障害福祉サービスの利用者の増加に伴い、審査件数が増加傾向にある。	2,167	2,136	2,236	2精査・検証	障害福祉サービスを利用するために必要な手続きであり、継続して実施する必要があるため。	審査会資料を1週間前に送付し、委員に事前に見てもらうことで、当日の運営を効率的に行う。
174	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい支援区分認定調査に要する経費	障がい福祉課			障害支援区分の審査に必要な認定調査を行う。	障害福祉サービスの利用者の増加に伴い、認定調査の対象者も増加傾向にある。	719	921	938	2精査・検証	障害福祉サービスを利用するために必要な調査であり、継続して実施する必要があるため。	認定調査を行うにあたっては、研修の受講が必要となるため、未受講の職員に受講してもらうとともに、すでに受講した職員も、引き続き適正な調査が行えるよう、スキルアップに努める。
175	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：地域生活支援事業に要する経費	障がい福祉課	○		障害者（児）が安心して自立した地域生活を営むことができるように、地域の特性や利用者の状況等に応じたサービスや給付を行う。	障がいの程度や状況等により、ニーズが多様化している。	102,706	106,364	125,699	2精査・検証	地域生活支援事業は、地域で生活する障がい者のニーズを踏まえ、地域の実情に応じた柔軟な事業形態での実施が可能であり、継続して実施する必要があるため。	ニーズの多様化に対応するため、既存のサービスの見直しや新たなサービスの検討を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
176	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：小規模作業所等の支援に要する経費	障がい福祉課			創作活動や生産活動の機会や社会との交流の場等を提供する団体に対して補助金を交付する。	利用者数は、ほぼ横ばいであるが、障がい者の地域や社会との交流の場を確保するため、運営を支援する必要があるため。	13,216	12,872	14,420	2精査・検証	障害福祉サービスの利用が難しい障がい者等が日中を過ごしたり、他者と交流したりする場として必要な施設であり、引き続き運営に対し支援が必要なため。	引き続き補助金を交付するとともに、地域生活支援センターに関する情報を提供し、利用の拡大を図る。
177	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者の手当の支給に要する経費	障がい福祉課			障がい者（児）に対して、国の手当や市の手当の支給を行う。	支給対象者が多く、異動もあることから、正確な事務処理が求められる。	127,105	122,536	137,091	2精査・検証	法令に基づく手当であり、継続して支給を行う必要があるため。	正確かつ効率的な事務処理が求められるため、適宜事務の見直しを行う。
178	会計名：一般 款項目：3-1-5 事業名：身体障がい者福祉センターの運営に要する経費	障がい福祉課			身体障がい者の創作活動及び教養の向上に関すること、また、身体障がい者の社会との交流の促進に関することを実施する。	受講者の高齢化によるADLの低下がみられることが多くなり、参加者の減少に繋がっている。引き続き若年障がい者の参加を促す環境を整えていく必要がある。	6,659	8,000	8,611	2精査・検証	新型コロナウイルス感染症の感染状況に留意しつつ対面方式での講座を継続した。また、若年受講者を増やすため、新たにポッチャ体験講座を実施し、過去に人気のあったゲーム講座を復活させた。少しずつ新たな受講者の獲得に繋がっている。	新規受講者の確保策として通常行っている講座の他に特別講座を実施し、レクポッチャ、紙バンド工作、音楽会等を企画する。また、人気のあるヨガ講座やゲーム講座の回数を増やす。
179	会計名：一般 款項目：3-1-4 事業名：障がい者福祉施設等の助成に要する経費	障がい福祉課			施設整備補助事業の支援のため、償還金の一部を助成する。	対象は2件のみとなっている。	1,358	10,192	1,035	3縮小・統合	対象の2件の内、1件については5年度で償還が終了するため。	借入金の返済状況等を正確に把握し、適切な助成を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
180	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：児童総務事務に要する経費	こども支援課	○		子ども・子育て会議において、子ども子育て支援事業計画の進捗状況や子ども・子育て施策等を審議する。	計画に掲げた施策展開について、点検、評価、改善策など検討を行い、次年度以降の事業実施に取り組んでいく必要がある。	15,526	90,895	13,134	1拡大・拡充	計画に掲げた施策展開について、点検、評価、改善策などを検討していくため。	令和5年度は、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針を決定し、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に伴うニーズ調査の実施を予定している。
181	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：家庭児童相談に要する経費	こども支援課	○		子どもや家庭に関する相談。児童虐待予防、早期発見対応。支援対象児童への対応。鎌ヶ谷市虐待防止対策等地域協議会の運営を行う。	児童虐待への迅速な対応が求められていることから、職員の専門知識や対応技術の向上を図るとともに、関係機関と情報共有等の連携を行いながら、児童虐待等への対応を行う必要がある。	18,552	17,299	13,794	1拡大・拡充	前年度と比べ相談対応件数微減しているが、ほぼ横ばいの状態である。児童虐待相談対応においては、継続的な対応が必要であり、職員の専門的知識、対応技術の向上が必要である。関係機関との連携においては、新型コロナウイルスにより近年実施をしていなかった鎌ヶ谷市児童虐待防止対策等地域協議会代表者会議、児童虐待防止研修の実施した。	前年度まで家庭児童相談員としてパートタイム会計年度任用職員2名雇用していたが、今年度よりフルタイム会計年度任用職員にし、体制強化を実施する。 家庭児童相談システムが令和6年10月末で長期契約が満了となり、更新が必要となる。
182	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：つどいの広場の運営に要する経費	こども支援課	○		つどいの広場を開設しおおむね3歳未満の乳幼児とその保護者が気軽につどい相互交流する場を提供する。	少子化や核家族化、地域社会の変化など子育てをめぐり環境が変化している。子育て中の親の孤立感や不安・負担感が大きくなっている。	10,447	10,049	13,112	1拡大・拡充	事業の質の向上を図るため利用者のニーズに合わせた事業展開を検討する。	アドバイザーの資質の向上及び相談事業の充実を図るためアドバイザーを対象に研修を実施する。 また利用者のニーズに沿った事業展開を実施するためアンケート調査を行う。
183	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子ども医療費助成に要する経費	こども支援課			保護者が負担する子どもの医療に要する費用について、当該費用の全部又は一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図る。	令和5年8月診療分からは、高校生等まで年齢を拡大のうえ通院等に係る医療費を助成対象としていくが、所得制限撤廃分及び小学校4年生から高校生等までに係る医療費等については市単独事業として助成している。	289,331	301,129	364,233	1拡大・拡充	令和5年8月診療分より、助成対象者を高校生等まで拡大し、保護者の経済的負担の軽減を図る必要があるため。	令和5年8月診療分より、助成対象者を高校生等まで拡大するとともに、同一月に同一の医療機関を受診する場合、入院10日、通院5回を超えた以降の受診は無料となる月額上限制度の導入を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
184	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：利用者支援事業に要する経費	こども支援課			子育て家庭が保育園や子育て支援事業を、円滑に利用できるように支援するとともに、関係機関と連携し、地域の子育て支援の育成を行う。	サービスの向上及び相談業務の充実を図るとともに利用者のニーズを把握する必要がある。	3,915	3,087	4,073	1拡大・拡充	事業の質の向上を図るため、利用者のニーズに合わせた事業展開を検討していく必要があるため。	子育て支援コーディネーターの資質の向上及び子育て世代が求めている情報やニーズを把握し、相談業務の充実を図る。
185	会計名：一般 款項目：3-2-2 事業名：児童手当に要する経費	こども支援課			中学校終了までの児童を養育している保護者に対し、家庭等における生活の安定と児童の健やかな成長のため、児童手当を支給するもの。	児童手当法等が令和4年6月1日に改正され、現況届の届出義務の原則廃止や特例給付の所得制限上限額の設定の制度改正が行われたことから、引き続き受給者へ周知を行う必要がある。	1,523,207	1,471,185	1,582,773	1拡大・拡充	国の制度改正に伴い受給者へ周知するとともに、事務の効率化と適正化を図る必要があるため。	児童手当の制度改正について、広報、ホームページで周知するほか、妊娠時にチラシにより案内していく。 また、国では「異次元の少子化対策」の柱として児童手当を中心とした経済的支援を強化について検討していることから、国の動向を注視していく。
186	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：児童遊園等の管理に要する経費	こども支援課	○		市内16箇所の児童遊園について、適切な管理を行い児童に健全な遊びを与える。	遊具、フェンスなどの老朽化が進んでおり、安全を確保するため、適正に管理する必要がある。	5,556	6,046	5,988	1拡大・拡充	児童遊園を適正に管理するとともに、楽しく利用しやすい児童遊園とする必要があるため。	専門業者による遊具の一斉点検の結果に基づき、改修が必要と判定された遊具について、計画的に改修を実施する。 また、草刈り等を依頼している自治会から、高齢化により草刈りができないとの意見が寄せられていることから、ダスト舗装の工事など検討していく。
187	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：児童センターの管理運営に要する経費	こども支援課	○		児童への健全な遊びを通してその体力を増進し、情操を豊かにする。	都市化の影響などで子どもたちが安全に遊べる空間が減ってきている。	41,319	42,777	52,557	1拡大・拡充	児童や保護者のニーズを把握し子育て支援事業の充実を図る。	子どもたちにとって心地よい居場所になるよう家庭・学校・地域と連携をとりながら子どもの育成に適した遊びを提供する。 また、コロナの影響により減少していた子育てサポーターの活動回数については、目標値に届くよう回数を増加する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
188	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：放課後児童クラブ整備・改修 事業	こども支 援課	○	○	「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、放課後児童クラブの施設整備・改修を行う。	利用児童数の状況をふまえ、クラブ室の環境整備、児童の安全性及び利便性を図る必要がある。	6,345	2,684	15,820	1拡大・拡充	利用児童数をふまえ、クラブ室の環境整備、児童の安全性及び利便性の向上を図る必要がある。	令和5年度に東部小学校放課後児童クラブの改修工事の実施を予定しており、残りのクラブの改修工事を計画的に実施していく。
189	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：児童遊園改修事業	こども支 援課	○	○	児童遊園の安全で安心な環境を確保するために、老朽化した遊具・設備の更新など改修を行う。	各園で老朽化が進んでおり、計画的に改修を進める必要がある。	0	14,936	0	1拡大・拡充	令和5年度は、児童遊園の改修工事の予定はないが、児童遊園の利用状況や老朽化の状況により、優先順位をつけるなど改修計画を策定する。	令和5年度は、児童遊園の改修工事の予定はないが、児童遊園の利用状況や老朽化の状況により、優先順位をつけるなど改修計画を策定する。
190	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費	こども支 援課	○		様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行い、子育て支援を実施する。	保育のニーズが高まる中、市民ニーズは多様化しており、より低年齢の子どもの対応について要望がある。	3,775	3,812	4,361	2精査・検証	令和4年度においては、ひとり親世帯利用料助成について、新たに生活保護世帯を含めた児童扶養手当と同水準の収入の世帯に対して、助成ができるように要綱改正を実施した。また令和5年4月から、より幅広い年齢層の方に利用ができるように、利用年齢の引き下げの要綱改正を実施した。	依頼会員は増えているが、提供会員数は横ばいとなっていることから、今年度、提供会員募集のポスターを作成し、広く周知を行う。また利用件数が減少していることから、制度の周知を行う。
191	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て支援センターの運営に 要する経費	こども支 援課			子育てに関する情報提供を行うとともに相談を通して子育ての不安軽減を図る。 子育て及び子育て支援に関する講習を行う。	サービスの向上及び相談事業の充実を図るとともに利用者のニーズを把握する必要がある。	10,956	12,756	15,848	2精査・検証	事業の質の向上を図るため利用者のニーズに合わせた事業展開を検討する。	アドバイザーの資質の向上及び相談事業の充実を図るためアドバイザーを対象に研修を実施する。また利用者のニーズに沿った事業展開を実施するためアンケート調査を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
192	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：未熟児等養育医療に要する経費	こども支援課			身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に係る医療費を一部助成する。	市民への周知を行うとともに、対象家庭を支援するため、健康増進課などの関係機関と連携を図る必要がある。	7,223	8,194	7,703	2精査・検証	対象家庭を支援し、制度の周知を図る必要があるため。	対象家庭を支援するため、窓口での受付方法及び周知方法を再度確認のうえ、チラシ等の見直しを行い、窓口業務の改善を図る。
193	会計名：一般 款項目：3-2-3 事業名：母子等福祉に要する経費	こども支援課	○		ひとり親家庭等の父母等及び児童に対し、医療費及び調剤費の一部を助成するもの。	令和2年11月診療分から現物給付化を実施したことに伴い、利便性が向上した。引き続き、適正かつ円滑な事務を遂行していく必要がある。	66,299	66,693	85,033	2精査・検証	現物給付化が実施され、受給者の利便性が向上したことから、助成額も増加している。引き続き市民への周知を行い、適正に事務を遂行していく必要がある。	引き続き、適正な助成事務を遂行するため、制度案内チラシの見直しを行い、市民へ制度の周知を図る。
194	会計名：一般 款項目：3-2-3 事業名：児童扶養手当に要する経費	こども支援課			18歳未満の児童を養育しているひとり親家庭の生活の安定と自立を助、児童の福祉の増進を図るため、児童扶養手当を支給するもの。	申請書類等が複雑で、家庭の事情などを踏まえたきめ細やかな対応を行い、適正に事務を遂行していく必要がある。	305,795	299,277	327,521	2精査・検証	ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進及び福祉の増進を図ることであり、今後も適正な事務の遂行と制度の周知に努める必要があるため。	申請書類等が複雑で、家庭の事業などを踏まえたきめ細かな対応が求められることから、引き続き、適正な事務処理に努めるとともに、こども総合相談室と連携を行い事務を遂行する。
195	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：放課後児童クラブの管理運営に要する経費	こども支援課	○		小学校で放課後児童クラブを管理運営し、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図る。	放課後児童クラブの安定的な運営を継続するため、運営業者とも連携し、質・サービスの向上を図る必要がある。 また、利用児童数の状況を踏まえ、今後の整備などを検討していく必要がある。	237,313	240,689	270,533	2精査・検証	放課後児童クラブの安定的な運営を継続するため、運営業者とも連携し、質・サービスの向上を図る必要がある。 また、利用児童数の状況を踏まえ、今後の整備などを検討していく必要がある。	運営委託となっている放課後児童クラブについて、定期的にクラブの運営状況を確認するとともに、年に数回、全クラブの主任支援員を集め、運営方法について協議を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
196	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：こども発達センターの管理運営に要する経費	こども支援課			心身の発達に心配のある児童に対し、個々の状況に合わせて、発達に沿った様々な支援を行う。	関係機関や市民に対し、障がいについての理解が深められるように情報提供、支援強化を行い、障がい理解の普及、啓発を図る。	47,263	46,446	52,029	2 精査・検証	障がい児や発達に不安がある児童へのきめ細やかな発達支援、家族支援、地域支援の療育支援体制を図る。	他機関との連携を密に行い、ライフステージに応じた適切な支援が確保できるように支援体制の構築をしていく。
197	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：伴走型相談支援・出産子育て応援給付金に要する経費	こども支援課			国において、妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援と経済的な支援を一体として実施する事業が創設され、経済的支援である出産・子育て応援給付金を妊娠届出時に妊婦1人に5万円、出生届出後に児童1人に5万円を支給する。	健康増進課と連携を図りながら、制度の周知を図るとともに、適正に事務を遂行し、支給していく必要がある。	0	48,400	0	2 精査・検証	出生数を精査したうえで、適正に支給していく必要があるため。	給付金については、令和5年9月末までの支給分であるため、10月以降分については9月補正で要求するとともに、引き続き、適正な支給を実施する。
198	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て世帯への応援特別給付金に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなかで、食費等の物価高騰等に直面する子育て世帯の生活の支援を行うとともに、子どもの健やかな成長を応援するため、市独自の事業として、子育て世帯に対して、児童一人あたり1万円の給付金を支給するものである。	申請期限を令和5年6月30日としているため、申請状況を確認し、適正な事務を遂行していく必要がある。	0	134,630	0	3 縮小・統合	引き続き、適正に事務を遂行していく必要がある。	適正に事務を遂行していく。
199	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：あふれるえがお出産給付金に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症の流行が続くなか、感染症等の不安を抱えながら、過ごした妊婦の方、その家庭や児童の健やかな成長を支援するため、令和4年4月2日から令和5年4月1日に生まれた新生児の保護者に対して、出産給付金5万円を給付するもの。	申請期限を令和5年6月30日としているため、申請状況を確認し、適正な事務を遂行していく必要がある。	33,343	33,607	0	3 縮小・統合	引き続き、適正に事務を遂行していく必要がある。	未申請者に改めて個別通知をするともに、申請者に対して迅速かつ適正に支給を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
200	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て世帯生活支援特別給付金（その他子育て世帯分）に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対して、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。	国の事業であり、対象者に対し周知をするとともに適正に支給する必要がある。	38,493	40,359	0	3縮小・統合	令和3年度から毎年度実施しているが、事業としては単年度事業として完了している。	令和5年度についても補正予算において予算計上のうえ実施するため、対象者への周知をするとともに、適正に支給を行っていく。
201	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：高校生等医療費助成に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、子育て世帯の生活の支援を行うため、子ども医療費助成の対象とならない高校生を対象として、医療費の一部を助成するもの。	令和3年10月1日から令和4年2月28日の間に診療を受けた医療費を対象として期間限定で実施したが、4年度より継続的に実施することとした。対象者に対して周知を図り、対象者に利用していただいているが、引き続き周知する必要がある。	12,594	19,265	13,500	3縮小・統合	市民から関心の高い制度であることから制度の維持を図りつつ、対象者に制度内容を周知していく。令和5年8月診療分からは、子ども医療費助成制度に統合するが、令和5年7月分までの医療費助成については、高校生等医療費助成制度に基づき助成していく必要がある。	市の財源的な負担の軽減を図るため、市単独補助分について、助成基準の見直しを県等に対し要望する。子ども医療費助成制度への移行について周知するため、広報、ホームページ及び個別通知により案内していく。
202	会計名：一般 款項目：3-2-3 事業名：子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、ひとり親世帯に対して、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。	国の事業であり、対象者に対し周知をするとともに適正に支給する必要がある。	53,234	49,368	0	3縮小・統合	令和3年度から毎年度実施しているが、事業としては単年度事業として完了している。	令和5年度についても補正予算において予算計上のうえ実施するため、対象者への周知をするとともに、適正に支給を行っていく。
203	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て世帯への臨時特別給付金に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、令和3年9月分の児童手当（本則給付）の受給者（令和4年3月31日までに生まれた新規児童手当受給者含む）及び高校生等を養育する保護者に対し、対象児童1人につき10万円の給付金を支給するもの。	令和4年度で事業が終了するため無し。	1,468,795	5,539	0	4終了・廃止・休止	令和4年度で事業が終了するため	令和4年度で事業が終了するため無し。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
204	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：子育て世帯への臨時特別給付金（市独自事業）に要する経費	こども支援課			新型コロナウイルス感染症が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、子育て世帯の生活を支援するとともに、すべての子どもに対して、給付金を支給するため、国の「子育て世帯への臨時特別給付金」の対象とならない子育て世帯に対して、児童1人につき10万円の給付金を支給するもの。	令和4年度で事業が終了するため無し。	153,269	5,223	0	4終了・廃止・休止	令和4年度で事業が終了するため	令和4年度で事業が終了するため無し。
205	会計名：一般 款項目：3-2-5 事業名：（仮称）東部地区児童センター設置事業	こども支援課	○	○	児童センターが未整備となっている東部地区に、（仮称）東部地区児童センターを整備する。	令和5年度中の開設に向けて、関係機関と調整を行い、計画的に工事を実施する必要がある。	143,774	57,368	453,277	4終了・廃止・休止	（仮称）東部地区児童センター建設工事は、令和6年1月末までに完了し、令和6年3月に開館を予定していることから、この事業は終了となる。	建築工事を計画的に進めるとともに、児童センターの運営に必要な人員を確保の他、備品や消耗品を購入する。
206	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：民間保育所等の補助に要する経費	幼児保育課	○		民間保育所等の運営に対して補助を行う。	保育需要が増加するなか、保育の質を確保しながら、受入れ数を確保することにより、待機児童対策を図る必要がある。	317,648	356,803	430,404	1拡大・拡充	国の補正予算に柔軟に対応することにより、新型コロナウイルス対策等補助を実施した。今後、国・県補助基準額の改正及び保育事業者からの事業拡充の要望により増額が想定されるため。	継続的に補助金を交付するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、緊急的に食材費及び光熱水費の物価高騰に対応した補助を実施する。
207	会計名：一般 款項目：3-2-4 事業名：保育園総務事務に要する経費	幼児保育課			保育園の運営に係る事務について、システムの運用により適正、迅速な事務を行う。	保育園運営に係るシステムを改良することにより、より効率の高い事務執行ができる体制を構築する。	3,413	3,742	2,820	1拡大・拡充	より効率的な保育園運営に向けて、システム改良のため、検証を行う必要があるため。	幼児教育・保育の無償化に伴う各システムの改良等について、運用実績に基づき、必要な改善箇所等がないか検証する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
208	会計名：一般 款項目：3-2-4 事業名：市立保育園の管理運営に要する経費	幼児保育課			市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営を行う。	保育士を安定的に確保することにより、保育の質の維持・向上を図る必要がある。	365,023	421,208	384,482	1拡大・拡充	発達障がい等のある児童、医療的ケアが必要な児の受け入れに伴い、加配保育士等の配置が必要な状況であるが、保育士確保が非常に困難な状況にあり、受け入れ人数を抑制せざるを得ない人員体制となっており、保育士を安定的に確保することにより、保育の質の維持・向上を図る必要があるため。また、施設の老朽化に伴う修繕等の対応が必要なため。	会計年度任用職員に加えて保育士派遣委託も組み合わせることにより、必要な保育士を確保することで、6年度当初における人員体制を構築できるよう対応を図る。
209	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：児童総務事務に要する経費	幼児保育課	○		保育認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。	複雑な制度について分かりやすい周知に努め、必要な方に適正な助成等（認可外・一時預かり事業等利用費、特定保育・保育施設等実費徴収助成金、保育手当）を実施し、待機児童対策に資する取り組みを継続する。	36,116	32,142	12,605	2精査・検証	子ども・子育て支援新制度及び幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、必要な補助・助成を実施しているが、今後効率的な事務の執行が必要であるため。	適正な給付事務を継続するとともに、前年度実績に基づき事務内容、予算等を精査して事業執行の精度を向上させる。
210	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：私立幼稚園等に要する経費	幼児保育課	○		幼児教育・保育の無償化に伴い、施設等利用給付認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。	保育需要が増大するなか、幼稚園の積極的な利用を働きかけ、待機児童対策を図る必要がある。	503,233	467,917	491,331	2精査・検証	令和元年度より幼児教育・保育無償化が実施され、必要な補助・助成を実施しているが、今後効率的な事務の執行が必要であるため。	継続的に補助金を交付するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、緊急的に食材費及び光熱水費の物価高騰に対応した補助を実施する。
211	会計名：一般 款項目：3-2-1 事業名：病児保育に要する経費	幼児保育課			病児・病後児に対して、集団保育で受け入れられない児童を病院内にて保育する。	病児保育・病後児保育を実施し、子育て支援の充実を図る必要がある。	8,616	7,424	9,503	2精査・検証	市内では病後児保育のみ実施しており、病児保育を実施していない為、病児保育の実施について検討する必要があるため。	市内施設での病児保育事業の新規実施について事業者と引き続き協議する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
212	会計名：一般 款項目：3-2-2 事業名：施設型給付に要する経費	幼児保育課			公立保育園以外の保育所・認定こども園に入園している児童の給付費を支払う。	保育需要が増加するなか、積極的な入所を働きかけ、待機児童対策を図る必要がある。	911,982	1,027,074	1,125,383	2精査・検証	今後も保育需要に対応する必要があるとともに、令和4年4月に開所した認定こども園の給付費について、引き続き検証をしていく必要があるため。	令和4年4月に開所した認定こども園に伴う決算額等について検証し、的確な予算要求を行う。
213	会計名：一般 款項目：3-2-2 事業名：地域型保育給付に要する経費	幼児保育課			小規模保育事業施設等に入園している児童の給付費を支払う。	保育需要が増加するなか、積極的な入所を働きかけ、待機児童対策を図る必要がある。	406,405	426,828	485,505	2精査・検証	小規模保育事業の利用率の増加に伴い、多様化する保育需要に対応していく必要があるため。	利用率の上昇に基づき、的確な予算要求を行う。
214	会計名：一般 款項目：3-2-4 事業名：中高齢者交流保育事業に要する経費	幼児保育課			各公立保育園に保育士を補助する職員として、人生経験豊かな中高齢者1名を配置する。	中高齢者の園内における活用方法について、更なる検討を行う必要がある。	1,481	1,606	1,957	2精査・検証	中高齢者の知識や経験を保育園の運営に活用する方法について、さらなる検証を行う必要がある。	引き続き園や園児への効果を検証する。
215	会計名：一般 款項目：3-1-3 事業名：社会福祉センターの管理運営に要する経費	高齢者支援課			市民相互の交流の増大及び地域の連帯の強化を図ることにより、市民福祉の増進に資することを目的として、社会福祉センターの管理運営を指定管理者制度により推進するもの。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から令和4年度まで、利用者が大幅に減少した。	23,626	22,044	21,921	1拡大・拡充	昨年度実施した利用者アンケートの意見を踏まえ、経年劣化している施設の設備を更新していくため。	社会福祉センターの利用制限を解除し、利用者の増加を図る。また、利用者へのアンケートを実施し、サービスの向上に繋げていく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
216	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：四市複合事務組合負担金に要する経費	高齢者支援課			船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市の四市で構成する事務組合（四市複合事務組合）が管理する特別養護老人ホーム三山園の運営に対する負担金を交付するもの。	本施設は建設から50年が経過しており、今後の施設のあり方について、検討していく必要がある。	27,933	20,892	29,493	1拡大・拡充	施設の事業運営や収支の状況について、精査・検証していく。	施設のあり方について、学識経験者等を委員とする検討会から提出された答申書を踏まえ、四市複合事務組合の中で引き続き議論を進めていく。
217	会計名：介護 款項目：1-1-1 事業名：介護保険事務に要する経費	高齢者支援課			介護保険の事務処理全般にかかる事業経費。	介護保険システム関連経費が大部分を占めており、法改正等の都度改修費用がかかる。また、介護保険システムの標準化に対応するための経費が必要となってくる。	51,940	44,254	80,772	1拡大・拡充	介護保険に係る事務処理全般の管理を行っており、事務を適正に進めていく上で検証を要する。介護保険システムの標準化については、対応するための経費が必要となってくる。	事務経費及びシステム関連経費の削減。介護保険システムの標準化に向けた検討。
218	会計名：介護 款項目：1-3-1 事業名：介護認定審査会に要する経費	高齢者支援課			介護認定審査会の開催経費。	高齢化に伴い審査会数が増加している。	18,821	18,413	31,729	1拡大・拡充	公平で効率的な審査が出来るよう絶えず検証しているが、審査件数が増加しているため、抜本的にシステムを見直す必要がある。	効率的な審査を検討する。
219	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者在宅福祉に要する経費	高齢者支援課	○		在宅の高齢者や介護者の負担を軽減するため、補聴器の購入、紙おむつの給付、緊急通報システムの設置、寝具乾燥等サービス、住宅改修費の助成等を実施するもの。	介護が必要になっても、引き続き在宅での生活が継続できるよう、制度の周知を図る必要がある。	23,655	24,152	32,184	2精査・検証	在宅福祉に関するニーズと展開する各種サービスの現状を精査・検証していく。	各種サービスの利便性向上を図るとともに、ホームページやパンフレット等で制度の周知を行い、利用者の拡大を図っていく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
220	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者生きがい対策に要する経費	高齢者支援課		○	高齢者の健康増進や交流の場づくりの推進を図るため、敬老事業、老人憩の家設置、老人クラブの支援、はり・きゅう・マッサージ等費用助成を実施するもの。	高齢化の進展に伴い、敬老事業の対象者（75歳以上）が年々増加している。また老人クラブでは、会員の高齢化により、役員の成り手が不足し、クラブ数が減少している。	30,822	32,204	37,830	2精査・検証	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って社会参加できるよう、効果的な事業の展開方法や補助金額等について、精査検証していく。	引き続き制度の見直しを図りながら、各種事業を実施し、高齢者相互の交流や生きがい対策を推進する。
221	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護事業者の助成に要する経費	高齢者支援課			令和4年度は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の中に創設された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、市内の介護事業所等に対して、支援金を交付した。	例年は介護施設等の新設に対する助成又は社会福祉法人の利用料減免に対する助成であり、高齢化による要介護認定者・サービス受給者の増加に伴い、低所得者に対する利用料の減免も増加が予想される。	4,180	48,800	7,552	2精査・検証	対象事業者の把握について検証を要する。	制度に基づき、継続して実施する。
222	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者の施設措置に要する経費	高齢者支援課			養護老人ホームへの入所措置費。	高齢化に伴い対象者が増加傾向にある。	21,120	23,125	27,649	2精査・検証	対象者の状態や緊急性の判断に基づき、他の介護サービスを利用する等の対応ができないかを精査する必要がある。	介護保険制度など他事業の活用を絶えず検証する。
223	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：老人福祉施設の助成に要する経費	高齢者支援課			施設整備に必要な費用で、福祉医療機構から借り入れた資金及び元金について、補助を行うもの。	本助成は、補助対象法人の安定的な運営に必要な不可欠であり、今後も償還計画に基づき、補助していく必要がある。	2,203	2,159	2,116	2精査・検証	毎年度の事業計画や実績報告を踏まえ、法人の運営状況等を把握していく。	安定的な法人の運営を目指し、補助額を精査し、交付していく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
224	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：福祉有償運送の事務に要する経費	高齢者支援課		○	営利を目的としない法人（NPO法人等）により行われるボランティア輸送で、公共交通機関の利用が困難な者を対象に行う福祉有償運送事業について、その実施事業者の運営状況等を審議するもの。	鎌ヶ谷市を区域とする運営している福祉有償運送事業者は2社あるが、構成員の高齢化等が課題となっている。	34	0	96	2精査・検証	利用する会員は少ないものの、外出の支援を望む意見もあることから、引き続き事業が継続できるよう、協議体制を整えていく。	新規で事業を実施する団体の登録を目指し、相談や制度の周知を図っていく。
225	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護サービス利用者負担対策事業に要する経費	高齢者支援課			障害ホームヘルパーサービスの利用において定率負担額が0円となっている者が介護保険の適用を受けることとなった場合には、利用者負担を全額免除する。	対象者は限定されるが、高齢化に伴い増加が見込まれる。	0	0	2	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	引き続き低所得者の負担軽減を図り、適切な介護サービスを利用できるようにする。
226	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：シルバー人材センターに要する経費	高齢者支援課			高齢者の社会参加を促進するため、シルバー人材センターへ補助金を支出し、就労しやすい環境づくりを推進するもの。	雇用年齢の延長や高齢者の意識の変化により、シルバー人材センターの会員の平均年齢が上昇している。	16,110	16,110	16,110	2精査・検証	昨年度の実績や活動状況を踏まえ、補助額を精査検証していく。	高齢者の就労支援として、今後も就労の多様化に向け、職種の開拓や新たな就労形態への働きかけを行うなど、シルバー人材センターの活動を支援していく。
227	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護人材確保対策事業に要する経費	高齢者支援課		○	介護サービスに従事する人材の確保、介護サービスの安定的な供給を図るため、特定の研修修了者に対して、資格取得に係った費用の一部を補助する。	千葉県介護人材確保対策事業費補助金の対象であり、県から3/4補助を受けることができる。	604	527	875	2精査・検証	積極的に補助金を活用して研修を受講することが望ましいため、各施設への周知方法について検証が必要である。	介護サービスに従事する人材の確保、介護サービスの安定的な供給を図るため積極的に周知を図っていく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
228	会計名：介護 款項目：1-2-1 事業名：介護保険料賦課徴収に要する経費	高齢者支援課	○		介護保険電算システムにより介護保険料の賦課・徴収等の処理を行い、出力された帳票をもとに各種事務を行う。	高齢化による被保険者の増加に伴い、介護費用も増加している。安定的な財源確保のため、介護保険料も引き上げとなっているが、それによる収納率の低下や滞納保険料額の増加等の悪循環もみられる。	11,408	18,776	14,648	2精査・検証	介護保険の安定的な財源確保のための事業であり、保険料の賦課徴収に関しては、介護保険法に基づき適正に実施するため、検証を要する。	介護保険料の収納相談の充実、電子マネー収納等の導入及びコンビニ収納の更なる周知により、収納率の向上を図る。
229	会計名：介護 款項目：1-3-2 事業名：介護認定調査等に要する経費	高齢者支援課			介護認定審査会に提出する書類（医師の意見書、調査資料）の作成費。	高齢化に伴い作成件数が増加している。	23,322	28,983	63,352	2精査・検証	最少の経費で調査資料が作成できるよう絶えず検証している。	最少の経費で調査資料が効率的に作成できるよう検討する。
230	会計名：介護 款項目：2-1-1 事業名：介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課	○		要介護認定者が介護サービスを利用した費用の保険給付分。	高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	6,577,843	6,845,596	7,438,476	2精査・検証	介護サービスの提供により、要介護状態の維持、改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう検証を要する。	高齢者の住まいを整備する住宅改修をはじめとした介護給付は介護保険法に基づき継続して実施する。また、給付費の適正化事業にも努めていく。
231	会計名：介護 款項目：2-1-2 事業名：特例介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。	過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	40	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
232	会計名：介護 款項目：2-1-3 事業名：地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			鎌ヶ谷市在住の要介護認定者が市が指定した事業所の介護サービスを利用した費用の保険給付分。	高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	603,615	630,402	787,499	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。
233	会計名：介護 款項目：2-1-4 事業名：特別地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			認定の効力が生じる日よりも前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。	過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	10	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
234	会計名：介護 款項目：2-2-1 事業名：介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			要支援認定者が介護予防サービスを利用した費用の保険給付分。	高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	133,172	131,693	169,033	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。
235	会計名：介護 款項目：2-2-2 事業名：特別介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			認定の効力が生じる日よりも前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。	過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	20	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
236	会計名：介護 款項目：2-2-3 事業名：地域密着型介護予防サービス 給付費に要する経費	高齢者支 援課			鎌ヶ谷市在住の要支援認定者が市が指定した事業 所の予防サービスを利用した費用の保険給付分。	高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増 加に伴い給付費の増加が見込まれる。	2,953	3,018	3,659	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付 費適正化に努める。
237	会計名：介護 款項目：2-2-4 事業名：特別地域密着型介護予防サー ビス給付費に要する経費	高齢者支 援課			認定の効力が生じる日よりも前に、緊急その他や むを得ない理由によりサービスを受けた場合等に おいて、サービス給付費を償還払いする。	今まで実績はないが、高齢化による要支援認定 者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能 性はある。	0	0	1	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
238	会計名：介護 款項目：2-3-1 事業名：審査支払手数料に要する経費	高齢者支 援課			介護サービス等提供事業者からの給付費請求に係 る審査支払事務を国民健康保険団体連合会に委託 しているため、その手数料経費。	高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増 加に伴い、審査支払手数料も増加するものと思わ れる。	7,239	7,658	8,259	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
239	会計名：介護 款項目：2-4-1 事業名：高額介護サービス費に要する 経費	高齢者支 援課			被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用 した月の利用者負担額が上限額を超えた場合支 給する。	高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増 加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれ る。	201,215	200,776	228,068	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
240	会計名：介護 款項目：2-4-2 事業名：高額介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課			被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用した月の利用者負担額が上限額を超えた場合支給する。	高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれる。	946	218	435	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
241	会計名：介護 款項目：2-5-1 事業名：高額医療合算介護サービス費に要する経費	高齢者支援課			医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた分を支給する。	高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	24,242	28,449	31,877	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
242	会計名：介護 款項目：2-5-2 事業名：高額医療合算介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課			医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた場合支給する。	高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	302	0	1	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
243	会計名：介護 款項目：2-6-1 事業名：市特別給付費に要する経費	高齢者支援課			第1号被保険者の保険料を財源として要介護者や要支援者に対し、法律で定められている保険給付以外の鎌ヶ谷市独自の給付サービス。	高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、当事業の利用者も増えていくことが見込まれる。	2,603	3,062	4,844	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	要望が多かった保険給付外サービスとして引き続き事業を実施し、利用者の日常生活を支援していく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
244	会計名：介護 款項目：2-7-1 事業名：特定入所者介護サービス費に 要する経費	高齢者支 援課			負担限度額認定を受けた要介護被保険者が介護保 険施設へ入所等サービスを利用した際の食費・居 住費（滞在費）について、基準額と自己負担の限 度額との差額を、国民健康保険団体連合会を通じ て事業者に支払う。	高齢者の増加に伴い、要介護認定者、介護サー ビス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象 者数も増加すると思われる。	216,292	187,389	211,542	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
245	会計名：介護 款項目：2-7-2 事業名：特別特定入所者介護サービス 費に要する経費	高齢者支 援課			低所得の要介護被保険者が認定の効力の生じる日 より前に、緊急その他やむを得ない理由により、 介護保険施設への入所等サービスを利用した際の 食費・居住費（滞在費）について、償還払いで支 給する。	今まで実績はないが、高齢化による要介護認定 者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能 性はある。	0	0	20	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
246	会計名：介護 款項目：2-7-3 事業名：特定入所者介護予防サー ビス費に要する経費	高齢者支 援課			負担限度額認定を受けた要支援被保険者が短期入 所サービスを利用した際の食費・居住費（滞在 費）について、基準額と自己負担の限度額との差 額を、国民健康保険団体連合会を通じて事業者に 支払う。	高齢者の増加に伴い、要支援認定者、支援サー ビス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象 者数も増加すると思われる。	75	12	126	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
247	会計名：介護 款項目：2-7-4 事業名：特別特定入所者介護予防サー ビス費に要する経費	高齢者支 援課			低所得の要支援被保険者が認定の効力の生じる日 より前に、緊急その他やむを得ない理由により、 介護保険施設への入所等サービスを利用した際の 食費・居住費（滞在費）について、償還払いで支 給する。	過去の実績はないが、高齢化による要支援認定 者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能 性はある。	0	0	1	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
248	会計名：介護 款項目：3-1-1 事業名：財政安定化基金拠出金に要する経費	高齢者支援課			介護保険財政の安定化のため、千葉県に設けられた財政安定化基金に国、県、市が3分の1ずつ拠出する。	各保険者において適切に給付費等を見込むことにより、交付・貸付が減少しており平成21年度以降、拠出金は0円となっている。	0	0	1	2精査・検証	千葉県を通じて、他市の状況を検証する必要がある。	介護保険法に基づき適正に事務を進める。
249	会計名：介護 款項目：4-1-1 事業名：予防事業に要する経費	高齢者支援課			閉じこもり防止により、要介護状態への軽減を図る。	事業を担う推進員や参加者の高齢化に伴う減少がある。	627	4,076	6,472	2精査・検証	参加者が安全に人との関わり合いを通して生き生きとした活動ができるよう検証する。	新たな推進員や参加者を探す。
250	会計名：介護 款項目：5-1-1 事業名：介護予防・生活支援サービス事業に要する経費	高齢者支援課			要支援認定者、事業対象者が総合事業を利用した費用の保険給付分。	高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、給付費の増加見込まれる。	214,005	213,801	267,719	2精査・検証	介護サービスの提供により、要支援状態の維持改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施。
251	会計名：介護 款項目：5-1-2 事業名：介護予防ケアマネジメント事業に要する経費	高齢者支援課			総合事業利用者の介護予防ケアマネジメント費。	高齢化に伴い、給付の増加が見込まれる。	26,882	25,429	34,828	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
252	会計名：介護 款項目：5-2-1 事業名：介護予防把握事業に要する経費	高齢者支援課			一般介護予防事業対象者に対する実態把握に関する経費	実態把握数が少ない。	521	710	812	2精査・検証	一般介護予防対象者の増減について絶えず検証する。	把握数の増加を図り、事業の周知をしていく。
253	会計名：介護 款項目：5-2-1 事業名：介護予防普及啓発事業に要する経費	高齢者支援課			介護予防事業委託費、運動指導講師報償費等。	高齢者率増加傾向のため健康意識が高まり介護予防の事業が必要となる。	3,832	718	768	2精査・検証	高齢者率増加傾向のため介護予防の意識が高まり、専門職が関与した事業の必要性が大きい。	今後も委託等で介護予防の講座等を開催する。
254	会計名：介護 款項目：5-3-1 事業名：包括的支援事業に要する経費	高齢者支援課		○	介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護ケアマネジメントを包括的に行う。	高齢化に伴い相談件数等が増えている。	103,460	106,498	116,015	2精査・検証	相談件数等が増加しているため絶えず検証する。	基幹型包括支援センターを設置後、各包括支援センターの後方支援や質の向上に取り組む。また、地域包括支援センター職員の増員、圏域について検討する。
255	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：介護サービス適正化事業に要する経費	高齢者支援課			介護給付を必要とする被保険者に対し、適切にサービス提供を促し、費用の効率化を図る。	給付費が増加しているため精査が必要。	73	5,743	2,473	2精査・検証	適正にサービスが提供されているか絶えず検証していく。	介護給付費適正化のためのシステムを利用し、介護給付費の適正化等を進めていく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
256	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：家族等支援事業に要する経費	高齢者支援課			高齢者本人並びに家族等の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的とした事業（徘徊高齢者位置情報提供サービス、見守りシールの提供等）。	サービス利用者が少ない。	986	776	1,470	2精査・検証	利用者の増減について絶えず検証する必要があるため。	各事業の普及及び必要と思われる対象者の発掘。
257	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：成年後見人制度利用支援事業に要する経費	高齢者支援課			市長申立て事務、後見人報酬助成、市民後見人養成研修委託費等、後見制度の利用促進に伴う事務費や助成。	後見制度が周知されていない。	3,611	3,556	5,163	2精査・検証	市長申立ての必要性に関して、対象者ごとの精査・検証が必要。	他課、他機関と連携し、後見制度の利用促進をしつつも、対象者ごとに事業利用の必要性を確認する。
258	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：福祉用具・住宅改修支援事業に要する経費	高齢者支援課		○	住宅改修について専門職が助言や指導を行う。また、虚弱高齢者に対し手すりの設置費用の助成を行う。	高齢化に伴い、給付の増加が見込まれる。	30	45	131	2精査・検証	自宅での生活が円滑となる、効果的な住宅改修が行えるように検証が必要である。	今後も継続して事業を実施する。
259	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：地域自立生活支援事業に要する経費	高齢者支援課			在宅1人暮らし高齢者等に対して栄養相談における管理栄養士によるAssessment結果に基づいて配食サービスを提供することにより、在宅生活が維持できるよう支援する。	高齢化に伴い、給付増加が見込まれる。	1,929	2,705	4,972	2精査・検証	既存の組織等を活用しながら、地域に不足するサービスの検証を行う必要があるため。	今後も継続して事業を実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
260	会計名：介護 款項目：5-3-2 事業名：認知症総合支援事業に要する経費	高齢者支援課		○	認知症について理解を深め、認知症の方、またその家族が住みやすい地域づくりを目指す事業（認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム、認知症推進員等）。	各事業における市民からの認知度が低い。	4,254	4,252	5,922	2精査・検証	各事業において、対象者数の増減や実施内容について、常に検証する必要があるため。	認知症に関する啓発事業や、相談事業を充実させる。
261	会計名：介護 款項目：5-3-3 事業名：在宅医療・介護連携推進事業に要する経費	高齢者支援課			相談窓口の運営、多職種の講演会・研修を実施。	研修会を実施することで連携、支援体制を強化していく必要がある。	4,159	4,222	4,446	2精査・検証	相談窓口の運営方法、研修結果について絶えず検証する。	相談窓口機能の強化、多職種のネットワークの構築を図る。
262	会計名：介護 款項目：5-3-4 事業名：生活支援体制整備事業に要する経費	高齢者支援課			地域資源の開発支援・支援者の養成、ネットワークの構築。	地域での問題解決能力を高めていく。	9,197	9,190	9,190	2精査・検証	地域資源の開発支援・支援者の養成、ネットワークの構築を検証し、次年度に活かしていく。	介護保険法に基づき事業を継続する。
263	会計名：介護 款項目：5-3-5 事業名：地域ケア会議推進事業に要する経費	高齢者支援課			地域包括ケアシステム構築のための有効な手法である地域ケア会議を開催する際の専門職報酬費。	地域課題を把握するためには、事例を積み重ねる必要があるが、会議の開催回数が少ない。	0	13	98	2精査・検証	専門職から助言をいただくことの効果を精査・検証を要する。	会議開催回数を増やす。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
264	会計名：介護 款項目：5-4-1 事業名：審査支払手数料に要する経費	高齢者支援課			サービス費用の請求に対する審査・支払いに對しての手数料。	今後、利用者の増加に伴い手数料の増加が見込まれる。	7,239	7,658	8,259	2精査・検証	保険給付内容の精査・検証を要する。	介護保険法に基づき継続して実施する。
265	会計名：介護 款項目：6-1-1 事業名：介護保険財政調整基金積立金に要する経費	高齢者支援課			介護保険事業の財政運営を安定的に行えるよう基金を設置し、事業運営の中で生じる剰余金を当該基金に積み立てる。	介護保険財政が安定的に運営できるよう、剰余金については毎年度積立てを行っている。	263,809	31,795	1	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	計画値と実績値の検証を行い、剰余金の発生を最小限に留める必要があるが、剰余金が発生した場合は財政調整基金に積み立て、介護保険運営に役立てていく。
266	会計名：介護 款項目：7-1-1 事業名：第1号被保険者保険料還付金に要する経費	高齢者支援課			過年度分の還付発生者に対し、保険料の還付を行う。	高齢化による被保険者の増加により、還付金発生者の増加も予想される。	1,038	2,421	2,500	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき事業を継続する。
267	会計名：介護 款項目：7-1-2 事業名：国庫支出金等過年度分返還金に要する経費	高齢者支援課			前年度の介護給付費に対し、交付を受けた負担金及び交付金に超過交付があった場合に返還する。	過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を行い交付申請をしたが、決算に伴い返還金が生じたため返還を行った。	8,136	51,981	10,000	2精査・検証	保険給付内容の精査、検証を要する。	介護保険費用等積算については、計画値と実績値の検証を行い返還金を最小限にしていく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
268	会計名：介護 款項目：7-1-3 事業名：第1号被保険者選付加算金に 要する経費	高齢者支 援課			過誤納となった保険料に対し選付加算金を加えて 還付する。	高齢化による被保険者の増加により、選付金発生 の増加も予想される。	0	0	30	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき事業を継続する。
269	会計名：介護 款項目：7-1-4 事業名：高額介護サービス費貸付金に 要する経費	高齢者支 援課			介護サービス費の支払いに困窮する者に対し、高 額介護サービス費の支給見込額の範囲内で無利子 で貸付を行う。	過去の実績はないが、高齢化による要介護認定 者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能 性はある。	0	0	10	2精査・検証	対象者の把握について検証を要する。	介護保険法に基づき、生活困窮者が安心して介護 サービスが利用できるよう、引き続き実施する。
270	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：介護保険運営推進事業に要す る経費	高齢者支 援課			介護保険の円滑かつ公正な運営を図るため「介護 保険運営及びサービス推進協議会」による事業運 営に係る審議等を行う。また、介護サービス事業 を実施する事業者を選定する委員会を開催する。	高齢者人口の増加に伴い介護認定者も増加傾向に あり、サービス内容等の見直しや充実強化につい て、議論を重ねる必要がある。	359	6,995	4,204	3縮小・統合	介護保険事業の円滑な運営を検証する基本的な事 業であり、絶えず検証を要する。 令和5年度は第9期鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計 画・介護保険事業計画を委託し作成するため、令 和6年度予算は減額となる。	介護保険運営及びサービス推進協議会において、 介護にかかわる広範囲な意見を、介護保険制度に 反映させ制度の円滑な推進を図る。 令和5年度は第9期鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計 画・介護保険事業計画を委託し作成する。
271	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者等への検査助成に要す る経費	高齢者支 援課			安全で安心して過ごせる介護施設の実現のため、 市内在住で市内介護施設等に入所している65歳 以上の高齢者に対し、PCR検査を実施する。	現在においてもPCR検査の有用性は認識されて いるが、ワクチン接種が始まることにより、将来 的には縮小する可能性がある。	3,648	5,684	1,836	3縮小・統合	令和5年5月8日から5類相当に移行し、ワクチ ン接種や感染の状況により、実績に応じた予算の 縮小・合理化は必要である。	安全で安心して過ごせる介護施設を実現してい くために引き続き感染症対策を検討して必要があ る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
272	会計名：一般 款項目：3-1-6 事業名：高齢者物価高騰対策支援給付金に要する経費	高齢者支援課			「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の中に創設された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、市内に住所を有する在宅の75歳以上の高齢者に対し、給付金1人あたり5,000円を支給する。	75歳以上の方の多くは、年金以外の収入が見込めないことから、より物価高騰等の影響を大きく受けていると考え、生活を支援する必要がある。	0	82,993	0	4終了・廃止・休止	「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した事業、令和4年度のみのものであり、事業を終了するため、事業を終了する。	なし
273	会計名：一般 款項目：4-1-1 事業名：保健衛生事務に要する経費	健康増進課	○		市民が自分に合った適切な医療が受けられるよう、かまがや安心医療ナビシステム啓発事業及び二次救急医療機関運営事業等を実施する。	・二次救急事業は鎌ヶ谷市のみで実現することが困難であるため、船橋市との協定締結による確保が必要である。 ・国による地方公共団体の情報システムの標準化・共通化に係る各種事務手続き等を着実に実施していく必要がある。	21,223	31,130	20,290	1拡大・拡充	災害時における救護所で使用する医薬品等の確保・備蓄について、医療機関と委託契約を結ぶ必要があるため。災害時用酸素吸入救急蘇生セット入替等が必要であるため。	地方公共団体の情報システムの標準化・共通化に併せ、健康管理システムの改修を行う。また、乳幼児健診等において、かまがや安心医療ナビの周知等を通し、かかりつけ医を持つことの大切さの周知を強化する。
274	会計名：一般 款項目：4-1-2 事業名：各種健（検）診に要する経費	健康増進課	○		がん疾患等の早期発見、早期治療を促進し、市民の健康保持と増進を図るために各種健（検）診を行う。	高齢化や国等の指針、市民の要望、受入医療機関等の状況により、検診実施体制を検討することが必要である。	109,438	104,583	101,359	1拡大・拡充	胸部レントゲン写真読影支援システム（AIによる画像読影判断支援）の導入を検討する必要があるため。	検診実施にあたり、受検者が安心して受診できるよう体制を整えるとともに、がん検診の体制整備として、子宮がん検診の集団検診の継続、令和5年度から開始した胃内視鏡検査を円滑に実施する。
275	会計名：一般 款項目：4-1-2 事業名：予防接種に要する経費	健康増進課	○		感染症の発生及びまん延を防止するため、感染防止対策を講じるとともに予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図る。	制度等の改正が頻繁にあるため、予算も含め、迅速な対応が必要である。	263,342	284,790	360,184	1拡大・拡充	予防接種委託料の適正化及び予防接種事故負担金が増額となるため。	妊娠中等の女性への感染予防及び先天性風しん症候群の発生予防のため、風しんの追加的対策（大人の風疹抗体検査及び予防接種）の未受検者へ再勧奨を行うなど、受検率の増に向け取組む。HPVワクチン接種（9価）の周知をし、キャッチアップ接種についても、希望する方が接種できる体制を整える。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
276	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：母子保健に要する経費	健康増進課	○		妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。	親が孤立せず、子育てを楽しみ、成長を確認できるよう、関係機関と協働し、継続した育児支援が必要である。	86,611	81,788	93,285	1拡大・拡充	3歳児健康診査における眼科屈折検査の全数実施をするため、スポットビジョンスクリーナーの購入と産婦健診の費用助成を行うため。	1 母子手帳アプリを導入し、「かまがや子育てアプリ」と統合する。また、伴走型相談支援事業として、妊娠7か月アンケートによる全数把握、新生児訪問の全数実施をし、産後ケア事業（通所型）を導入する。 2 乳幼児の健康診査後の発達相談の日を増やす等、支援の充実を行い、母子の孤立予防、育児不安の軽減につなげる。 3 産後の育児不安の軽減や産婦の休息を目的に、産後ケア事業（通所型）を開始すると共に、自宅への訪問型についても検討を開始する。 4 母子の孤立予防及び育児不安の軽減を目的に、乳幼児健康相談健康診査後の牽連相談日を増
277	会計名：一般 款項目：4-1-1 事業名：健康づくり推進に要する経費	健康増進課	○		食育を含めた健康づくりの第一次予防である健康増進を進めるとともに、疾病の予防を図るため、第3次いきいきプラン健康かまがや21、第3次鎌ヶ谷市食育推進計画を推進する。	健康寿命の延伸のため、若い世代から正しい食生活が出来るよう普及啓発の場や開催時期を考える。	1,157	1,480	2,422	2精査・検証	市民の健康維持・増進、食育の推進に向けた施策展開を行うため、絶えず検討する必要があるため。	家庭において望ましい食習慣の確立や生活リズムのとり方、よく噛んで食べることの大切さについて「早寝早起き朝ごはん食育講演会」を実施し、朝食を食べている人の割合を増やす。また、より効果的な食育につながるよう講演内容を見直す。
278	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：健康管理事務に要する経費	健康増進課			円滑な事業展開のために必要な専門職を会計年度任用職員として配置し、母子保健・成人保健・精神保健・歯科保健事業を実施する。	事業に携わる専門職員の資質・技能の向上を図るとともに、市民の健康増進を図るため、時代の状況に応じた事業内容の見直しと改善が必要である。	9,354	11,018	13,805	2精査・検証	市民の健康維持・増進に向けた施策展開を行うため、絶えず検討する必要があるため。	人材を確保し、市民ニーズに応じた質の高いサービスを提供し、見直しが必要な事業は改善案を決定する。
279	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：成人保健に要する経費	健康増進課			40歳以上の市民を対象に、健康教育・相談・家庭訪問等を行い、生活習慣病予防などの健康づくりへの支援を行う。	参加者や健康教育・相談の対象者が70代の高齢者が多く、若い世代への働きかけが難しいことが課題である。	1,932	1,801	1,796	2精査・検証	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の一環として、通い場等でのポピュレーションアプローチ等の実施場所の検討が必要であるため。	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の一環として、通い場等でのポピュレーションアプローチ等を関係課と連携し実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
280	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：歯科保健に要する経費	健康増進課			市民の生涯にわたる口腔の健康保持・増進のため、歯科健康診査・予防処置・健康教育・健康相談を実施する。	子どものむし歯は減少したが、成人のむし歯や歯周病により、国保に占める歯科医療費の割合は依然高いことが課題である。	3,694	3,346	4,587	2精査・検証	むし歯や歯周病予防を推進するため、歯科健診や教育・相談の効果を精査・検証しながら進める必要がある。	若いうちからの歯周病予防を推進するため、20歳、30歳、40歳の歯周病検診の受診勧奨を強化する。
281	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：精神保健に要する経費	健康増進課	○		市民のこころの健康づくりや、精神障がい者が地域で生活しやすいように、講演会や学習会・相談・家庭訪問等を実施する。また、精神疾患の予防を図ることで、精神障がい者が地域で生活しやすくなるよう支援する。	精神疾患を理解し、市民・関係機関と協働し地域で支えていく必要がある。	686	690	729	2精査・検証	誰もが住み慣れた地域で生活しやすいよう支援が必要であり、併せて自殺対策を精査・検証しながら進める必要がある。	コロナ禍で中止していた学習会を再開する。全中学校を対象に「SOSの出し方に関する教育」や「ゲートキーパー養成教育」等、自殺対策を含め継続実施する。
282	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：フッ化物洗口に要する経費	健康増進課			保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級においてフッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯をつくる。	洗口が全小学校全学年で円滑に継続実施できるようにするため、関係者と協働で行う必要がある	2,074	2,463	4,156	2精査・検証	子どものむし歯予防は、歯科医療費の抑制につながり、有効性が高い。新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら継続し、園医・学校医の協力を得、継続的に事業を進める必要があるため。	小学校2～6年生を学校と実施時期を調整のうえ、継続実施、小学校1年生に教育と洗口指導後、フッ化物洗口を週に1回実施する。
283	会計名：一般 款項目：4-1-4 事業名：伴走型相談支援・出産子育て 応援給付金に要する経費	健康増進課			伴走型相談支援及び出産子育て応援給付金（出産5万、子育て5万）事業を一体的に実施することにより、子育て世代の市民が安心して子育てできることを支援する。	孤立予防や育児不安の軽減等市民の多様化する子育て支援のニーズに対応するため、支援サービスの充実、関係機関との連携を図る必要がある。	0	959	0	2精査・検証	妊娠期から子育て期まで継続的な相談支援体制を維持するためには、関係機関との連携を図るとともに、支援方法等について、継続的に検討していくことが必要であるため。	安心して出産を迎えられるよう妊娠7か月での全数アンケートを実施するとともに、出産後の手続きやサービスの情報提供を実施する。また、希望性で実施していた新生児訪問を全数訪問に切り替え、母子の現状把握の機会を増やし、育児不安や孤立予防に対し早期に対応していく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
284	会計名：介護 款項目：5-2-1 事業名：介護予防普及啓発事業に要する経費	健康増進課			介護予防講座や地区活動で啓発を行うとともに、講座参加者から健康づくりボランティアを育成し、介護予防活動の推進を図る。	ボランティアを育成し、活動の継続および活性化するように支援、協働していく必要がある。	550	291	1,265	2精査・検証	介護保険法において介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業に位置付けられており、事業内容等を継続的に検討していく必要があるため。	コロナ禍で休止していた健康づくりボランティア定例会を定期的実施し、活動を継続実施する。
285	会計名：一般 款項目：4-1-2 事業名：新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	健康増進課			新型コロナウイルスワクチンの住民接種に係る接種体制を構築し、予防接種法に基づく臨時接種として実施する。	日々刻々と状況が変わる為、予算も含め、迅速な対応が必要である。	1,284,429	1,354,170	5,239	3縮小・統合	新型コロナウイルスワクチン接種事業は、国において令和6年度から定期接種化が検討されているため。	国の方針等に基づき、ワクチン接種体制の整備・接種を実施し、情報の収集・提供等を、迅速かつ適切に行う。【対象者】①令和5年春開始接種（65歳以上・5歳以上の基礎疾患を有する方・医療従事者等）②令和5年秋開始接種（初回接種を終了した5歳以上の方）③追加接種（5～11歳の方）④初回接種（6か月以上の方）
286	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：都市計画事務に要する経費	都市計画課	○		市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。	当初指定（平成4年11月指定）から30年経過する生産緑地地区の特定生産緑地への移行に向け取り組む必要がある。	10,212	6,780	4,655	1拡大・拡充	市長公約である緊急的に取り組む事業の一つの「北千葉道路の整備を見通したまちづくり」を検討するため、上位計画や関連計画との関係、また、現況調査及び各種法規制などの整理を行う必要があるため。	令和5年度に発注予定の北千葉道路沿線の土地利用検討調査について、業務内容等を検討しながら発注手続きを進める。
287	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。	運行ルート、バス停留所の改善要望や高齢者等の移動の確保等、コミュニティバス利用者の利便性について検討する必要がある。	55,500	74,859	85,272	1拡大・拡充	超高齢社会への対応として、地域活動や生涯学習の参加などからコミュニティバスの運行は不可欠である。また、令和8年度以降の新たな運行計画を策定する必要がある。	新鎌ヶ谷駅「ききょう号」バス停について、上屋ベンチを設置する。 鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会による検討。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
288	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：宅地耐震化推進事業	都市計画課	○	○	大規模盛土造成地の滑動崩落に対する安全性の調査を行うもので、国の「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン」に基づき、第二次スクリーニング計画を策定するもの。	大規模な盛土造成地の滑動崩落を防止するため、国は変動予測調査を実施し、地方公共団体等において危険箇所の滑動崩落防止工事を進めることを支援している。	0	5,902	0	1拡大・拡充	令和4年度に策定した「第二次スクリーニング計画」に基づき、今後ボーリング調査や地盤の解析調査を実施し、宅地の安全対策が必要となれば対策工事を行うこととなる。	令和4年度に策定した「第二次スクリーニング計画」に基づき、詳細調査等の事業を実施するための庁内協議及び国交付金活用のため千葉県など関係機関との調整を行う。
289	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：新鎌ヶ谷地区広域交流拠点形成推進に要する経費	都市計画課			新鎌ヶ谷地区において更なる広域交流拠点機能の集積や地区の賑わいづくりのため地域の活性化やコミュニティの形成を推進する。	地区の現状及び、まちづくり活動に対する企業、地域住民の意識が把握できてきた中で、今後ご理解・ご協力を得られるよう市内部における他事業との調整を図る必要がある	26,737	25,853	28,668	1拡大・拡充	新鎌ヶ谷地区において、魅力ある地域づくりをするためには、新鎌ヶ谷駅自由通路の適切な維持管理は、必要不可欠である。また、住民の意識醸成に合わせた施策展開が必要であり、さらに、地区周辺のまちづくりも検討していく必要があるため。	新鎌ヶ谷駅自由通路の点検や、活用方法などの検討を行う。また、地域住民のまちづくり活動に対する意識醸成を見据えつつ、利用者や住民ニーズに適した対応を検討する。
290	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：都市軸形成促進事業	都市計画課	○	○	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。	初富駅周辺整備事業は、用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。	48,157	3,410	1,716	1拡大・拡充	初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また、市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進する必要があるが、用地の確保に向け関係地権者と合意形成を図る必要があるため。	用地の確保や事業への理解が得られるよう関係地権者と合意形成を図る。
291	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	都市計画課	○	○	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる広域交流拠点として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。	新鎌ヶ谷駅利用者の利便性や駅周辺の回遊性を高められるよう関係機関との調整を整える必要がある。	7,277	2,024	51,800	1拡大・拡充	計画していた新鎌ヶ谷地区中街区の歩行者専用道路の整備に係る企業局の水道管の切回しが必要のため。	新鎌ヶ谷地区中街区を中心とした回遊性を確保するための歩行者専用道路の整備工事を行う（令和5年12月までに供用開始予定）。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
292	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：開発指導事務に要する経費	都市計画課			良好な住環境の確保を目的として、市街化区域での宅地造成、大規模建築や市街化調整区域の住宅建築などに伴う開発許可制度の適切な運用を行うもの。	市街化区域における開発許可等の申請件数は令和4年度に生産緑地が解除されたことから、宅地造成が増加している。また、市街化調整区域においては、少子高齢化に対応する社会福祉施設等の相談が増加傾向にあり、今後も相談及び許可申請は増えることが見込まれる。	2,805	2,992	3,049	2精査・検証	良好な住環境の確保のため、公共施設等の整備基準や開発等の立地について開発許可基準や規則を定めている開発許可制度は今後も必要となるため。	鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱の精査及び条例化、立地基準の調査研究を行う。
293	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：公共交通機関の整備促進に要する経費	都市計画課			北総線沿線の活性化に資するため、北総線車両のラッピングを、千葉県及び北総線沿線の自治体と北総鉄道で構成する「北総線沿線地域活性化協議会」の事業として実施するもの。	沿線地域の知名度向上や、地域に活力を生む若い世代の北総線沿線への居住促進に繋げる必要がある。	0	933	0	2精査・検証	本事業により広告が掲載された車両が東京都内や日本の空の玄関口である羽田空港を運行する。それにより、多くの方に本市を認知頂く機会となり、本市を訪れて頂くことで賑わいの創出や居住のきっかけとなり、本市の活性化に繋がるため。	北総線沿線の自治体と北総鉄道（株）で、地域の魅力発信に資する広告を作成し、車体外板へのラッピング及び車内広告スペースに掲出する。
294	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：景観形成事務に要する経費	都市計画課	○		鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届け出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門的意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。	良好な都市景観の形成を図るため、地区の特性に合わせた景観形成内容の周知や現状の把握に取組む必要がある。	0	34	71	2精査・検証	景観行政を進めていく上で第三者的な立場の専門家意見を活用するため景観審議会及び景観アドバイザーは必要不可欠である。	景観届出内容について、現状を景観審議会に報告し検証を行う。また、市と事業者が行っている届け出事務の円滑化を図る。
295	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：公共交通事業者等特別支援金に要する経費	都市計画課			新型コロナウイルスの影響を踏まえ、国の交付金等を活用し感染拡大防止策及び事業継続及び燃料高騰分対応を目的に助成する。	新型コロナウイルスの影響が大きいため、国の交付金等を活用し引き続き助成を行う必要がある。	4,572	8,844	0	2精査・検証	新型コロナウイルスの影響が大きいため、国の交付金等を活用し引き続き助成を行う必要がある。	国の交付金等を活用し燃料高騰に対応した検討をする。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
296	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：市街地整備に要する経費	都市計画課			まちづくり室の各業務に必要な経費の支出。	近隣商業拠点の整備に関する適正な予算計上や支出のため、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	2,815	2,720	3,771	2精査・検証	効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。	市街地の整備に関する現状を適切に把握し、職員の知識向上や、地域との連携に配慮しつつ、より効果的な手法の検討をする。
297	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：近隣商業拠点整備に要する経費	都市計画課			近隣商業拠点の整備に必要な経費の支出。	近隣商業拠点の整備に関する適正な予算計上や支出のため、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	1,392	1,379	1,367	2精査・検証	効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。	近隣商業拠点の整備に関する経費の適正な予算計上を検討する。
298	会計名：一般 款項目：8-4-2 事業名：近隣商業拠点整備事業	都市計画課	○	○	近隣商業拠点の一翼を担う北初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。	北初富駅周辺整備事業は、用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。	0	1,912	3,918	2精査・検証	北初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また、地域住民や駅利用者の利便性の向上を図るため推進する必要がある。引き続き用地の確保に向け、関係地権者の合意形成及び計画区域内にある所有者不明土地の隣接地の取得に向けた方針を決定する必要があるため。	用地の確保や事業への理解が得られるよう関係地権者と合意形成を図る。また、計画区域内にある所有者不明土地の隣接地の取得に向けて、弁護士相談等により方針を決定する。
299	会計名：一般 款項目：8-4-1 事業名：都市計画マスタープラン策定事業	都市計画課	○	○	平成14年度に策定した「都市計画マスタープラン」について、目標年次がおおむね20年後となっていることから、新たな「都市計画マスタープラン」の策定を行うもの。	学識経験者や市民代表等で組織する策定委員会による検討が必要であり、また、市民の意見を反映させるための手法を考慮する必要がある。	8,125	7,611	0	4終了・廃止・休止	令和4年度策定済のため。	

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
300	会計名：一般 款項目：8-1-1 事業名：用地事務に要する経費	道路河川 整備課			事業用地取得後に係る参考図書購入及び協議会負担金、研修費、旅費及び消耗品等の購入。	事業用地取得事務に関する法改正等による基準の変更等に迅速に対応する必要がある。	44	44	1,064	1拡大・拡充	事業用地取得事務に係る経常的な経費であり、千葉県との用地交換に係る委託費用を計上する必要が生じたため。	事務の効率化を図りながら、事務経費の執行を行う。また、千葉県との用地交換に係る委託を発注する。
301	会計名：一般 款項目：8-2-1 事業名：道路橋梁事務に要する経費	道路河川 整備課			主要市道や一般市道等の整備に伴う業務を遂行するうえで必要な経費。	道路網の整備、生活道路等の整備は追いついていない。	839	952	3,643	1拡大・拡充	道路整備を進めていくうえで必要な経費であるため。	・関係機関と連携し交付金等の導入を積極的に図り道路事業を推進する。 ・土木積算業務を効率化するため、担当職員が自席で積算業務を行えるよう土木積算システムの契約形態を変更する。
302	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：主要市道整備事業	道路河川 整備課	○	○	主要市道の歩道整備や舗装改良などを行い、利用者の安全性・利便性を高め生活環境の向上を図る。	主要市道でありながら歩道が整備されておらず、また舗装状態の改善が必要な路線を対象に事業を推進する必要がある。	195,456	111,262	192,181	1拡大・拡充	市民意識調査「道路の状況」の結果から不満足度を下げるために主要市道の整備を推進していく必要がある。	・交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済み箇所は暫定的な工事を行い歩行者の安全性の確保に取り組む。 ・国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。
303	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：交差点改良事業	道路河川 整備課	○	○	交通量の多い主要な交差点を対象に歩道設置や右折車線等の交差点改良を実施し利用者の安全性の向上を図る。	交通が集中する交差点において、歩道待機スペースが無く、また交差点形状が悪いため見通しが阻害され、改善が必要な交差点がある。	64,043	2,405	15,949	1拡大・拡充	市民の方や学校関係者からの改善要望が多い交差点を中心に整備を推進していく必要がある。	・交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済み箇所は暫定的な工事を行い歩行者の安全性確保に取り組む。 ・国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
304	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：一般市道整備事業	道路河川 整備課	○	○	一般市道において、道路排水施設の整備、舗装改良、狭あい路線の拡幅を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。	排水施設や舗装状況等に課題がある一般市道については更なる改善が必要である。	35,531	23,081	81,869	1拡大・拡充	生活道路など市民生活に密接した一般市道の安全性や快適性の向上を図るため、引き続き整備を推進していく必要がある。	国交付金の内示率が低いと、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。 引き続き用地取得に取り組む。
305	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：通学路整備事業	道路河川 整備課	○	○	児童や生徒が安全に通学できるよう歩道を整備し通学路の安全性向上を図る。	緊急合同点検により対策が必要な通学路を抽出し歩道整備に取り組んでいるが、他にも対策が必要な路線がある。	77,728	34,468	40,258	1拡大・拡充	市民の方や学校関係者からの改善要望が多い通学路の整備を推進していく必要がある。	歩道整備に向けて用地取得に取り組んでいるが、取得地の関係者の状況を見極め推進していく必要がある。
306	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：河川・水路整備事業	道路河川 整備課	○	○	鎌ヶ谷市の雨水流末に位置する河川、水路改修事業について、事業主体市に流域面積に応じた負担金を支出する。	都市化の進展や集中豪雨などの気象状況により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。下流の整備が進むことにより、市内の河川・水路施設の整備を図る。また、浸水被害に対する改善要望等が多い。	6,916	17,794	3,480	1拡大・拡充	治水対策として有効な事業であることから、雨水流末の河川、水路の整備を引き続き実施する必要があるため。	事業主体市と協議し1時間当たり50mmの降雨に対応した整備を行う。
307	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：準用河川整備事業	道路河川 整備課	○	○	鎌ヶ谷市内の準用河川の流下能力向上目的に、1時間当たり50mmの降雨に対応した改修を行う。	都市化の進展や集中豪雨などの気象状況により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。河川整備が進むことにより、浸水被害の改善を図る。また、浸水被害に対する改善の要望等が多い。	309,248	277,410	80,238	1拡大・拡充	浸水被害により、市民の生命・財産に被害が及ぶ恐れがあるため、速やかに改修を行う必要があるため。	浸水被害改善に向け国交付金の確保に努め、浸水被害の軽減に効果的な整備及び用地取得等を進める。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
308	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：地域排水整備事業	道路河川 整備課	○	○	鎌ヶ谷市内の道路冠水を解消するための地域排水施設の能力不足や未整備箇所について、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。	都市化の進展や集中豪雨などの気象状況により、雨水の流出量が増加し、道路冠水等の浸水被害が生じている。また、浸水被害に対する改善要望等が多い。	42,106	12,542	72,044	1拡大・拡充	治水対策として有効な事業であることから、放流先の整備状況や費用対効果を考慮し、事業を進める必要があるため。	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある個所の選定を行う。
309	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：雨水貯留池整備事業	道路河川 整備課	○	○	大雨時における流出抑制のための貯留池整備を行う。	都市化の進展や集中豪雨などの気象状況変化により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。整備は現時点で可能な最も効果のある箇所に整備を図る。また、浸水被害に対する改善要望等が多い。	53,406	11,220	53,536	1拡大・拡充	放流先の河川の能力が不十分となっている中で、貯留池整備は有効な治水対策であるため。	串崎新田貯留池の整備に必要な用地取得及び工事を行う。
310	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：北千葉道路整備推進に要する経費	道路河川 整備課			沿線7市等で構成する北千葉道路建設促進期成同盟の事務局として要望活動や特別講演会に伴う事務を行う	効果的な要望活動を行い、北千葉道路の早期事業化及び全線同時開通を目指す	1,650	1,688	1,736	1拡大・拡充	未事業化区間の早期事業化を推進するために必要な経費であるため。	事業の進展に合わせて活動内容を精査し、引き続き国、県に対して効果的な要望活動を行っていく
311	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	道路河川 整備課	○	○	交通の円滑化と周辺地域の利便性向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパス道として県が事業主体となり整備を進めている。	バイパス道としての機能を早期に発揮するべく事業に取り組んでいる。	2,474	1,959	8,850	1拡大・拡充	北千葉道路の推進に伴い、道路ネットワーク構築の観点からバイパス道の整備は重要となるため。	引き続き、千葉県と連携し情報共有を図りながら効率的な用地取得に取り組む。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
312	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：新京成線連続立体交差事業	道路河川 整備課	○	○	千葉県が事業主体となり、本市の中心市街地を東西に走る新京成線を高架化し、踏切を除却することで地域分断や交通渋滞の解消など安全性及び利便性を図る。	令和元年12月に全線高架化が完了し、引き続き令和6年度の事業完了に向けて関連側道などの周辺整備を行う。	282,242	124,576	157,624	1拡大・拡充	新京成線連続立体交差事業は、都市計画事業として関連側道等の整備を進める必要があるため。	仮線撤去後、民有地等の借地返還及び関連側道などの周辺整備を進める。
313	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	道路河川 整備課	○	○	新鎌ヶ谷地区を東西に連絡する都市計画道路を整備することにより周辺地区の交通渋滞などを解消させるとともに歩行者等の安全性を図る。	用地取得を鋭意進めており、戸建て地権者を中心に協力を得られ約2割の取得率である。引き続き地権者の協力を得ながら事業を推進する。	235,498	133,981	125,768	1拡大・拡充	新鎌ヶ谷周辺地区など中心市街地の交通環境改善が期待される事業であることから引き続き事業を推進していく必要がある。	国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。 引き続き用地取得に取組む。
314	会計名：一般 款項目：8-2-3 事業名：私道整備事業	道路河川 整備課	○	○	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。	私道舗装整備要綱の見直しを行い、補修工事についても実施することとなったことから、この制度を広く市民に周知する必要がある。	0	1,955	2,536	2精査・検証	道路は市民生活に必要不可欠であることから、地域の要望を精査検証しながら事業を進めていく必要があるため。	申請のあった際には早期に私道整備工事を発注することが出来るよう、申請者と調整を行う。
315	会計名：一般 款項目：8-3-1 事業名：河川事務に要する経費	道路河川 整備課			河川事業を行う中で必要な経費を支出する。	旅費、事務用品及び各種協会への負担金が主な内容であり経常的な経費である。	491	508	1,088	2精査・検証	河川事業を進めていく上で、必要な経費であるが、さらに精査・検証が必要であるため。	事務の効率化を図りながら、効率的な執行を行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
316	会計名：一般 款項目：8-3-3 事業名：雨水浸透貯留に要する経費	道路河川 整備課			浸透施設の整備及び、市民協働事業による過程で手軽に取り組める雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担を軽減させる。	協働事業により、市民に対し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるかが課題である。	40	12	40	2精査・検証	市民に対し雨水浸透貯留に対する知識を深めて頂くため、市民協働事業として平成20年度から開始した事業でもあることから、事業の効果検証の必要があるため。	今後さらに雨水浸透貯留の効果への理解を深めて頂くための内容の精査・検証を行う。
317	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：街路事務に要する経費	道路河川 整備課			都市計画道路や連続立体交差事業などの街路事業の業務を遂行するうえで必要となる経費。	都市計画道路等の街路事業の整備率が低く、機能的な道路ネットワークの構築に至っていない。	1,790	2,048	1,124	2精査・検証	街路事業を進めていくうえで必要な経費であるため。	事業の効率化を図りながら事業経費の執行を行う。
318	会計名：一般 款項目：8-4-3 事業名：都市計画道路3・4・10号 中沢北初富線（中沢）整備事業	道路河川 整備課	○	○	千葉県が事業を進めている大柏川第二調節池整備に合わせ、区域内に位置する都市計画道路3・4・10号の一部について用地を確保するもの。	大柏川第二調節池整備の進捗に合わせ、千葉県と事務手続を行う必要がある。	80	3,280	0	4終了・廃止・休止	大柏川第二調節池整備の進捗に合わせ都市計画道路の整備を進める必要がある。	県と市で協定に基づく取得済み用地の交換作業が速やかに行えるよう県と連携を図る。
319	会計名：一般 款項目：8-3-2 事業名：流域環境整備事業	道路河川 管理課	○	○	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。	29,829	42,882	38,394	1拡大・拡充	法定管理者の責務として河川機能確保と併せて周辺的生活環境の改善を図る必要があるため。	鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた効率的な点検方法の検討。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
320	会計名：一般 款項目：8-1-1 事業名：道路管理に要する経費	道路河川 管理課			市道及び法定外公共物の財産、機能の適正な管理を行う。	開発行為による道路の帰属等により、道路は増加傾向にあり、境界確定や占用許可等の管理業務が増加している。	22,536	27,726	27,142	2精査・検証	道路台帳の電子化により、窓口での照会等の時間短縮に繋がり業務改善が図れたが、今後も施設に付随する情報や図書関係の管理のシステム化を検討して行く必要があるため。	道路台帳情報の更新及び追加情報の検討。
321	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：交通安全対策に要する経費	道路河川 管理課	○		交通安全意識向上のため、警察等の関係機関と連携し、交通安全運動を通じての啓発活動や小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を行う。	交通事故発生件数のうち高齢者が占める割合が増加傾向にあるため、高齢者への交通安全対策が課題である。	8,840	12,267	26,615	2精査・検証	鎌ヶ谷市内の令和4年度の人身事故件数は年間215件であり、令和3年度の254件から39件減少したが、今後も効果的な交通安全対策を行う必要があるため。	啓発活動の継続と強化。
322	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：自転車駐車場整備・維持管理に要する経費	道路河川 管理課			（公財）自転車駐輪場整備センターで設置・運営している新鎌ヶ谷駅東口暫定自転車等駐輪場用地購入及び新鎌ヶ谷駅西口暫定自転車等駐車場の用地借地に関すること。	新鎌ヶ谷駅周辺の自転車駐車施設のセンター運営は時限契約であるため、市営に引き継いだ後の維持管理業務。	15,987	13,232	13,127	2精査・検証	市内駅周辺では自転車等駐車場は十分に確保されているが、民間駐車場は今後の土地利用により減少する可能性があり、駐車場確保のための取組が必要となるため。	民間駐輪場の動向への注視。
323	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：放置自転車対策に要する経費	道路河川 管理課			市内6駅周辺で指定している放置禁止区域内における自転車の放置指導、撤去、移送及び保管、返還業務。	放置禁止の啓発活動の拡充。	7,521	7,412	8,245	2精査・検証	放置自転車の台数は減少傾向が続いており、令和4年度の撤去台数は84台となったが、依然として道路での自転車の放置の実態があることから、今後もより効果的な啓発を行う必要があるため。	啓発パンフレットの有効な配布と活用。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
324	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：交通災害共済事務に要する経費	道路河川 管理課			県内41市町村で共同して運営する交通事故による死傷者に対する共済制度で、この制度への加入受付、見舞金の支払を行うもの。	令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため、自治会回覧を見送った影響を受け、加入者は987人であったが、自治会回覧を再開した令和4年度は1,691人となり、回復傾向にある。引き続き、加入者増の対策を継続する。	473	495	540	2精査・検証	共済制度加入により、交通事故死傷者及び家族（遺族）への経済的負担軽減が目的であり、継続的に加入する市民が多いため。	加入率向上のための方策の継続。
325	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：歩道等整備事業	道路河川 管理課	○	○	歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。	歩道整備には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。	14,771	17,767	0	2精査・検証	令和5年度より「10款通学路安全対策事業」から移行した安全施設設置工事などを含め、引き続き道路の機能管理面の安全確保の責務を継続する。	歩道等総合整備計画に基づく対策のより効果的な推進。
326	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：交通安全施設更新事業	道路河川 管理課	○	○	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路反射鏡等）の更新工事を行う。	市民要望やパトロール等により随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。	2,594	2,578	2,600	2精査・検証	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要のため。	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討。
327	会計名：一般 款項目：8-1-4 事業名：道路照明灯管理・LED化推進事業	道路河川 管理課	○	○	令和2年度にリース方式で整備したLED道路照明灯について、維持管理を行う。	LED化された灯具については、リース契約による修繕対応となるが、道路照明柱や電気系統についての修繕は含まれていないため、これら施設の経年劣化による修繕は計画的に実施していく必要がある	13,984	15,253	0	2精査・検証	令和5年度から経常経費に移行するが、法定管理者として機能維持の責務はあるため。	リース契約による適切な維持管理。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
328	会計名：一般 款項目：8-2-2 事業名：道路維持・補修事業	道路河川 管理課	○	○	市民要望や市内パトロール等により得た情報も基に調査、検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。	市民要望やパトロール等により随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。	112,132	136,266	214,665	2精査・検証	法定管理者としての機能維持に努めることが必要なため。	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討。
329	会計名：一般 款項目：8-3-1 事業名：河川管理に要する経費	道路河川 管理課			河川施設（調整池、貯留池）の財産、機能の適正な管理を行う。	水路（法定外公共物）が国から譲与されたことにより、境界確定や占用許可等の管理業務が増加している。	2,803	4,275	5,281	2精査・検証	河川台帳を整備し、河川のさらに適正な管理を図る必要があるため。	河川台帳電子化のための検討を行う。
330	会計名：一般 款項目：8-1-3 事業名：施設建設監理に要する経費	建築住宅 課	○		他課から依頼を受けて行う営繕業務	厳しい財政状況を反映して改修工事のサイクルは伸びてきているが、施設の老朽化に対する改修は必須であり今後も継続していく。	784	1,191	958	1拡大・拡充	市民サービスの維持、向上を図るためには適正な施設管理、改修が必要	施設改修の依頼事業が多く、また、その他にも修繕についての相談も多いことから、施設点検等積極的に事前調整を行うとともに安全、適切な工事監理を実施する。
331	会計名：一般 款項目：8-5-1 事業名：市営住宅の管理運営に要する経費	建築住宅 課	○		市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理を行う。	市営住宅（全146戸）は昭和47年から昭和62年の間に建設され、住宅セーフティネットの中核として、福祉的な対応が求められているが、入居希望者数はほぼ横ばいか減少傾向である。入居者から施設の老朽化に伴う改善要望や、入居者の高齢化等による福祉的施策が必要な世帯の増加に伴う対応等が必要。	18,674	59,973	20,192	1拡大・拡充	適切な施設の維持管理及び入居者管理を図るために修繕箇所増加やシステムの更新など必要な経費の増加が見込まれるため。	家賃納入について管理システムを利用した口座振替への誘導を頻繁に行うとともに、滞納者については職員が直接きめ細やかな対応をする等徴収率のさらなる向上を目指す。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
332	会計名：一般 款項目：8-5-1 事業名：市営住宅長寿命化事業	建築住宅課	○	○	対症療法的な維持管理から予防保全型の維持管理へ転換することによって、対象施設の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を行うことで長寿命化を図る。	対象施設は、老朽化が進み、更新時期を迎えるものが増加する。これらを建替えや修繕・改善など効率的に更新していく必要がある。	2,342	75,879	24,046	1拡大・拡充	市営住宅は、老朽化が進み更新時期を迎えるものが増加するため、建替えや修繕・改善など効率的に更新していく必要がある	令和5年度は栗野市営住宅1号棟屋上防水・外壁改修等工事設計委託及び栗野市営住宅集会所屋根・外壁改修工事を実施する。
333	会計名：一般 款項目：8-5-2 事業名：空家等対策事業	建築住宅課	○	○	空家等対策計画に基づきこれまでの空家等対策に加え、空家等の適正な管理の推進とあわせて空家等の有効活用といった視点も含め、総合的、計画的な空家等対策を実施する。	空家等の所有者が死亡し、相続人の存在が明らかでないときや、相続人全員が相続放棄をするなどして、管理不全な空家等が放置されるケースが増えつつある。	1,452	6,724	5,346	1拡大・拡充	生活環境の保全及び防犯のまちづくりを推進するために、空家等について更なる適正な管理の推進と量の抑制に取り組む必要がある。	空家等実態調査結果を取り纏め、空家等対策計画の見直しを行う。 また、空家等除却補助事業及び相続財産精算人選任の申し立て（1件）を行う。
334	会計名：一般 款項目：8-1-2 事業名：建築指導に要する経費	建築住宅課	○		建築基準法、建設リサイクル法、建築物省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談。	違反建築物等の防止を図るために検査済証交付率の向上が必要となるほか、相隣トラブルへの対応が必要。	1,064	1,143	9,084	2精査・検証	法律に基づく業務であるが、窓口や受付業務の対応方法など検討が必要。	令和4年度は検査済証交付率は前年度を下回ったが、パトロール件数は上回った。引き続き、宅地・建物のパトロール等を計画的に実施し、違反建築物等の防止の促進を図る。
335	会計名：一般 款項目：8-1-2 事業名：住宅耐震改修促進事業	建築住宅課	○	○	旧耐震基準による木造住宅の耐震診断・改修工事費の一部補助や無料耐震相談会、危険コンクリートブロック塀除却補助を行うもの。	旧耐震基準の木造住宅や、危険コンクリートブロック塀は依然として市内に多く存在することから、これらの促進を図るため補助の申請を増加させる必要がある。	1,869	3,234	4,680	2精査・検証	補助内容の拡充や、耐震化の必要性の周知及び相談を市が行うことで、市民が安心して相談を行うことが出来る。	相談会の簡易耐震診断で耐震基準を下回った所有者に対し、耐震補助の申請を促す。また、通学路沿いなどのブロック塀の点検を計画的に行い、危険なブロック塀等の所有者に対して補助制度の利用を周知することで、木造住宅の耐震化及び危険コンクリートブロック塀の除却の促進を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
336	会計名：一般 款項目：8-1-2 事業名：建築データベースシステム整備事業	建築住宅課	○	○	建築確認証明書等の発行業務の迅速化を図るため、地図情報、建築確認履歴、道路の種別などの情報をシステム化するもの。	運用開始初年度となるため、システムに搭載されたデータの精査、検証、また、システムの適切な保守が必要。	1,430	8,108	0	2精査・検証	システムの適切な運用を行うことで、迅速かつ正確な窓口業務を行うことが出来る。	引き続きシステムの運用方法を精査、検証するとともに、搭載されているデータの更新等の運用方法を確立させる。
337	会計名：一般 款項目：8-5-2 事業名：住宅政策に要する経費	建築住宅課			特定空家等を除却するために必要な資金を貸し付ける。	経済的理由で管理不全な状態の空家等が放置され、空家等が社会問題化している。	21	26	1,029	2精査・検証	空家等が社会問題化している中、経済的理由で管理不全な状態の空家等が放置されることを防ぐ必要がある。	特定空家等所有者に対し法に基づく措置手続きを行うとともに、貸付制度等の情報提供を行う。
338	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：公園維持管理に要する経費	公園緑地課	○		都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。	都市公園及びふれあいの森の箇所数の増加や既存施設の老朽化に伴い、維持管理費が増加している。	173,233	231,514	205,180	1拡大・拡充	公園管理において、多くの地域住民が公園サポーターとして活動することで、公園に対する愛着や意識を高め、維持管理費の削減に努めていく必要があるため。	公園施設の適正な維持管理に努める。また、公園サポーターと密に調整を行い、公園の状況に応じた管理を行う。
339	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：公園施設長寿命化事業	公園緑地課	○	○	公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的な更新、改修を行うことにより、公園施設の安全を確保する。	修繕費や更新費の平準化を図り、計画的に事業を進めていくため、財源となる国費の確保が必要である。	63,015	34,636	14,210	1拡大・拡充	安心、安全な公園を目指し、公園施設の老朽化に応じ順次維持や更新を実施する必要があるため。	新たに策定した、長寿命化計画に基づき、維持管理を実施するとともに新たな長寿命化計画を策定する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
340	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：緑化推進に要する経費	公園緑地課	○		公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。	個人所有の樹林地の適正な維持管理には相当な費用を要することから、個人で維持管理していくのが難しく、相続発生などをきっかけに宅地化する傾向にある。	20,767	70,606	20,619	2精査・検証	緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要である。	公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。
341	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：街区公園整備事業	公園緑地課	○	○	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。	アンケート調査では、公園は災害時の避難地としての役割や、かまどベンチの設置などが多く要望されており、防災意識の高揚が見受けられる。	311,433	97,791	83,782	2精査・検証	緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の必要水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。	鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森公園の整備工事を実施し、供用開始する。（仮称）丸山三丁目ふれあいの森公園の測量・実施設計及び囃子水公園の再整備に伴う基本計画を策定する。
342	会計名：一般 款項目：8-4-5 事業名：緑の基本計画策定事業	公園緑地課	○	○	緑地の保全及び緑化の推進に関する基本方針及び施策を定める。	前計画策定から18年が経過し、人口減少、少子高齢化、財政運営の悪化など行政運営を取り巻く環境が大きく変化し、緑地の目標水準は大きく乖離している。	3,520	7,321	0	4終了・廃止・休止	令和5年3月に緑の基本計画の策定を終了した。同計画で定めた緑地の保全及び緑化の推進のための35の施策について、目標年度の令和16年度まで、毎年、担当課の取り組み状況の進捗管理を行う。	令和4年度に完了したため無し。
343	下水道事業会計（収益的収入及び支出）	下水道課			公共下水道施設の適切な維持管理	老朽化する既存公共下水道施設について計画的に改築更新を進める。 下水道整備後の未普及帯の水洗化が急務となっている。	総収益 1,821,735 （税抜）	総収益 1,713,096 （税抜）	総収益 1,742,294 （税抜）	1拡大・拡充	長期的な施設の状況を予測しながら、計画的かつ効率的な管理を行うため、点検・調査を実施する必要がある。 水洗化の促進を行い、生活環境の改善を図る必要がある。	下水道施設の調査・点検を実施する。 水洗化の普及を促進し、生活環境の改善を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
344	下水道事業会計（資本的収入及び支出）	下水道課			事業認可を取得している区域の管まよの設計、施工	昭和49年度に印旛処理区、昭和57年度に手賀沼処理区、平成25年度に江戸川左岸処理区において、順次事業に着手し公共下水道を整備するが、普及率は近隣市よりも低い。	1,418,230	1,455,958	1,787,409	1拡大・拡充	公共用水域の水質安全や衛生的で快適な生活環境の向上を図るため、公共下水道の計画的な整備を進める。	コスト縮減や実施時期など効率的に整備を進める。
345	会計名：一般 款項目：2-1-6 事業名：出納事務に要する経費	会計課			支出伝票等の審査支払事務や領収済通知書等による収入票の作成及び公金の出納管理を行う。	・千葉銀行と契約しているパソコンバンクサービス（預金残額・入金明細等の照会や、総合振込・給与振込など）が令和5年9月末で終了するため、後継システムへの切り替えを行う。 ・限られた人数で正確かつ迅速に処理をするため、事務を効率的に行う必要がある。	2,827	3,150	4,176	1拡大・拡充	パソコンバンクサービスの後継システム切り替えに係る経費と収納OCR改修費用を計上したため。	限られた職員数で事務処理を行えるよう、担当事務だけでなく会計事務全般を行うことができるよう業務遂行能力の向上を図る。
346	会計名：一般 款項目：10-2-1 事業名：義務教育施設維持補修事業	教育総務課	○	○	老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。	施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。	1,331,785	836,176	722,177	1拡大・拡充	施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要がある。	東部小校舎外壁・屋上防水改修、鎌小・東部小・南部小のLED照明改修等を行う。 鎌中のLED照明改修、鎌中境界フェンス等設置を行う。
347	会計名：一般 款項目：10-1-1 事業名：教育委員会運営に要する経費	教育総務課			定例会を開催し、鎌ヶ谷市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し、決定している。	教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。	2,208	2,208	2,313	2精査・検証	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き定例会を通して把握する必要がある。	鎌ヶ谷市教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の機会を設ける。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
348	会計名：一般 款項目：10-1-2 事業名：教育委員会事務局の運営に要する経費	教育総務課			鎌ヶ谷市の教育行政の向上を図るため、教育行政の総括的事務及び教育施策の調整を行う。	各担当課との連携を密に業務を実施し、教育委員会の活動を市民に周知することにより、市民の関心を高める必要がある。	318	318	688	2精査・検証	引き続き教育行政に関する事務及び調整を図り、情報共有、情報連携する必要がある。	地域住民の意向を踏まえ、地域に根ざした教育行政を展開する。
349	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：教育事務に要する経費	教育総務課			学校の記念行事への負担金補助や卒業記念品の贈呈を行っている。	児童・生徒にとって良い卒業記念となるように、今後も継続して記念品の贈呈を実施する必要がある。	2,294	1,539	3,253	2精査・検証	補助の内容等妥当性について、継続して検証する必要がある。	児童・生徒のニーズを踏まえ、卒業記念品について検討する。
350	会計名：一般 款項目：10-2-1 事業名：小学校の管理運営に要する経費	教育総務課	○		良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。	学校の施設や備品等の老朽化が著しく適切な対応が求められている。	253,752	345,542	331,599	2精査・検証	引き続き、適切な教育環境を維持していく必要がある。	学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。
351	会計名：一般 款項目：10-2-1 事業名：義務教育施設楽器更新事業	教育総務課	○	○	小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。また、リース方式により更新したグランドピアノの賃借料の支払いを行う。	学校施設における楽器については、老朽化が著しいことから、計画的に更新を行っていく必要がある。	10,421	10,786	11,252	2精査・検証	引き続き、計画的に更新していく必要がある。	令和5年度は、小学校9校の楽器更新を行うとともに、令和元年度にリース方式により更新した全小中学校のグランドピアノ及び令和4年度に更新した鎌ヶ谷小学校音楽室のグランドピアノ（1台）について、賃借料の支払いを行う。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
352	会計名：一般 款項目：10-2-2 事業名：小学校の図書に要する経費	教育総務課	○		計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。	全校に図書館司書を配置し、蔵書の整備を進め、令和3年度に全小学校の図書館図書標準100%は達成したが、今後もこれを継続していく必要がある。	9,528	9,522	9,557	2精査・検証	引き続き、図書を充実させる必要がある。	学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。
353	会計名：一般 款項目：10-3-1 事業名：中学校の管理運営に要する経費	教育総務課	○		良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。	学校の施設や備品等の老朽化が著しく適切な対応が求められている。	153,725	170,113	175,760	2精査・検証	引き続き、適切な教育環境を維持していく必要がある。	学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。
354	会計名：一般 款項目：10-3-2 事業名：中学校の図書に要する経費	教育総務課	○		計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。	全校に図書館司書を配置し、蔵書の整備を進め、平成30年度に全中学校の図書館図書標準100%は達成したが、今後もこれを継続していく必要がある。	6,964	6,973	6,975	2精査・検証	引き続き、図書を充実させる必要がある。	学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全中学校における図書館図書標準100%を継続していく。
355	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：小中学校体育文化活動に要する経費	学校教育課			豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行う。また市教委主催の大会等でのバスの借上げなどを行う。	新型コロナウイルスの拡大も収まりつつあり、大会規模等が元に戻りつつあった。また多くの部活動で上位大会やコンクールに出場した。児童生徒の体育文化活動の向上を図るため、児童生徒の大会等の出場経費の軽減を図る必要がある。	3,220	4,172	4,942	1拡大・拡充	体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費の助成を行った。今後も引き続き行う。	・体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費削減を図り、制度の周知も行う。 ・部活動運営は市内で1部活の土日の活動を地域移行する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
356	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：学校地域支援に要する経費	学校教育課			中学校の部活動外部指導を4校で実施。小中学校からの希望により社会人講師を師派遣する。市内小中学校に地域住民によるボランティアを募り、学校教育活動を支援していく。地域学校協働本部事業8校実施。	部活動外部指導者は各中学校で実情に応じて活用できている。社会人講師派遣は小中学校からの希望で活用している。ボランティア公募は各学校にて行い、実情に応じた活動ができ、成果を上げている。	4,511	5,059	6,807	1拡大・拡充	市内の小中学校7校と中学校1校で地域学校協働本部事業を実施している。令和6年度からは全小中学校に拡大するため。	地域学校協働本部事業は国が進めるコミュニティ・スクール事業の一環として行う必要があり、補助金対象となるのはコミュニティ・スクール導入計画を有していることが条件となっている。中部小中学校で試験的に実施していく。
357	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：特別支援教育推進に要する経費	学校教育課			市内小中学校に1名ずつ、鎌ヶ谷小学校と中部小学校と道野辺小学校は2名ずつ、特別支援教育推進指導教員（ほほえみ先生）を配置し、また学校教育課指導室内に心理発達相談員を置き、きめ細かな教育支援を行う。	特別支援学級には属さない通常級における児童生徒についての対応をしており、個々の児童生徒に合った対応が重要となっている。研修の充実を図っていく必要がある。	36,782	37,021	40,666	1拡大・拡充	特別な支援を要する児童生徒が増加しており、保護者からの教育的ニーズの高まりが継続している。	児童生徒への効果的な指導について情報共有できる機会を設け、個々の児童生徒に応じた対応ができるようにしていく。
358	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：小中学校 ICT 環境整備事業	学校教育課	○	○	GIGAスクール構想に対応した高速大容量通信ネットワークの環境維持および、児童生徒1人1台の学習用コンピュータの維持管理を行う。	児童生徒の1人1台端末の整備は終了し、授業に活用している。しかしながら、校内の全児童生徒が一斉に回線接続すると安定しない。改善のための実証実験等を行いたい。	129,640	94,466	97,533	1拡大・拡充	児童生徒数の多い学校で一斉に接続すると安定しないため、実証実験を小学校1校、中学校1校で実施するため。	校内での活用については、ICT活用推進委員会において各学校の実践事例を持ち寄り、情報共有する。回線接続状況の改善に関しては、実証実験の結果により次年度以降について検討する。
359	会計名：一般 款項目：10-1-4 事業名：心身障がい児の教育に要する経費	学校教育課			特別支援学級に在籍する児童生徒の安全確保のため、特別支援学級等介助員を配置する。保護者の経済的負担軽減のために必要な援助を行う。	対象となる児童生徒の増加傾向が継続しており、介助員の確保と各学校及び保護者との調整が課題である。	88,724	96,367	112,255	1拡大・拡充	市内小中学校の特別支援学級の児童生徒の増加に伴い、特別支援学級数も増加している。介助員の人員確保が必要なため。また、医療行為を必要とする児童のための看護師の配置が必要となっているため。	市内小中学校に必要な介助員および看護師の人員確保を行い、適正に配置する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
360	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：外国語指導助手に要する経費	学校教育課			外国青年を招致して外国語教育の充実を図るとともに、小学校の外国語活動などを通して国際社会に生きる児童生徒を育てる。	外国からの入国が戻り、新しいALTが招致できることとなり、年度途中から各学校に派遣できた。外国語活動については各学校の担任が指導にも入ることもあり、指導力向上のために教員対象の研修を実施した。	43,753	54,777	57,231	2精査・検証	ALTの入れ替えが毎年あるものの、安定して入国があり配置できている。令和4年度末に急遽退職となったALTが2名おり、令和5年度初めは2名不足の状態となった。ネイティブの外国語に触れる機会があることは児童生徒にとって貴重な経験となり、育成を図っていく。	ALTの人数が不足している状況だが、9月からの来日および県内他市からの異動が決定しており、9月以降は安定して配置できる予定となっている。学校の教員の指導力向上のために、小学校および中学校の教員を対象とした悉皆研修を実施する。
361	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：教職員の研修に要する経費	学校教育課	○		市内小中学校の教職員の資質・能力向上と専門性の確立を図るため、研修・研究の支援を行う。	市内小中学校で自主的に行っている研修等の支援をしている。市内学校の教職員の若年齢が進み、研修内容について教育委員会として関わり、精査を図る必要がある。	423	300	547	2精査・検証	研修・研究の支援については、負担金が毎年同じようになっている。今後も個々の教職員の資質・能力の向上につなげていく必要がある。	教育委員会主催で講師を招聘して実施する研修を増やす。教員の若年齢が進み時間をかけて学校から遠方の研修場所へ行くのではなく、参加しやすい研修設定をしていく。
362	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：教育指導に要する経費	学校教育課	○		鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、小学校の理科支援員の配置、日本語指導講師の派遣、デジタル教科書の継続使用、いじめ対策、中学生平和教育派遣事業、自主公開助成金や研究指定助成金等を行う。	学力調査の結果分析を学力向上のための授業改善に生かす取組み、日本語指導の必要な児童生徒の調査から講師を派遣、理科支援員3人の配置をしている。効果的な図書館の利用や理科教育の充実、市内全体の学力向上につなげる必要がある。	54,236	49,623	83,997	2精査・検証	継続した学力調査の実施と分析から、学力向上推進委員会等での研修を実施し学校でも十分に分析を行い、学力向上のための授業改善につなげることができている。学校図書館司書の全校配置および小学校の理科支援員の配置により授業の充実が図れている。	・学力調査の結果分析は継続して行い、教員の授業改善に生かす。 ・理科専科教員のいない小学校に理科支援員を4名配置し、理科学習の充実を図る。 ・図書館司書の全校配置を継続して行い、図書指導の充実を図る。 ・長崎への中学生平和教育派遣事業を実施するなど。
363	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：学校運営に要する経費	学校教育課			入学通知書、入学予定通知書、学齢簿及び学区別人口統計等を作成する。また、学校施設環境の整備を行うため、学校用務員業務委託を行う。	市職員の用務員が配置されている学校と業務内容に差が生じないよう、学校及び業者との調整が必要となる。	24,387	24,394	25,231	2精査・検証	学校用務員業務の民間委託は、人件費の削減を図るため、継続的に行う事業であり、今後も推進する必要がある。学校用務員の退職者が出た学校について、新たな人員配置に代わり、民間委託により人員補充を行う。	学校用務員について、学校及び委託業者と連携をとり、円滑な学校運営を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
364	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：情報教育に要する経費	学校教育課			小中学校14校の児童生徒のタブレット端末の賃料やICT支援員報償費等の負担をするもの。	各学校工夫してタブレット端末および大型提示装置を活用している。タブレット端末の修繕についても負担しており数件発生したため、児童生徒のタブレットの取扱い方に十分に注意させる必要がある。	108,699	100,399	101,140	2精査・検証	端末整備については令和3年度で終了しており、賃料および修繕費、授業や教職員のICT活用能力向上のための支援員報償が継続して必要となる。	昨年度に引き続き児童生徒のタブレット端末の取り扱い方に注意するよう学校をとおして指導する。ICTの効果的な活用について、年間をとおしてICT活用推進委員会で各学校の取組みについて紹介し共有して全教職員の能力向上を図っていく。
365	会計名：一般 款項目：10-1-3 事業名：少人数教育推進に要する経費	学校教育課			市内小中学校に1名ずつ少人数教育指導教員（きり先生）を配置し、きめ細かな学習指導を行う。	各学校での活用について算数・数学で少人数体制で授業に入っていることが多い。また中学校では不登校傾向の生徒の学習支援に入ることがある。研修会で各学校での事例を紹介し合い、情報共有を図った。	29,099	29,052	32,096	2精査・検証	市内小中学校の指導において、効果的な指導がなされている。しかしながら、不登校傾向の児童生徒も増えており、学習面での支援を必要とする児童生徒が増加している。指導教員の指導力向上を図っていく必要がある。	研修会で各学校の事例紹介を相互に行い、効果的な指導方法について共有する。また、指導主事から効果的な指導方法について研修する。
366	会計名：一般 款項目：10-2-2 事業名：要保護・準要保護に要する経費	学校教育課			経済的に就学困難な児童の保護者に対して就学援助を行います。	原則として前年の所得を基に審査を行います。新型コロナウイルス感染症の影響等による経済、雇用状況等に鑑み、支援を必要とする世帯を迅速に支援するため、家計が急変した世帯等については直近の収入を年間分に換算して審査を行うなど柔軟な対応が必要です。	46,557	49,138	84,922	2精査・検証	義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事務であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。	引き続き家計の急変した世帯等を含めた就学援助事務が行えるよう、制度の周知徹底と迅速な審査に努めます。
367	会計名：一般 款項目：10-3-2 事業名：要保護・準要保護に要する経費	学校教育課			経済的に就学困難な生徒の保護者に対して就学援助を行います。	原則として前年の所得を基に審査を行います。新型コロナウイルス感染症の影響等による経済、雇用状況等に鑑み、支援を必要とする世帯を迅速に支援するため、家計が急変した世帯等については直近の収入を年間分に換算して審査を行うなど柔軟な対応が必要です。	46,557	49,138	84,922	2精査・検証	義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事務であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。	引き続き家計の急変した世帯等を含めた就学援助事務が行えるよう、制度の周知徹底と迅速な審査に努めます。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務 事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
368	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：学校保健事務に要する経費	学校教育課	○		児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症予防等を行います。	学校健診の実施にあたっては、医師会や民間業者等と連携し、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施していくことが必要です。	35,943	35,681	37,773	2精査・検証	円滑な検診の実施にむけ、課題の解決に向けた検討を継続して行う必要があるため。	児童生徒等の定期健康診断について、現行の精度を保ち、且つ新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施します。
369	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：学校安全事務に要する経費	学校教育課	○		学校管理下における児童生徒等のケガ等に対する日本スポーツ振興センターの災害共済や、全国市長会との契約による補償等に要する経費を負担します。また、小学校新1年生に交通安全用として黄色い帽子を配付します。	災害共済は、他の制度との併用が多く見られることから、学校管理下の災害については災害共済給付制度を優先することを保護者に対し周知徹底していくことが必要です。	11,236	10,169	11,406	2精査・検証	児童生徒が安全な学校生活を送る上で継続的に行う事務であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。	各学校の養護教諭と連携し、事務手続きを正確に行います。
370	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：通学路安全対策事業	学校教育課	○	○	第4次通学路安全対策推進行動計画の進行管理、児童生徒の安全指導等の対策を行う。	事故に遭わないよう、自転車講習会などの安全指導は、なるべく早い時期に行う必要がある。	14,683	29,453	7,407	2精査・検証	通学路の安全対策に係る事業を効果的に展開するため、通学路(市道)の管理と施設整備に係る予算を、教育費から土木費に移管した。	通学路合同点検を実施する。自転車講習会などの安全指導を継続して実施する。
371	会計名：一般 款項目：10-5-1 事業名：児童生徒安全パトロール事業	学校教育課	○	○	市内の指定通学路や公園などの場面を想定した、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。	下校時間帯の不審者情報が多いことから、学校、地域、青少年センター、警察と連携し、迅速に対応していくことが必要です。	12,068	13,877	14,901	2精査・検証	通学路の安全確保は継続的に行う事業であることから、各関係機関と連携し、臨機応変に対応する必要があるため。	学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務 事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
372	会計名：一般 款項目：10-5-3 事業名：学校給食運営に要する経費	学校教育課	○		安全で魅力ある学校給食を提供し、子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに食への関心を高める。	栄養バランスのとれた給食の提供及び食物アレルギーをもつ児童生徒への安全な給食の提供。給食を通して食への関心を高めるため取組みなどが必要となっている。	897,975	917,827	922,355	2精査・検証	食物アレルギー対応の除去食について、小中学校において安定した提供体制を整えるため。	地産地消費材の積極的活用および学校との食育連携、食物アレルギー除去食の安全な提供を実施する。
373	会計名：一般 款項目：10-4-3 事業名：学習センター等改修事業	生涯学習推進課	○	○	学習センターの利便性の向上及び長寿命化を目的とし、安心・安全な学習環境を整えるため改修工事等を行う。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加が予想される。大規模修繕以外の多額の費用のかかる修繕の取扱いは検討が必要である。	28,020	239,493	33,000	1拡大・拡充	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、市民の生涯学習の場を安定的に提供するため。	利用者の利便性向上のため、経年劣化が進んでいる施設設備改修工事を行う。北部公民館では受変電設備改修工事を行い、南部公民館ではトイレ改修工事に係る設計委託を行う。
374	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：生涯学習の推進に要する経費	生涯学習推進課			市民の生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項を調査審議する。 また、学校を地域の生涯学習の拠点として、市民の学習や交流の場となるよう地域に開放し、生涯学習・生涯スポーツ活動を推進する。	学校施設開放事業は、施設開放業務だけに留まらず、当該事業を通じ、人と人とのつながり、地域とのつながり、子どもたちの見守りにつながる地域社会の形成につながる業務である。その中で、開放施設に限られるなか、より多くの市民が利用できるよう公平で有効な施設の活用が必要であり、利用団体のルール遵守の徹底が必要である。	3,226	3,696	4,233	2精査・検証	鎌ヶ谷市生涯学習推進基本計画を踏まえ、学校施設開放事業等については多くの市民の生涯学習活動の場であることから、引き続き推進していく必要があるため。	平日の個人開放日の拡大について要望に対応できるよう、学校と調整を図り検討する。
375	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：青少年の社会参加・体験活動の機会づくりに要する経費	生涯学習推進課	○		青少年への自然体験・社会体験の機会提供及び地域ボランティア、関係団体の活動支援を行う。	家庭状況の変化等で青少年の異年齢交流、自然及び社会体験等の社会形成に必要な機会が減少し、その機会を事業として求めるニーズは高まっている。 一方で、近年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、やむを得ず中止する事業が多かった。	5,906	8,754	12,278	2精査・検証	事業を継続するが、新型コロナウイルスの感染症対策を経た後の事業手法等については精査検証が必要のため。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と同等の事業を実施できるよう、感染防止策や開催方法等を検討の上、事業を実施する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
376	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：家庭・地域の教育力の向上に 要する経費	生涯学習 推進課	○		家庭教育に関する活動の啓発や、保護者及び地域の ニーズに対応した学びの機会や情報の提供を行 う。	家庭と地域との結びつきが希薄化しており、より 一層の支援が必要である。	209	254	440	2精査・検証	家庭や地域を取り巻く課題は年々多様化しており、 様々な角度からアプローチをする事業を実施 していく必要があるため。	家庭教育を支援するため関係機関と連携し、家庭 教育に関する課題に対応した学習機会を促進す る。
377	会計名：一般 款項目：10-4-2 事業名：生涯学習推進センターの管理 運営に要する経費	生涯学習 推進課			安定した施設予約システムの提供や学習機会の充 実と学習情報の収集・提供を行う。	市民の求める学習情報や学習方法は多様化してい る。学習ニーズに対応した学習情報を提供するた め、ニーズの把握や提供方法に工夫が必要である。 る。	29,482	33,338	33,094	2精査・検証	市民の多様な学習ニーズに対応できる、サービス の向上や学習機会の充実を図る必要があるため。	多様化する市民の学習ニーズに対応するため、関 係機関と連携し、魅力ある事業を実施する。ホー ムページや掲示物等の様々な媒体を利用し幅広く 情報提供する。関係機関と連携を深め、コロナ禍 を経たあとの新たな魅力ある事業を実施する。
378	会計名：一般 款項目：10-4-3 事業名：学習センターの管理運営に要 する経費	生涯学習 推進課	○		地域の学習拠点としての有効性を高め、学習機会 の充実と学習情報の収集・提供を行う。	市民の求める学習情報や学習方法は多様化してい る。こうしたニーズに応える講座の提供が求めら れる。	89,324	103,038	109,308	2精査・検証	地域の生涯学習の拠点として、市民の多様な学習 ニーズに対応し、サービス向上や学習機会の充実 を図る必要があるため。	多様化する市民の学習ニーズに対応するため、関 係機関と連携を深め、コロナ禍を経たあとの新た な魅力ある事業を実施する。また、学習成果の地 域還元や、市民相互の交流機会の創出等の方策に ついて創意工夫し事業を実施する。
379	会計名：一般 款項目：10-4-5 事業名：非行防止対策の推進に要する 経費	青少年セ ンター	○		子ども達の非行防止を図り、また安全確保を図る 観点から補導活動等を実施し、青少年の非行防止 及び健全育成を推進する。	今後も非行の低年齢化が進むとともに、犯罪の被害 者となってしまうケースの増加も想定される。	11,719	11,034	12,678	2精査・検証	学校・地域・関係機関との連携を図りながら子ど も達の見守り、子ども達が心身ともに安全な生活 が送れるように周辺環境の整備を継続して実施し ていく必要があるため。	子供達の安全安心のため、関係機関と連携を深 め、街頭パトロールの強化とともに、「子ども1 10番の家」は、一般家庭の担い手不足が深刻な ことから、事業所や商業施設へ依頼し推進を図 る。また、子ども達やその保護者からの相談につ いても重点的に取り組む。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
380	会計名：一般 款項目：10-4-4 事業名：図書館改修事業	図書館	○	○	図書館の設備の利便性の向上や長寿命化を目的として建物、設備等の改修工事を行う。	図書館の建物、設備の経年劣化に伴う改修を計画的に行う必要がある。	7,986	1,296	61,493	1拡大・拡充	昭和62年に開館し36年が経過している施設の状況を把握し、必要な改修を行うとともに、利用者サービスの向上を図っていく必要があるため。	令和4年度に実施した外壁診断の調査結果に基づき、改修工事の設計を行うとともに、利用者用駐車場の拡大をすべく図書館隣接地の土地を購入する。
381	会計名：一般 款項目：10-4-4 事業名：図書館の管理運営に要する経費	図書館			図書館システムを活用した図書資料の貸出・返却・配送・レファレンス・情報の提供を行う。	生涯学習の意欲の高まりに伴い従来の図書館サービス提供に加えて、多様な情報提供への取組が求められている。	104,716	106,008	113,772	2精査・検証	生涯学習の支援機関として資料の整備・充実及びレファレンス・情報提供は公共図書館の使命であり、多様な利用者ニーズを把握し、応えていく必要があるため。	「鎌ヶ谷市子どもの読書活動推進計画」に位置付けた新規取組について実施するとともに、6年度以降の実施事業について関係部署との調整を行う。またWeb環境を活用したサービス提供の仕組み作りについて、引き続き調査研究を行う。
382	会計名：一般 款項目：10-4-4 事業名：図書館蔵書・資料整備事業	図書館	○	○	社会の要請や地域の実情を踏まえながら、利用者の多岐にわたる要求に的確に応えらるよう、必要とする図書や情報を積極的に提供する。	利用者のニーズを踏まえ、多岐にわたる分野において、図書・視聴覚資料の充実が求められている。	15,500	15,500	15,500	2精査・検証	利用者の多様化するニーズを把握し、多岐にわたる分野において、図書・視聴覚資料の充実を図っていく必要があるため。	令和6年度に予定している外部書庫の設計を見据え、図書館レイアウト、蔵書の保管方法について検討する。
383	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	文化・スポーツ課	○	○	国史跡下総小金中野牧跡の維持管理、周知普及および保存管理を実施する。	史跡を保護するために国史跡として公有化を進め、指定後は周知普及に努めた結果、市の地域資源として市民に浸透してきたことにより、事業実施時などに整備を望む声が寄せられている。	3,935	3,957	4,286	1拡大・拡充	史跡地を保存活用し、周知普及事業の実施や、清掃管理を行い、史跡に対する市民意識の醸成を図ることが必要となるため。また、所有者での維持が難しくなった県史跡範囲の土地を保護していくために公有地化が必要であるため。	引き続き国史跡を定期的に巡視し、適正な管理を行う。コロナ禍以前のイベントの内容に戻し、更なる周知に努める。相続により、所有者による維持が困難になった県史跡の土地を国指定への追加指定を行い、公有地化に向けて準備を進める。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
384	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：埋蔵文化財活用整理事業	文化・スポーツ課	○	○	平成29年度に本調査を実施した中沢貝塚24次調査、令和2年度に本調査を実施した中沢貝塚29次調査の出土資料を整理、分析し、発掘調査報告書を刊行する。	市内でも大規模な遺跡である中沢貝塚は本調査後に未整理の状態であるため、整理・分析を進めて資料を活用していく必要がある。	3,341	3,517	4,390	1拡大・拡充	令和5年度も令和4年度に引き続き、中沢貝塚24次調査・29次調査の整理作業を実施する。	中沢貝塚24次、29次調査の出土遺物の洗浄注記作業を実施する。
385	会計名：一般 款項目：10-4-3 事業名：きらり鎌ヶ谷市民会館の管理運営に要する経費	文化・スポーツ課	○	○	指定管理者によるきらりホール管理運営及びきらり鎌ヶ谷市民会館の維持管理を行う。	きらりホールは、有料事業も行える本格的なホールであることから、発表の場としての市民のニーズは高い。また、指定管理者による民間業者のノウハウを活用した更なるサービスの向上が見込まれる。	204,182	197,318	200,443	1拡大・拡充	施設の管理運営状況及びサービス向上について、引き続き指定管理者の事業を検証していく。また、設置10年目となり、経年劣化による不具合が増えている。運営に支障をきたさないよう、きらりホール長寿命化計画に基づき、予防保全の取組みが必要である。	施設の管理運営状況及びサービス向上の視点からモニタリングを実施する。また、設備の状況について把握に努め、舞台運営などに支障がないようにする。
386	会計名：一般 款項目：10-5-2 事業名：スポーツ施設維持補修事業	文化・スポーツ課	○	○	スポーツ施設の適切な維持管理のため、予算の範囲内で施設の修繕及び工事等を行う。	今後も施設の維持管理を徹底する必要がある。	34,281	52,546	70,168	1拡大・拡充	各スポーツ施設における安全対策・整備が必要であるため。	スポーツ施設改修等計画に基づき、各施設の改修等を行っていく。
387	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：文化財保護に要する経費	文化・スポーツ課	○	○	文化財の指定・指定文化財の管理・埋蔵文化財発掘調査に関わる業務を行う。	首都圏近郊に位置する本市の地理的環境により、各種開発の波が市内にも及び、埋蔵文化財（遺跡）の保存策を講じる必要がある。	9,602	6,577	8,097	2精査・検証	埋蔵文化財保護事業は行政の責務であり、各種開発が本市でも行われていることから、継続して実施する必要がある。	文化財保存活用地域計画に基づき、市指定文化財・登録有形文化財、その他市内の保存すべき文化財について、所有者と連携しながら適切な管理・活用を行う。埋蔵文化財に関しては、調査が必要な案件は、迅速かつ遺漏のないように対応していく。

令和5年度 澁谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
388	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：文化振興に要する経費	文化・スポーツ課	○		芸術文化に親しみ、参加できる機会（市民文化祭、芸術鑑賞教室、美術展覧会等）を創出する。	市主催、共催の芸術文化行事の参加者（出演者、出品者、来場者等）の高齢化が進み、高齢を理由に活動から離れてしまう傾向がある。新たなコミュニティの広がりが必要である。	2,081	2,366	2,880	2精査・検証	芸術文化活動への参加機会及び鑑賞機会の提供は、地域に根ざした芸術文化活動の活性化や、新たな市民文化の創造を図るために必要である。	市主催、共催の芸術文化事業を実施し、市民に芸術文化活動への参加機会や芸術文化にふれる機会を提供する。
389	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：民間開発による埋蔵文化財調査に要する経費	文化・スポーツ課			本調査が必要と判断した事業地の取扱いについて、事業者と協議を行い、事業者の負担により本調査を実施する。	民間開発で、本調査を実施する場合、事業者との調査委託契約や委託金納入、スケジュール調整などの協議に時間を要するため、迅速な対応が必要である。	0	794	3,019	2精査・検証	民間開発に伴う事業者の費用負担による遺跡の記録保存に対応する業務のため、実施に備える必要がある。	外的な要素に起因するが、案件が発生した際には迅速に対応する。全額負担が困難な零細業者への県補助の調整を図る。
390	会計名：一般 款項目：10-4-1 事業名：歴史的建造物保存活用事業	文化・スポーツ課	○	○	令和2年に国登録有形文化財となった澁谷家住宅を保存及び活用するために、敷地を含めた公有地化、修繕工事などを実施する。 公開活用に向けた保存活用計画を作成する。	国登録有形文化財へ登録されたことにより、市民から問い合わせも増え、地元の文化財に対する関心は高まっている。 また、地元自治会は自治会館の中に澁谷総司資料室を作っており、澁谷家住宅と一体の活用が必要である。	5,850	146,991	6,491	2精査・検証	市内最古級の建造物であり幕末草莽の志士澁谷総司の生家でもあるため、市の歴史を知る上でも貴重な文化財であることから、保存・活用の方針を定めて整備工事を進めていく必要があるため。	令和4年度に引き続き、保存活用計画作成委員会を開催する。そして、委託の進捗状況を管理しながら保存活用計画を作成し、令和6年度の文化庁認定を目指す。
391	会計名：一般 款項目：10-5-2 事業名：体育施設の管理運営に要する経費	文化・スポーツ課	○		体育施設の適性な維持管理を行う。	体育施設の老朽化により、計画的な改修を行う必要がある。	91,601	90,269	90,019	2精査・検証	複数の体育施設が老朽化しており、予算の範囲内で計画的に修繕等を行っていく必要があるため。	モニタリングを引き続き実施し、各施設の管理運営状況を把握し、快適な体育施設の維持管理に努める。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
392	会計名：一般 款項目：10-5-2 事業名：スポーツ振興に要する経費	文化・スポーツ課	○		スポーツ活動の推進を図り、生涯にわたり心身ともに健全ないきがいのある暮らしができるようにする。	スポーツ関係団体（スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団）事業及び北海道日本ハムファイターズとの連携事業を推進していく必要がある。	18,376	18,382	27,122	2精査・検証	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新春マラソン大会や長寿大運動会といった参加者が多いイベントを中止してきたが、実施ができるようになる必要があるため。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていた新春マラソン大会や長寿大運動会といったイベントを再開していく。
393	会計名：一般 款項目：2-4-1 事業名：選挙管理委員会事務局の運営に要する経費	選挙管理委員会事務局			選挙を適正に執行するため、選挙人名簿について法及び関連規定に基づく登録事務及び抹消事務を行い、適正に管理する。	選挙人名簿の管理方法が簿冊管理である。	4,254	4,495	4,801	1拡大・拡充	公職選挙法の規定に基づく事務であることから、事務の正確性と効率性を向上させる必要がある。	選挙人名簿の電算化について検討を行う。
394	会計名：一般 款項目：2-4-2 事業名：選挙啓発に要する経費	選挙管理委員会事務局			政治参加の方法である選挙について、有権者に政治への関心や選挙の重要性を認識してもらい、投票意識の高揚を図る。	各種選挙において、若年層の投票率が低い。	292	336	457	2精査・検証	有権者の選挙や政治への更なる参加が期待できるよう、より効果的な啓発事業を実施するよう改善を行う。	優良事例を調査・研究し、模擬投票及び出前授業の実施に向けた検討を行う。
395	会計名：一般 款項目：2-4-3 事業名：参議院議員選挙に要する経費	選挙管理委員会事務局			期日前投票及び不在者投票の実施、並びに選挙期日に市内23投票所及び1開票所において投票を実施する。	事務の正確性を確保した上で、投票事務の経費削減に努める。	0	36,671	0	4終了・廃止・休止	次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投票事務を実行できるよう、引続き選挙準備事務を行う。	投票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
396	会計名：一般 款項目：2-4-4 事業名：千葉県議会議員選挙に要する経費	選挙管理 委員会事務 局			期日前投票及び不在者投票の実施、並びに選挙期日に市内23投票所及び1開票所において投開票を実施する。	事務の正確性を確保した上で、投開票事務の経費削減に努める。	0	9,784	27,676	4終了・廃止・休止	①次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投開票事務を実行できるよう、引続き選挙準備事務を行う。 ②投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。	投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。
397	会計名：一般 款項目：2-4-5 事業名：市議会議員選挙に要する経費	選挙管理 委員会事務 局			期日前投票及び不在者投票の実施、並びに選挙期日に市内23投票所及び1開票所において投開票を実施する。	事務の正確性を確保した上で、投開票事務の経費削減に努める。	0	181	72,189	4終了・廃止・休止	①次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投開票事務を実行できるよう、引続き選挙準備事務を行う。 ②投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。	投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。
398	会計名：一般 款項目：2-6-1 事業名：監査委員事務局の運営に要する経費	監査委員 事務局			定例監査・例月現金出納検査の実施、及び決算審査・財政健全化審査を行う。	事務の合理化、適正化、効率化といった視点に立った監査を執行すること。	1,419	1,431	1,482	2精査・検証	地方自治法で定められているため。	監査対象事務の問題点を把握し、効率的・合理的な行政運営を図るよう、監査を実施していく。
399	会計名：一般 款項目：6-1-1 事業名：農業委員会事務局の運営に要する経費	農業委員 会事務局	○		農地法、農業経営基盤強化促進法、農業委員会等に関する法律に基づく農業委員会業務を円滑に運営する。	農業委員及び農地利用最適化推進委員が、共通認識を持ち、連携して取り組む必要がある。	10,505	10,411	11,355	2精査・検証	より効果的な農業委員会業務の運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。	農地の集約・集積を加速化するために、農地利用最適化推進委員と農業委員の共同した取り組みを推進する。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
400	会計名：一般 款項目：1-1-1 事業名：議会事務局の運営に要する経費	議会事務局			・憲法で保障された議事機関である議会の円滑な運営を行うため、その事務を適正に行う。	・地方分権がより一層進む状況のなかで、引き続き議会活動等の透明性の確保やその内容を広く周知すること及び新たな政策提案が求められている。 ・委員会室で実施する会議の会議録作成に必要な委員会室のマイクシステムが老朽化しており、リプレイスするの検討が必要がある。 ・新型コロナウイルスの法的取扱いが変更されたが、効率的かつ効果的な議会運営の一環として、オンライン会議等のICT化の推進を図る必要がある。	25,276	24,914	33,760	2精査・検証	・より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続きICT化や会議録作成に必要な機器の導入に係る検討を行う必要があるため。	・オンライン会議等の実施に向け、議会だより編集委員会の会議などで引き続き試行実施していく。
401	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：消防事務に要する経費	消防総務課			災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与。	災害の増加及び複雑多様化に対応するため、計画的な資機材整備を継続する必要がある。	120,658	118,774	126,078	2精査・検証	市民の安全で安心な生活を守るため、消防活動に必要な資機材、装備品は必要不可欠である。	災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も継続した経費削減を図る。
402	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：消防庁舎の管理運営に要する経費	消防総務課			消防庁舎各種設備の保守管理業務委託。	消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点機能維持に必要であり、継続する必要がある。	17,004	16,066	17,998	2精査・検証	消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠である。	継続的に保守点検を実施し、防災活動拠点としての機能を維持する。
403	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：職員研修に要する経費	消防総務課	○		消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得させるため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。	災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の習得が必要である。	2,994	3,932	4,261	2精査・検証	専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。	消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事 務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
404	会計名：一般 款項目：9-1-3 事業名：消防車両更新事業	消防総務課	○	○	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	8,290	73,958	52,286	2精査・検証	市民の安全で安心な生活を守るため、消防用自動車等の更新は継続していかなければならない。	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。
405	会計名：一般 款項目：9-1-3 事業名：消防団車両更新事業	消防総務課	○	○	消防活動を維持するために必要な、非常備用消防自動車及び車両積載品を更新整備する。	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	19,739	19,841	21,093	2精査・検証	市民の安全で安心な生活を守るため、非常備用消防車両等の更新は、継続していかなければならない。	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。
406	会計名：一般 款項目：9-1-3 事業名：中央消防署等改修事業	消防総務課	○	○	中央消防署の感染症防止対策の強化及び機能拡充を図るため、トイレ改修・仮眠室の個室化などの内装改修工事を行うとともに、資機材備蓄倉庫の整備等を行う。	改修工事等に伴い隣地住民への影響及び災害出場に支障が生じないよう考慮する必要がある。	0	13,086	122,500	2精査・検証	中央消防署の感染症防止対策の強化を図り、災害拠点としての機能を拡充するため、仮眠室の個室化などの改修工事を行う必要がある。	実施設計に基づき資機材備蓄倉庫を整備する。
407	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：予防業務に要する経費	予防課	○	○	火災予防を推進するため、消防訓練時の指導や住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理を啓発するとともに、建築確認時の消防設備の設置指導や対象物の立入検査を行う。	住宅用火災警報器の設置率は継続的に啓発を実施した結果年々上昇しているため、引き続き啓発を実施するとともに、設置後10年を経過した住宅へ点検や交換等の維持管理の啓発を実施する必要がある。	2,579	3,931	3,189	2精査・検証	市のホームページやSNSを活用した火災予防広報や、住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理の啓発を実施するとともに、建築確認時に適正な消防設備の設置指導を実施したが、引き続き内容等を精査し、実施する必要があるため。	住宅用火災警報器の設置率は年々上昇しているが、設置後10年を経過している機器が多くなっていることから、設置済み機器の点検・交換等の維持管理の啓発を、引き続き実施する必要がある。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取組む改革・改善内容
408	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：警防業務に要する経費	警防課	○		救急車到着までの間、現場に居合わせた人により適切な応急手当が実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。	一般市民によるAEDを使用した心肺蘇生法が周知されるようになった。心肺蘇生法のガイドライン変更により、実施方法の変更、講習項目が細分化され、今後、更なる受講者数の増加が見込まれている。	47,889	21,340	17,879	2精査・検証	救命率を向上させるためには、応急手当の普及啓発を継続的に実施する必要があるため。	新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意し、安心して受講できる環境を整える。また、ガイドラインの改訂に伴い、教育教材を更新し救命講習を実施する。
409	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：大規模災害時応援に要する経費	警防課			緊急消防援助隊・千葉県消防広域応援隊として、県内県外に応援隊を派遣する。	人員、資器材、燃料、食料等の維持管理を含め、派遣体制の充実に努める必要がある。	0	0	805	2精査・検証	有事の際に、応援隊に係る資器材、燃料、食料等派遣体制の充実及び運用を円滑かつ迅速に行うことが必要であるため。	出動時の資器材等の確認及び速やかな準備体制の構築を行う。
410	会計名：一般 款項目：9-1-1 事業名：消火栓改修事業	警防課	○	○	令和3年度から令和8年度までの鎌ヶ谷市基本計画に基づき、計6基の消火栓を毎年度1基づつ改修する。	現在使用することができない消火栓について、早急に改修を行う必要がある。	2,894	1,805	4,000	2精査・検証	消防活動に欠かせない消防水利について、災害時に支障がないよう今後も維持管理を行う必要がある。	令和5年度は、優先度の高い消火栓1基の改修を行う。
411	会計名：一般 款項目：9-1-2 事業名：消防団運営に要する経費	警防課			各種災害に出動して、地域防災の中心的な役割を果たす消防団を維持するため、計画的な運営を図るとともに、環境を整備する。	環境整備及び広報活動の拡充等を行い、団員の減少に歯止めをかけ人員を確保する。	23,118	28,765	32,447	2精査・検証	防災に関する市民のニーズは上昇傾向にあり、今後、更に高まると予測できるため、継続して行う必要がある。	消防団施設・車両・資器材の維持管理及び人員確保を図る。

令和5年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表（簡易評価表）

NO	事業名	担当課室	優先度 高い事務事業	うち多 額の経 費対象	事務事業の概要	環境分析（課題含む）	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	総合評価	総合評価の理由	令和5年度に取り組む改革・改善内容
412	会計名：一般 款項目：9-1-2 事業名：消防団装備品整備事業	警防課	○	○	消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。	消防体制を充実させるため、災害活動に従事する消防団の装備品を計画的に整備する必要がある。	743	1,718	2,459	2精査・検証	消防団員が安全かつ効果的な活動を行うため、体力低下抑制及び疲労軽減など災害活動に適した機能性のある消防団装備品の整備を継続して行う必要がある。	消防団員の外とうについて、防寒、伸縮性、視認性に優れた外とうへの更新を行う。